

CDFIシリーズ

CD180FI/CD130FI/CD110FI

漢字水平ドット・マトリックスプリンター

取扱説明書

製品を安全に使用していただくために

● 本書の取り扱いについて

本書には、お買い上げいただいた製品を安全に正しく使用するための重要なこと
がらが記載されています。製品を使用する前に本書をよくお読みください。
特に、本書に記載されている「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、内容を
よく理解したうえで製品を使用してください。

本書はお読みになった後も製品の使用中いつでも参照できるように、大切に保管
してください。当社は、お客様の生命、身体や財産に被害を及ぼすことなく安全
に使っていただくために細心の注意を払っています。当製品を使用する際は、本
書の説明に従ってください。

● VCCI 適合基準について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラ
スB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていま
すが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を
引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

● 電源の瞬時低下について

この装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがありま
す。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されること
をお薦めします。

（社団法人日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

● 漏えい電流自主規制について

本製品は、日本工業規格（JIS C 6950-1）の漏えい電流基準に適合しております。

● 電源高調波について

本製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品です。

● **本製品およびオプション品のハイセイフティ用途について**

本製品およびオプション品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

- ・原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

● **事業系の使用済製品の引取りとリサイクルについてのお願い**

この製品の所有者が事業主の場合には、使用済後に廃棄される製品は産業廃棄物扱いとなり、廃棄する際にはマニフェスト伝票（廃棄物管理表）の発行が必要となります。

● **コンピュータウィルスに関連する被害の免責について**

コンピュータウィルスに感染することによって発生した障害については、当社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

はじめに



このたびは、CD180FI/CD130FI/CD110FIプリンタをお買い求めいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、プリンタが十分に機能を発揮できますよう正しい取り扱いをお願いいたします。

2014年4月

ESC/P は、セイコーエプソン(株)の登録商標です。
その他の製品名、会社名は各社の登録商標または商標です。

● 警告表示マークについて

本書ではいろいろな絵表示をしています。これは製品を安全にかつ正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられる恐れのある危害や損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解の上、本文をお読み下さい。

 警告	 注意
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみが想定される内容を示しています。

絵記号の例とその意味	
	△で示した記号は、警告、注意を促す事項があることを告げるものです。記号の中には、具体的な警告内容を表す絵（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	×で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中には、具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントか抜いてください）が描かれています。
 高温注意	高温による傷害の危険性について記述していることを示します。
 発火注意	発火する危険性について記述していることを示します。
 接触禁止	触れることによって傷害が起こる可能性について記述していることを示します。
 分解禁止	機器を分解することにより、感電などの傷害が起こる可能性について記述していることを示します。
 一般的禁止	一般的な禁止事項を記述していることを示します。
 一般的注意	一般的な注意事項を記述していることを示します。

安全上のご注意

■ プリンタ設置および移動時のご注意



同梱の電源コードセットは本製品以外の電気機器には使用しないでください。

添付の電源コード以外は使用しないでください。

感電・火災の原因となります。

プリンタの上にまたは近くに花瓶・植木鉢・コップなどの水の入った容器、金属物を置かないでください。

感電・火災の原因となります。

湿気・ほこり・油煙の多い場所、通気性の悪い場所、火気のある場所におかないでください。

感電・火災の原因となります。

電源プラグは、交流 100V、10A 未満のコンセントには差しこまないでください。また、タコ足配線をしないでください。

感電・火災の原因となります。



電源を接続する前に必ず以下のいずれかにアース接続してください。

- ・電源コンセントのアース線
- ・銅片などを 650mm 以上地中に埋めたもの
- ・接地工事（D 種（第 3 種））を行っている接地端子

アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、感電・火災の原因となります。

アース接続は必ず、電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。また、アース接続を外す場合は、先に電源プラグをコンセントから抜いてください。



風呂場、シャワー室など、水のかかる場所で使用しないでください。

火災や感電の原因となります。

警告



オプション機器の取り付けや取り外しを行う場合は、プリンタ本体およびパソコン本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いたあとに行ってください。

感電の原因となります。

オプション機器を接続する場合には、当社推奨品以外の機器は接続しないでください。

感電・火災または故障の原因となります。

注意



プリンタの開口部（通風孔など）をふさがないでください。

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

プリンタの上に重いものを置かないでください。また、衝撃を与えないでください。

バランスが崩れて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

振動の激しい場所や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。

落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

直射日光の当たる場所や炎天下の車内など、高温になる場所に長時間放置しないでください。

高温によってカバーなどが加熱・変形・溶解する原因となったり、プリンタ内部が高温になり、火災の原因となることがあります。



プリンタを移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、接続ケーブル類を外してください。作業を行うときは、足元に十分注意して行ってください。

電源コードが傷つき、感電・火災の原因となったり、本プリンタが落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

プリンタケーブルの抜き差しは、必ずパソコンとプリンタの電源を切ってから行ってください。

電源を切らずに行くと、パソコンやプリンタが故障する原因となることがあります。

■ プリンタ使用時のご注意



異常音がするなどの故障状態で使用しないでください。故障の修理はお買い求めの販売店にご依頼ください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしてください。

火災・感電の原因となります。

プリンタに水をかけたり、濡らしたりしないでください。

感電・火災の原因となります。

電源コードを傷つけたり、加工したりしないでください。

重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりすると電源コードを傷め、感電・火災の原因となります。

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

カバーを外した状態でコンセントを差したり、電源を入れたりしないでください

感電・火災の原因となります。

開口部（通風孔など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。

感電・火災の原因となります。

プリンタの電源を入れたままでコンセントからプラグを抜き差ししないでください。

プラグが変形し、火災の原因となります。



プリンタ本体のカバーや差し込み口についているカバーは、必要な場合を除いて取り外さないでください。内部の点検、修理はお買い求めの販売店にご依頼ください。

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。

プリンタをお客様自身で改造しないでください。

感電・火災の原因となります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

感電の原因となります。



警告



万一、プリンタから発熱や煙、異臭や音がするなどの異常が発生した場合は、ただちにプリンタ本体の電源スイッチを切り、その後、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

煙が消えるのを確認してお買い求めの販売店に修理を依頼してください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。

異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。

異物（水・金属片・液体など）がプリンタの内部に入った場合は、ただちにプリンタ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店にご連絡ください。

そのまま使用すると感電・火災の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

プリンタを落としたり、カバーなどを破損した場合は、プリンタ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店にご連絡ください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

プリンタの清掃および保守、故障の処理を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源スイッチを切らずにプリンタの清掃や保守を行うと、やけどや感電の原因となることがあります。



電源プラグの金属部分、およびその周辺にほこりが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。

そのまま使用すると、火災の原因となります。



移動中に落下させたり、ぶつけるなどの衝撃を与えないでください。

故障の原因となります。

注意



電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。

火災・故障の原因となることがあります。

プリンタが動作しているとき、給紙口や排紙口に髪やネクタイなどが巻き込まれないように注意してください。

けがの原因となることがあります。



電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードを引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜いてください。

電源コードを引っ張ると、コードの芯線が露出したり断線して、火災・感電の原因となることがあります。

使用中のプリンタは布などでおおったり、包んだりしないでください。

熱がこもり、火災の原因となることがあります。

電源コードを束ねて使用しないでください。

発熱して、火災の原因となることがあります。



長期間プリンタを使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

感電・火災の原因となることがあります。

近くで雷が起きたときは、電源コードのプラグを電源コンセントから抜いてください。

入れたままにしておくと、プリンタを破壊し、お客様の財産に損害を及ぼす原因となることがあります。



使用中や使用直後は、印字ヘッドが高温になります。温度が下がるまで触らないでください。

やけど・けがの原因となることがあります。

注意



プリンタが動作しているとき、給紙口や排紙口に手を触れないでください。
けがの原因となることがあります。

プリンタケーブルコネクタや印字ヘッドの金属部には触らないでください。
けがやプリンタの故障の原因となることがあります。



印字ヘッドが動いているときは、印字ヘッドに触れないでください。
やけど・けがの原因となることがあります。



連帳用紙は、連続して逆送りをさせると用紙送りトラクタから外れることがあります
ので注意してください。

用紙厚に対して用紙厚調整レバーのセットを適正状態で取り扱ってください。

リボンカセットは、指定の純正品を使用してください。

プリンタの内部やローラ部に繊維クズがたまっている場合は、定期的に清掃してく
ださい。

リボン巻取りノブは、反時計方向に回さないでください。

リボンがロックして回転できなくなります。

リボンがたるんだまま印字を開始すると、リボンが絡まったり、リボンの巻取りが
ロックすることがあります。

使用済のリボンカセットは、不燃物として地方自治体の条例または規則に従って処
理してください。

印字した直後は、印字ヘッドが高温になります。リボン交換時は温度が下がったこ
とを確かめてから、印字ヘッドをリボン交換位置に移動してください。



プリンタを廃棄するときは、地方自治体の条例または規則に従って処理ください。



本書の構成

本プリンタをお使いになる前の準備、プリンタの機能とその使いかた、用紙のセットのしかた、保守と点検のしかたなどについて順を追って説明します。

◆ 第1章 お使いになる前に

プリンタで印字する前に知っておいていただきたいことについて説明します。

◆ 第2章 プリンタの機能とその使いかた

オペレータパネルの機能や機能設定の変えかたなど、プリンタのもつ機能と、その使いかたについて説明します。

◆ 第3章 用紙のセット

用紙のセットのしかたを、連続帳票用紙と単票用紙に分けて説明します。

◆ 第4章 用紙について

このプリンタで使用できる用紙と取り扱い上の注意点について説明します。

◆ 第5章 保守と点検

リボンカセットの交換や、用紙づまりなどトラブルの対処のしかたなど、プリンタを使用している上で必要になることがらについて説明します。

◆ 第6章 オプション

このプリンタのオプションの取り付けおよび取り外しをはじめ、基本的な使いかたについて説明しています。

◆ 第7章 プリンタ LAN カードの取り付け

インターフェースカードの交換について説明します。

◆ 付録

このプリンタの仕様、インタフェース仕様、コマンドなどの技術情報を列記してあります。


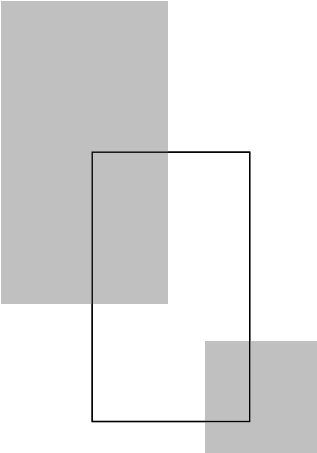
目次

製品を安全に使用していただくために	
はじめに	i
安全上のご注意	ii
プリンタ設置および移動時のご注意	ii
プリンタ使用時のご注意	iv
本書の構成	viii
第1章 お使いになる前に	1
主な特長	2
製品の内容	4
使用上のお願い	5
設置場所について	5
電源について	5
使用方法について	6
用紙について	6
各部の名称とはたらき	7
各部の名称	7
各部のはたらき	8
プリンタを設置する	10
設置手順	10
輸送用固定材の取り外し	11
単票テーブルのセット	12
単票テーブルの取り扱いについて	13
リアスタッカの取り付け	14
パソコンとの接続	15
電源コードの接続	17
電源の投入と切断	18
電源を入れる	18
電源を切る	19
リボンカセットを取り付ける	20
第2章 プリンタの機能とその使いかた	25
操作パネルの機能	27
液晶ディスプレイ	27
ランプ	28
スイッチ	29
操作パネルを操作する	30
オンライン状態とオフライン状態を切り替える	30
オンライン状態で行う操作	31
用紙をカットする	31
単票用紙の排出方向を切り替える(手前排出)	31
印字モードを切り替える	32
高複写モードに切り替える	32

オフライン状態で行う操作	33
用紙の吸入や排出を行う	33
改行する	34
改ページを行う	34
給紙口を切り替える	35
紙厚調整モードを切り替える	35
単票手差しの方法を切り替える	36
プリンタをリセットする	37
機能設定項目について	38
メニュー印刷	38
テスト印刷	38
装置機能設定	38
余白量設定	39
PS55 固有設定	39
ESC/P 固有設定	39
補正機能	39
その他の設定	40
登録	40
保守モード	40
機能設定を変える	41
基本的な操作	41
選んだ項目に設定する操作	42
数値を設定する操作	43
途中で機能設定を抜ける操作	43
メニューモード	44
ロードイチセンタク	46
メニューインサツ	49
テストインサツ	51
アダプタセッテイ	56
ソウチキノウ セッテイ	58
ヨハクリョウ セッテイ	63
P S 5 5 コユウセッテイ	65
E S C / P コユウセッテイ	67
ホセイキノウ	69
ソノタノセッテイ	72
トウロク	74
ホシュモード	75
行間ズレを直す	77
連続帳票用紙をカット位置に送る	80
カット位置に送る	80
自動検出機能	82
第3章 用紙のセット	83
用紙をセットする	84
連続帳票用紙をセットする（前トラクタ給紙の場合）	84
連続帳票用紙をセットする（後トラクタ給紙の場合）	91
単票用紙をセットする（単票セットフリーオン時）	96
単票用紙をセットする（単票セットフリーオフ時）	100
単票用紙をセットする（カットシートフィーダを取り付けた場合）	103

用紙厚を調整する	107
印字開始位置について	111
印字開始位置（行方向）を微調整する	112
第4章 用紙について	113
連続帳票用紙	114
一般用紙（前・後トラクタ）	118
はがき用紙（前トラクタ）	119
封筒用紙（前・後トラクタ）	120
タック用紙（前・後トラクタ）	122
宅配伝票（前トラクタ）	124
手差しで使用する単票用紙	125
一般用紙	125
用紙のとじ方法	126
はがき	127
封筒	127
宅配伝票	129
カットシートフィーダ（オプション）で使用する単票用紙	130
一般用紙	130
用紙のとじ方法	131
はがき	132
封筒	132
とじ穴の開けかた	133
プレプリント用紙を使用するとき	133
用紙の形状について	136
取り扱い上のご注意	137
第5章 保守と点検	139
リボンカセットを交換する	140
用紙づまりのとき	143
連続帳票用紙がつまったとき	143
単票用紙がつまったとき	148
リアスタッカ部に用紙がつまったとき	150
カットシートフィーダから吸入した用紙がつまったとき	152
プリンタがうまく動かないとき	155
エラーメッセージが表示されている	155
単票用紙吸入時の不具合	162
連帳用紙吸入時の不具合	162
印字中の問題点	163
印字結果の問題点	163
印字位置の問題点	166
印字位置がページによってズレる	167
カットシートフィーダ使用時の不具合	167
テスト印字をする	169
HEX ダンプ印字をする	171
清掃のしかた	172
プリンタを輸送するとき	173
アフターサービス	174

第6章 オプション	175
オプションの概要	176
カットシートフィーダを取り付ける	177
プリンタ前部に取り付ける	177
プリンタ後部に取り付ける	181
カットシートフィーダを取り外す	184
第7章 プリンタ LAN カードの 取り付け	187
プリンタ LAN カードのご使用方法	188
プリンタ LAN カード搭載方法	189
プリンタ LAN カードの取り外し	190
付 録	193
プリンタの概略仕様	194
外観図	198
標準外観図	198
カットシートフィーダ(オプション)取り付け時の外観図	199
ESC/P モードの制限事項	200
弊社への連絡	201



第 1 章

お使いになる前に

この章では、プリンタの主な特長や製品の内容、使用上の注意事項、各部の名称とはたらき、設置のしかた、リボンカセットの取り付け、電源の投入/切断について説明します。

主な特長	2
製品の内容	4
使用上のお願い	5
設置場所について	5
電源について	5
使用方法について	6
用紙について	6
各部の名称とはたらき	7
各部の名称	7
各部のはたらき	8
プリンタを設置する	10
設置手順	10
輸送用固定材の取り外し	11
単票テーブルのセット	12
単票テーブルの取り扱いについて	13
リアスタッカの取り付け	14
パソコンとの接続	15
電源コードの接続	17
電源の投入と切断	18
電源を入れる	18
電源を切る	19
リボンカセットを取り付ける	20



主な特長

◆ 優れた印字品質

- ・ピン径 0.2mm の 24 ピン×2 階建て構造の印字ヘッド (CD180FI, CD130FI)、24 ピン印字ヘッド (CD110FI) は、日本語の表現に適した見やすく優れた印字品質を実現します。

◆ 印字処理時間の短縮

- ・印刷速度の向上

CD180FI	漢字 180 字/秒
CD130FI	漢字 130 字/秒
CD110FI	漢字 110 字/秒

- ・同一行内に漢字、ANK が混在したとき (ドラフトのみ) は、自動的に速度を切り替えて高速度で印字します。
- ・自動的に正逆方向の最短距離を判別して印字します。
- ・印字中に新しいデータを受信するダブルバッファ方式を採用し、印字処理時間の短縮をはかっています。
- ・ドットの間引き印字 (高速印字モード) により、さらに高速度で印字できます。

<高速印刷モード>

CD180FI	漢字 360 字/秒
CD130FI	漢字 260 字/秒
CD110FI	漢字 220 字/秒

◆ 優れた操作性

- ・水平用紙パスの採用により、連帳、単票ともにプリンタの前後から用紙吸入が可能であり、多様な設置環境に対応できます。
- ・単票の排出方向が前後に設定でき、後部には用紙スタックが可能です。
- ・APTC 機構 (自動紙厚調整機構)、HCPP 機構 (連単自動切換機構)、単票セットフリー機能 (手差し口に簡単に用紙をセットする機構) を標準装備することで、媒体ハンドリングを容易にしています。

◆ 複写紙対応のカットシートフィーダ（オプション）

- ・オプションのカットシートフィーダはプリンタの前後に搭載可能で、最大 5P までの複写紙が使用できます。
(前側にセットする場合は、前側のトラクタは使用できなくなります。)

◆ プリンタ LAN カード

- ・プリンタ LAN カードを搭載することにより 100BASE-TX/10BASE-T の高速ネットワーク環境でのプリンタ共有が可能になります。
LAN カード搭載時は、パラレルインターフェースの同時接続はできません。

◆ 着脱式トラクタ

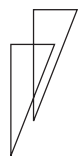
- ・標準装備のトラクタは、着脱式で用途に合わせてプリンタの前後に装着して使用できます。

◆ 高い複写能力

- ・用紙厚さに合わせて自動的に印字ヘッドをコントロールする事により標準モードで 8P の複写枚数を実現しています。(オートで印字パワーが高くなると、印字スピードは低下します。)
- ・縦棒/横棒のコントロール適切化により縦棒/横棒の濃度差の少ない、鮮明な複写能力を実現しています。
- ・高複写モード 1 を選択する事で、さらに 9P の複写能力を実現しています。
- ・さらに高複写モード 2 を選択すると、2 度打ちにより、より高い複写能力を実現します。
- ・CD110FI は、標準モードで 8P、高複写モードで 9P となります。

◆ 省資源対応

待機時 15W 以下の省エネルギー設計です。

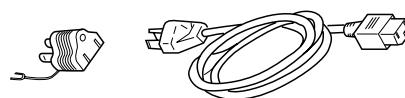


製品の内容

お使いになる前に、以下の製品が揃っていることを確認してください。
なお、プリンタが入っていた箱は、プリンタの保管・輸送の際に必要な
になりますので捨てないでください。

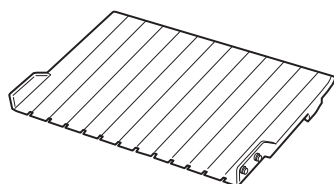


プリンタ本体

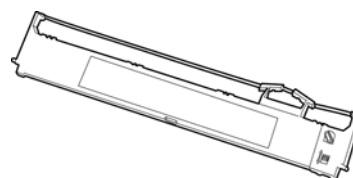


変換プラグ

電源コード



リアスタッカ



リボンカセット (黒、1個)



プリンタケーブル



セットアップディスク

お願い

・接続に使用するケーブルは、添付されているものをご使用願います。
他社製のケーブルの場合、正常に動作しない場合があります。なお、
不明な点については、お買い求めの販売店までお問合せください。

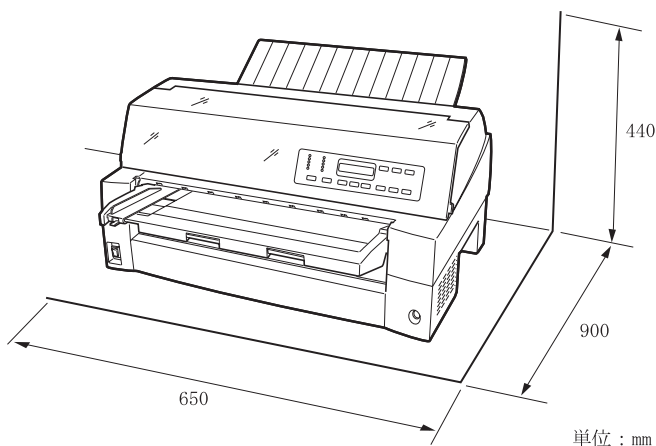


使用上のお願い

このプリンタを使用する際には、以下の点に十分留意されるようお願いいたします。不明な点については、お買い上げの販売店にご相談ください。

■ 設置場所について

- ・長時間直射日光の当たる場所や、エアコンの前など極端に温度や湿度が変わる場所には設置しないでください。
温度と湿度が、以下の範囲内の場所に設置してください。
 - ・周囲温度：5℃～35℃
 - ・周囲湿度：30%～80%（結露しないこと）
- ・ほこり、腐食性ガス、潮風にさらされる場所は避けてください。
- ・磁石はもちろん、テレビやスピーカなど磁気の強いものの近くに設置しないでください。
- ・プリンタを設置するときに必要なスペースは下図のとおりです。



十分なスペースがないと正しい設置や操作ができません。図を参考にしてゆとりのある設置場所を確保してください。

■ 電源について

次の電圧、周波数の範囲の電源を使用してください。

- ・電源電圧：AC100V±10%
- ・電源周波数：50/60±1Hz

■ 使用方法について

- ・用紙およびリボンカセットをセットしていない状態で、印字しないでください。印字ヘッドやプラテンが傷む原因となります。
- ・印字ヘッドが動いているときは、電源を切らないでください。プリンタの故障の原因となります。

■ 用紙について

お使いになる用紙については、「第4章 用紙について」の内容を事前に確認してください。また、次のような用紙を使用しないでください。次のような用紙を使用すると、用紙送りが不安定になり、用紙づまり、用紙折れ、および印字ずれの原因となります。最悪の場合には、印字ヘッドのピンが折れる可能性もあります。

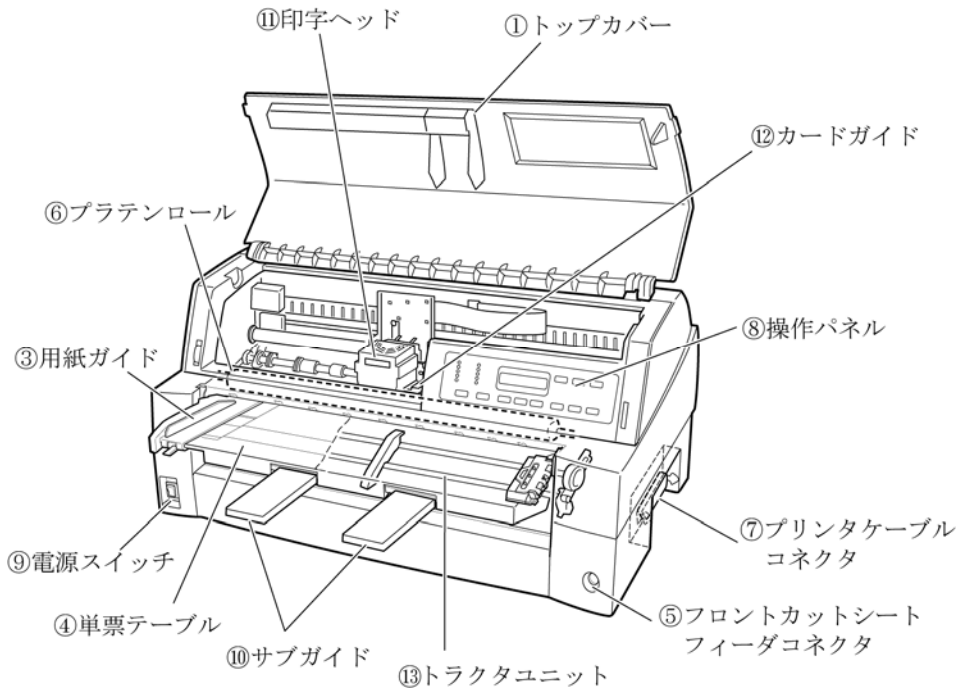
- ・極端に薄い紙または厚い紙（用紙規格を満たさないもの）
- ・小さすぎる紙または大きすぎる紙（用紙規格を満たさないもの）
- ・切り抜き部分や窓のある紙
- ・ピン、クリップ、ホチキスの針など金属の付いている紙
- ・のり付け面が露出している紙、波打っている紙、はがれている紙
- ・浮き彫りのある紙
- ・連続帳票用紙の横ミシン目以外で折りたたんだ紙
- ・複写紙において、オリジナルと複写紙で大きさの異なる紙、または部分的に複写枚数が異なる紙
- ・端または角が破れていたり、折れている紙
- ・束のりとじの複写用紙



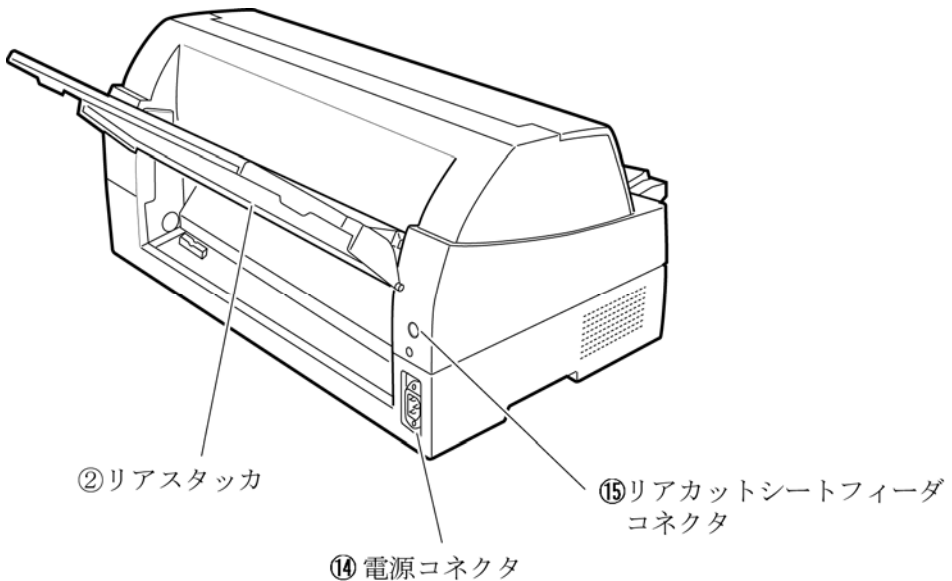
各部の名称とはたらき

■ 各部の名称

◆ 正面



◆ 背面

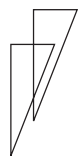


■ 各部のはたらき

各 部 の 名 称	は た ら き
① トップカバー	オペレータが動作中の印字ヘッドに触れない様に保護します。また印字ヘッドをホコリやチリから守ります。トップカバーを開けるとプリンタはオフライン状態となります。引き続き印字を行う場合は、トップカバーを閉じて、オンライン状態としてください。
② リアスタック	単票用紙をスタックします。
③ 用紙ガイド	単票セットフリーオフの場合に、単票手差し時に用紙の左端を支えます。印字開始位置に対して用紙ガイドを移動することにより、左端余白を調整できます。 単票セットフリーオンの場合には使用しないので、左端に寄せておきます。
④ 単票テーブル	手差し単票用紙を使用するときのテーブルです。
⑤ フロントカットシートフィーダコネクタ	オプションのカットシートフィーダを前部に取り付けて使用する場合、ケーブルを接続するコネクタです。
⑥ プラテンロール	印字時に用紙を支えます。
⑦ プリンタケーブルコネクタ	プリンタケーブルをここに接続して、プリンタとパソコンをつなぎます。
⑧ 操作パネル	プリンタの状態表示、プリンタを操作するための各種スイッチがあります。(詳細は、「操作パネルの機能」(27 ページ)を参照)
⑨ 電源スイッチ	「 」側を押すと電源が入り、「○」側を押すと電源が切れます。
⑩ サブガイド	長い単票を使用するとき、引き伸ばして用紙がプリンタから落下しないようにするものです。
⑪ 印字ヘッド	用紙に印字する部分です。
⑫ カードガイド	用紙を送る時の案内板です。また、カードガイド上の二本線は、行方向の印字位置を合わせるための目安です。
⑬ トラクタユニット	連続帳票用紙をプリンタ内部へ送ります。プリンタの前部または後部に取り付けることができます。
⑭ 電源コネクタ	電源コードを接続します。
⑮ リアカットシートフィーダコネクタ	オプションのカットシートフィーダを後部に取り付けて使用する場合、ケーブルを接続するコネクタです。

お願い

- 印字ヘッドが動いているときは、印字ヘッドに触れたり、無理な力を加えたりしないでください。
- 印字中は、トップカバーを開けないでください。
トップカバーを開けると、途中で印字が中断されます、カバーを閉じた後に、オンラインスイッチを押すと、中断した位置から印字を再開しますが、印字品質が低下する事が有ります。



プリンタを設置する

■ 設置手順

プリンタは下記の手順を確認しながら設置してください。

1 製品がすべてそろっていることを確認する

梱包されている製品は「製品の内容」（4 ページ）を参照してください。

2 カバー部品を固定しているテーピング、固定部材を外す

（テープは8本あります。）

3 単票テーブルをセットする

単票テーブルのセットについては「単票テーブルのセット」（12 ページ）を参照してください。

4 トップカバーを開けて輸送用固定材を外す

輸送用固定材の取り外しについては「輸送用固定材の取り外し」（11 ページ）を参照してください。

5 リアスタッカを取り付ける

リアスタッカの取り付けについては「リアスタッカの取り付け」（14 ページ）を参照してください。

6 電源コードを接続する

電源コードの接続については「電源コードの接続」（17 ページ）を参照してください。

7 リボンカセットを取り付ける

リボンカセットの取り付けについては、「リボンカセットを取り付ける」（20 ページ）を参照してください。

8 必要に応じて機能設定を変更する

機能設定の変更方法については「第2章 プリンタの機能とその使いかた」（25 ページ）を参照してください。

9 パソコンと接続する

プリンタケーブルを準備します。パソコンとの接続については「パソコンとの接続」（15 ページ）を参照してください。

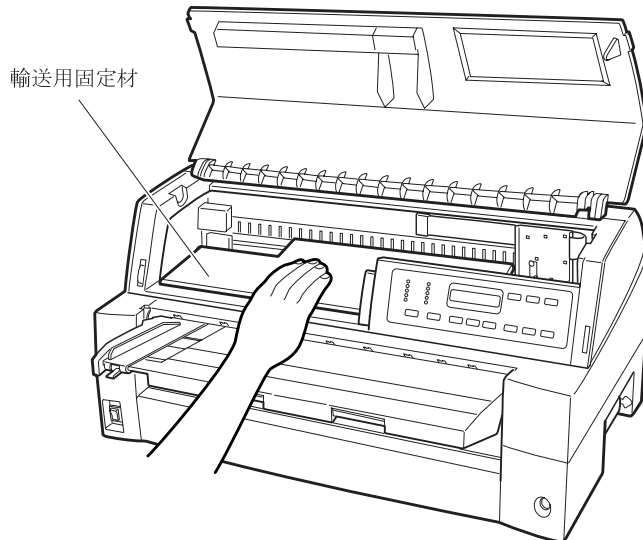
■ 輸送用固定材の取り外し

輸送中の振動などから印字ヘッドを保護するため、輸送用固定材が取り付けられています。プリンタを使用する前に、必ず取り外してください。

— お願い —

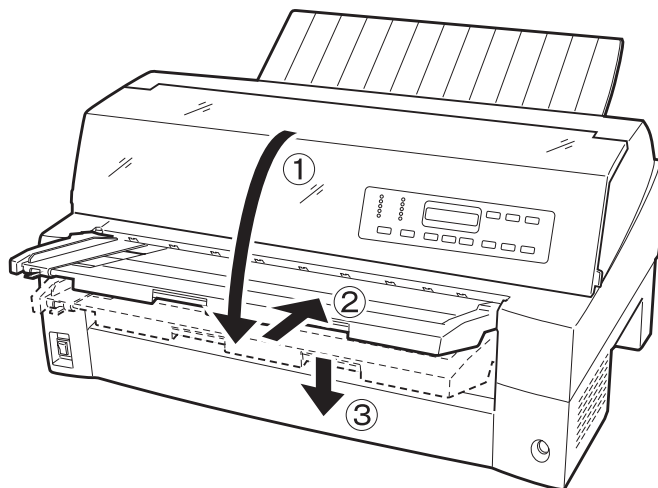
取り外した輸送用固定材は、箱と一緒に保管しておき、再びプリンタを輸送する場合や保管する場合に使用してください。

トップカバーを開けて、印字ヘッドを固定している輸送用固定材を抜き取ります。

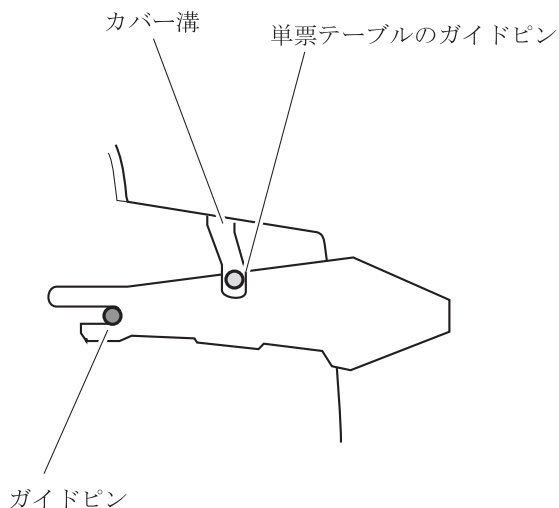


■ 単票テーブルのセット

下図のように単票テーブルを回転させた (①) のち、奥に押し込んで (②) セットします (③)。



セット完了状態は下図のように、単票テーブルの先端がプリンタのガイドピンに挿入され単票テーブルのガイドピンがカバーの溝に入っていることを確認してください。



お願い

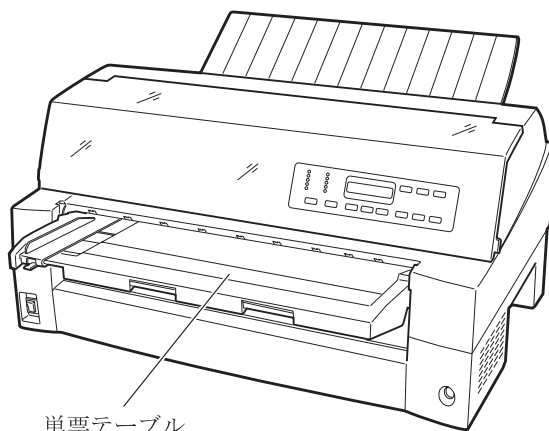
単票テーブルの操作の途中で、無理な力をかけないでください。破損の原因となります。また、途中の状態では放置しないでください。単票テーブルをセットしている途中の状態で使用すると、用紙づまりの原因となります。

■ 単票テーブルの取り扱いについて

単票テーブルは、連続帳票用紙を前トラクタにセットするときや、カットシートフィーダをプリンタ前部に取り付けるときに、いったん開閉する必要があります。

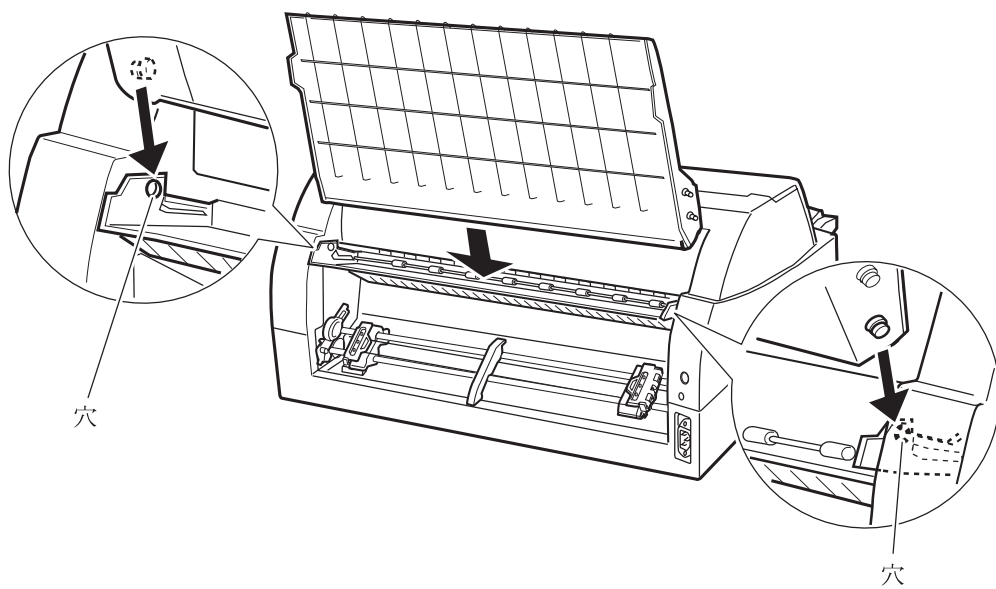
◆ 通常時

通常は下図のような状態です。



■ リアスタッカの取り付け

下図の様にプリンタ背面のスタッカガイドの内側の穴にリアスタッカ両側の突起をはめます。



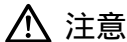
■ パソコンとの接続

このプリンタは、セントロニクス仕様のパラレルインターフェースとLANインターフェースを備えています。



警告

感電 プリンタケーブルを抜き差しするときは、必ずパソコンと本プリンタの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあとに行なってください。感電の原因となります。



注意

感電 プリンタケーブルの接続は間違いがないようにしてください。
誤った接続状態で使用すると、プリンタ本体およびパソコン本体が故障する原因となることがあります。

パソコンとの接続は、次の手順で行います。

1 プリンタとパソコンの電源を切る

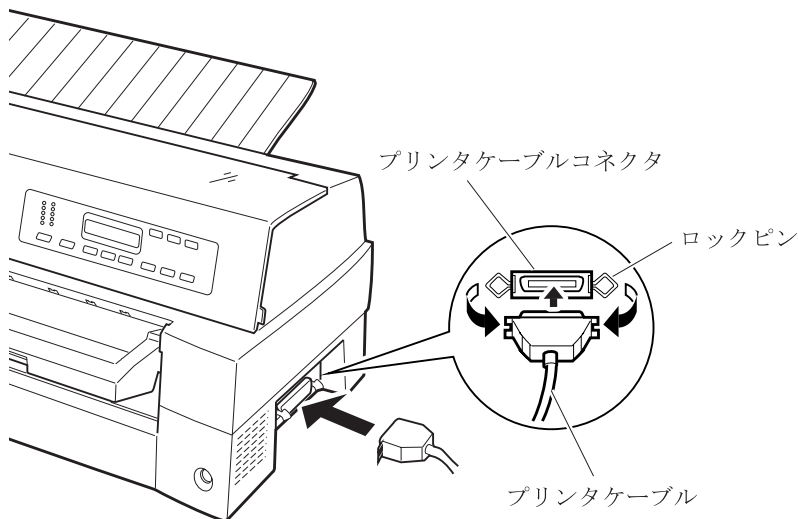
電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

2 プリンタケーブルをプリンタに接続する

- ・パラレルインターフェースの場合

プリンタケーブルの一方を、プリンタ右側面のプリンタケーブルコネクタに差し込み、左右のロックピンで固定します。

注) CD180FI、CD130FI はコネクタが2つ実装されていますが、上段のコネクタに接続してください。



- LAN インターフェースの場合

プリンタ LAN カードを取り付けることにより、100BASE-TX/10BASE-T のネットワーク環境でのプリンタ共有が可能となります。
プリンタ LAN カードの取り付け方法については、「第7章 プリンタ LAN カードの取り付け」を参照してください。

3 プリンタケーブルのもう一方をパソコンに接続する

接続の方法は、お使いになるパソコンのマニュアルをご覧ください。

【注意】 パソコンの平行ポートに接続してご使用する場合は、BIOS の設定を「コンバージド」に変更してお使いください。

■ 電源コードの接続



警告

感電 添付の電源コード以外は使用しないでください。変換プラグを使用する場合、プラグから出ている緑色のアース線を、必ず次のいずれかに取り付けてください。

- ・ 電源プラグのアース線
- ・ 銅片などを 650mm 以上地中に埋めたもの
- ・ 接地工事 (D 種 (第 3 種)) を行なっている接地端子

アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、感電・火災の原因となります。

電源コードの接続は、次の手順で行います。

1 プリンタとパソコンの電源を切る

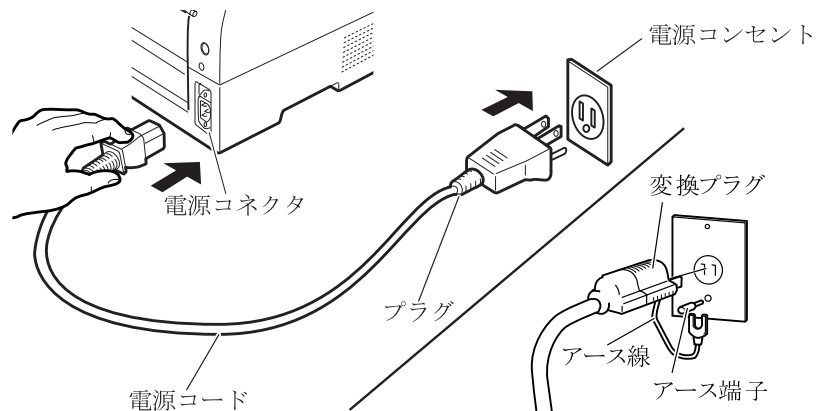
電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

2 プリンタに電源コードを差し込む

プリンタ背面の電源コネクタに電源コードを接続します。

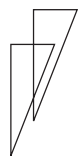
3 電源プラグをコンセントに差し込む

できるだけ 3 ピンの電源プラグを使用してください。もし 3 ピンのコンセントがない場合は、添付の変換プラグを使って電源コードとアース線を接続してください。



お願い

電源プラグは、根元まで確実に差し込んでください。



電源の投入と切断

プリンタの電源の入れかたと切りかたについて説明します。

■ 電源を入れる

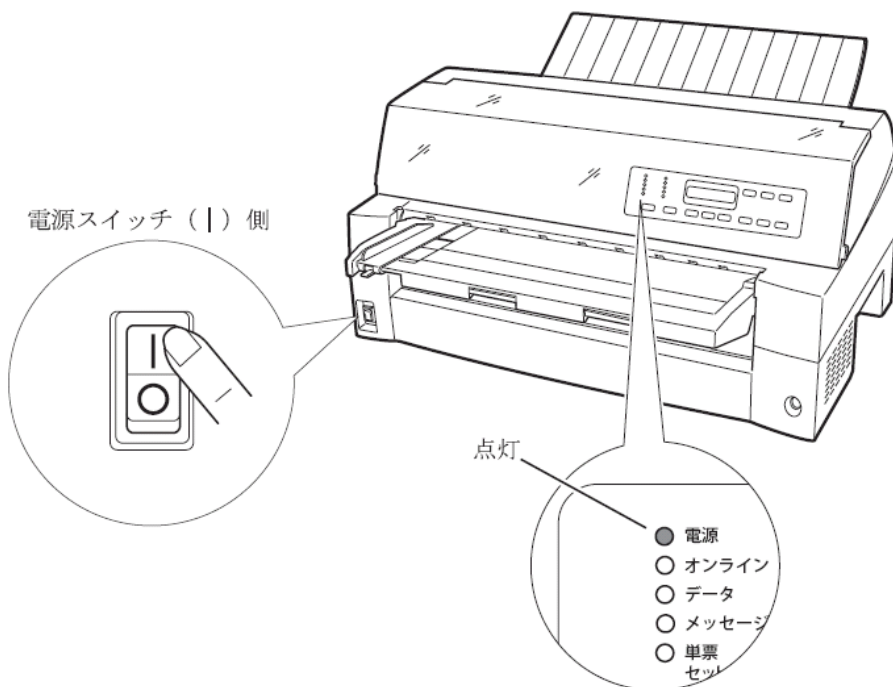
お願い

購入後初めてプリンタに電源を入れるときは、次の点を確認してください。

- 輸送用固定材（印字ヘッド部保護用固定材）が取り外してあること
- 電源コンセントの電源電圧が 100V、周波数が 50 または 60Hz であること

プリンタの前面にある電源スイッチを（|）側に倒します。

「電源」ランプが点灯します。



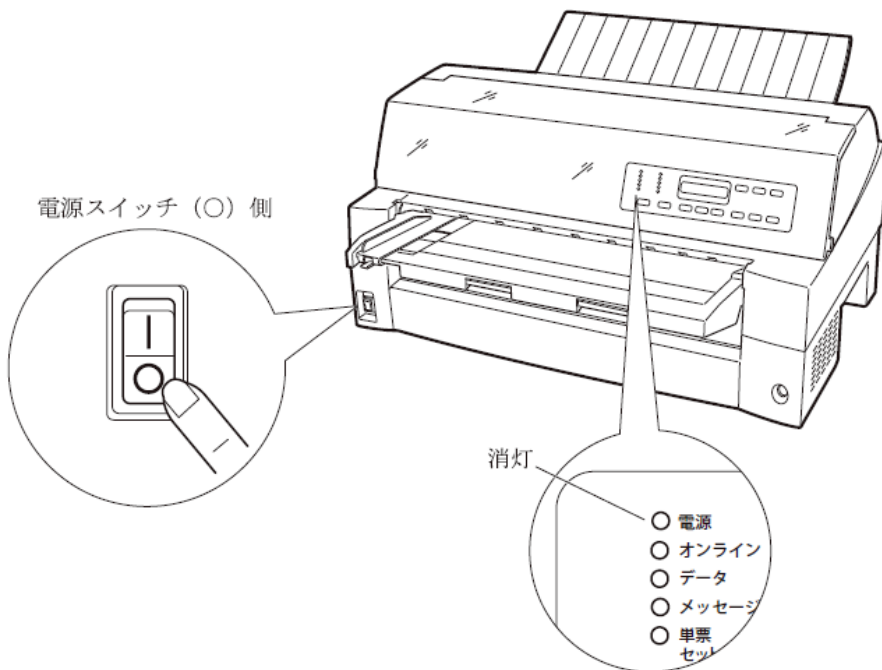
■ 電源を切る

お願い

- 電源の切断は、必ず電源スイッチで行ってください。電源プラグを抜いて電源を切ると、プリンタ内の回路を傷めたり、印字データを壊したりする場合があります。
- 印字ヘッドが動いているときは、電源を切らないでください。
- 電源を切った後、再び電源を入れる場合は、4秒以上待ってください。間隔を開けずに電源を入れると、故障の原因になります。

「電源」ランプが点灯しているときは、電源スイッチを（○）側に倒します。

「電源」ランプが消灯します。



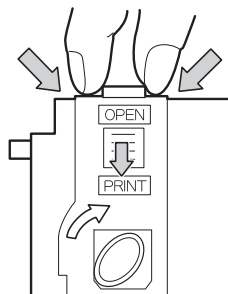


リボンカセットを取り付ける

リボンカセットの取り付けは、次の手順で行います。

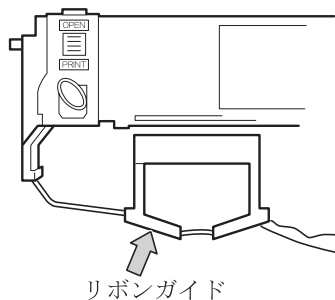
1 リボンカセットのローラ離反ツメロックを外す

リボンカセット上部ツメを矢印方向に押し、ロックを解除します。



2 リボンカセットからリボンガイドを外す

リボンカセットからリボンガイドをゆっくりと外します。なお、リボンのよじれを避けるため、ガイドを外す前にカセットのつまみを回したり、ガイドを急激に引き抜いたりしないようご注意ください。



3 プリンタをリボンが交換できる状態にする

印字ヘッドの輸送用固定材が取り外されていることを確認した後、トップカバーを閉じた状態で電源を投入します。印字ヘッドが移動し、リボン交換位置に停止することを確認します。

ガイド

トップカバーが開いていると印字ヘッドは動作しません。トップカバーを閉めて電源を投入してください。

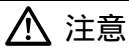
4 プリンタの電源を切る

電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

5 トップカバーを開ける

6 印字ヘッドがリボン交換位置（プリンタ本体に刻印があります）にあることを確認する

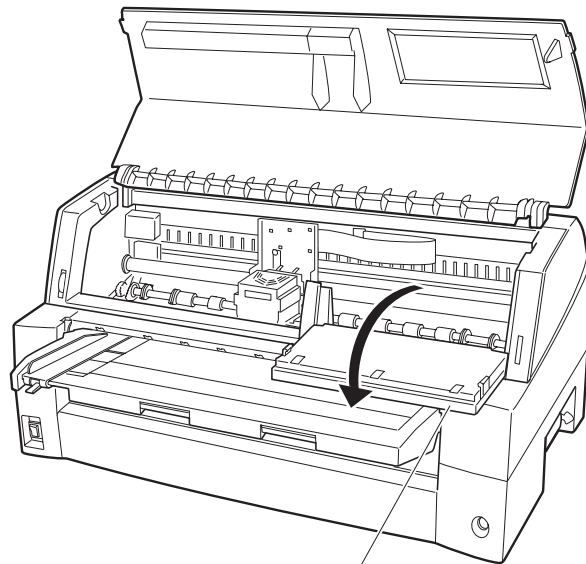
印字ヘッドがリボン交換位置にない場合は、印字ヘッド部分を持ち、ゆっくり横方向へ移動させてください。



注意

高温 使用中や使用直後は、印字ヘッドが高温になります。温度が下がるまで触らないでください。

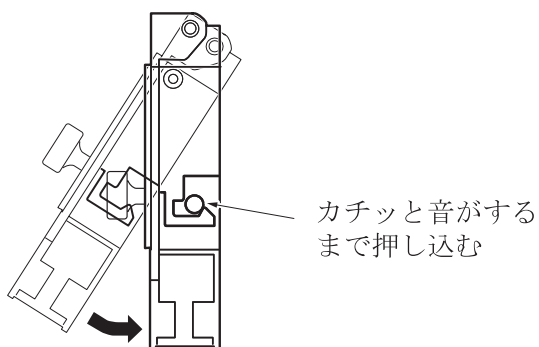
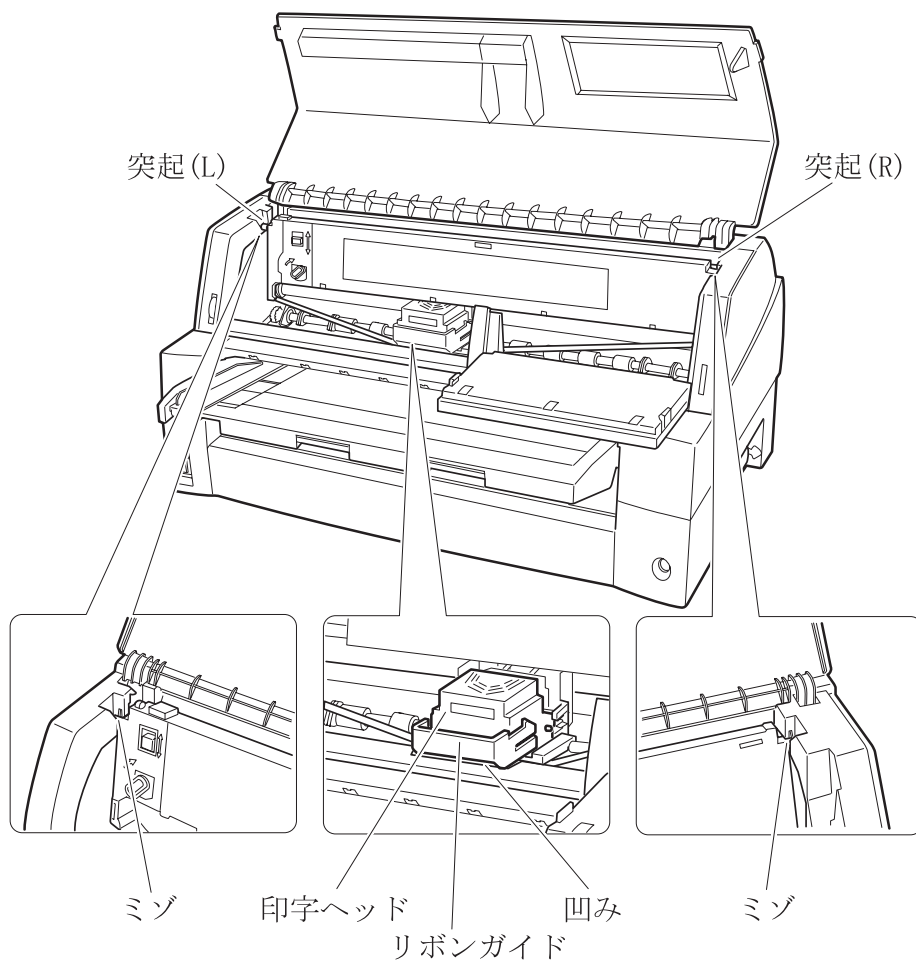
7 操作パネルを手前側に倒す



操作パネル

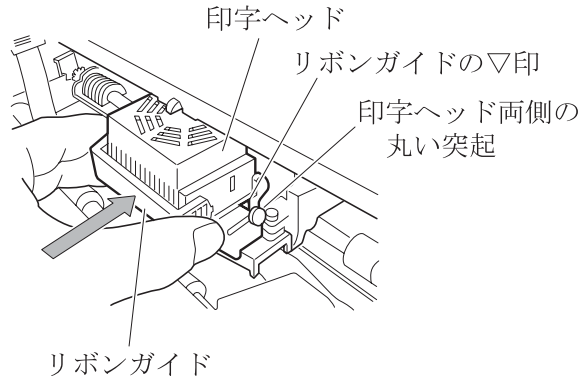
8 リボンカセットを取り付ける

リボンガイドを印字ヘッド手前の凹みに置きます。次にリボンカセット両側の突起(L), (R)をプリンタ上部のミゾに入れ、リボンカセットが垂直になるように左右下部をカチッと音がするまで奥に押し込みます。



9 リボンガイドを取り付ける

リボンを軽くたるませた状態で、リボンガイドの▽印部を印字ヘッド左右両側の丸い突起にしっかりとはめ込みます。この際リボンがよじれないようにご注意ください。



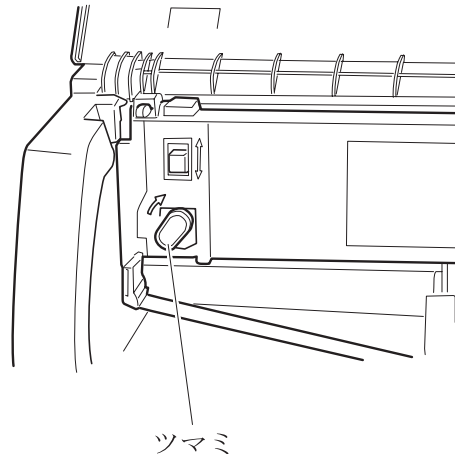
お願い

リボンカセット装着の前にリボンカセットのツマミは回さないでください。

リボンを張った状態でリボンガイドを装着すると、リボンが折れたりよじれたりして、正常に送られなくなることがあります。

10 リボンのたるみを取る

リボンカセットのツマミを矢印の方向(時計回り)に回して、リボンのたるみを取ります。



11 操作パネルを元に戻す

12 トップカバーを閉める



第 2 章

プリンタの機能と その使いかた

この章では、操作パネルの機能、機能設定の変えかた、行間ズレの修正のしかた、用紙吸入量の調整のしかた、および自動検出機能などプリンタの機能とその使いかたについて説明します。

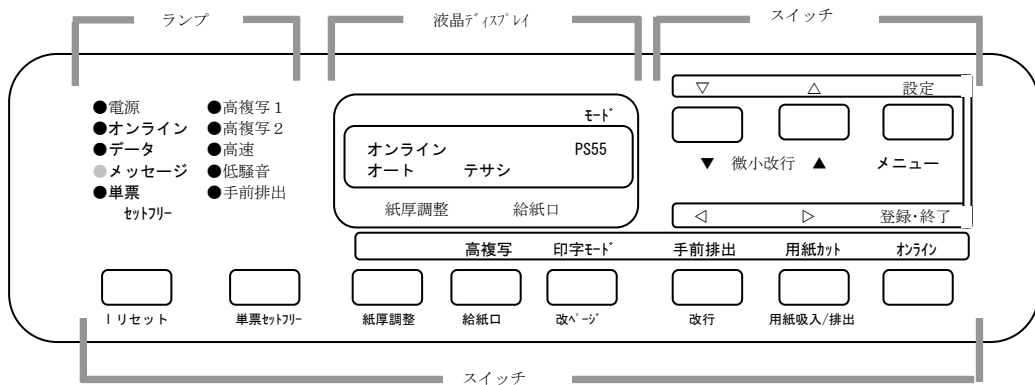
操作パネルの機能	27
液晶ディスプレイ	27
ランプ	28
スイッチ	29
操作パネルを操作する	30
オンライン状態とオフライン状態を切り替える	30
オンライン状態で行う操作	31
用紙をカットする	31
単票用紙の排出方向を切り替える(手前排出)	31
印字モードを切り替える	32
高複写モードに切り替える	32
オフライン状態で行う操作	33
用紙の吸入や排出を行う	33
改行する	34
改ページを行う	34
給紙口を切り替える	35
紙厚調整モードを切り替える	35

単票手差しの方法を切り替える	36
プリンタをリセットする	37
機能設定項目について	38
メニュー印刷	38
テスト印刷	38
装置機能設定	38
余白量設定	39
PS55 固有設定	39
ESC/P 固有設定	39
補正機能	39
その他の設定	40
登録	40
保守モード	40
機能設定を変える	41
基本的な操作	41
選んだ項目に設定する操作	42
数値を設定する操作	43
途中で機能設定を抜ける操作	43
メニューモード	44
ロードイチセンタク	46
メニューインサツ	49
テストインサツ	51
アダプタセッテイ	56
ソウチキノウ セッテイ	58
ヨハクリョウ セッテイ	63
P S 5 5 コユウセッテイ	65
E S C / P コユウセッテイ	67
ホセイキノウ	69
ソノタノセッテイ	72
トウロク	74
ホシュ モード	75
行間ズレを直す	77
連続帳票用紙をカット位置に送る	80
カット位置に送る	80
自動検出機能	82



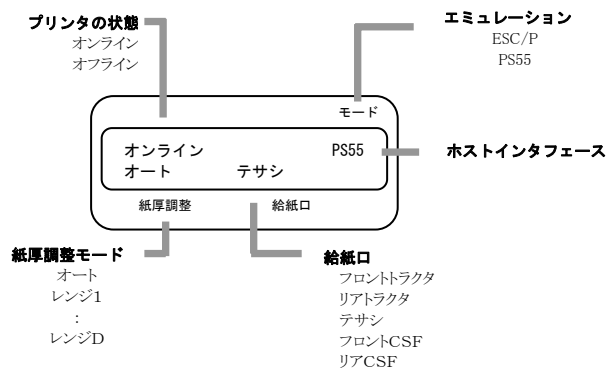
操作パネルの機能

操作パネルには、プリンタの状態を示すランプとプリンタを操作するためのスイッチ、プリンタの設定状態や障害発生時にその内容を表示する液晶ディスプレイが付いています。（注意：CD110FIの高複写ランプは「高複写」のみとなります。）



■ 液晶ディスプレイ

16桁×2行表示の液晶ディスプレイであり、プリンタの状態を表示します。



■ ランプ

- 電源
 - オンライン
 - データ
 - メッセージ
 - 単票
 - 高複写 1
 - 高複写 2
 - 高速
 - 低騒音
 - 手前排出
- セツフリー

各ランプの機能は下表のとおりです。

ランプ名称	色	機能
電源	緑	電源スイッチを入れる(()側に倒す)と点灯します。
オンライン	緑	オンライン状態で点灯します。
データ	緑	プリンタ内に印刷するデータがあるかどうかを知らせます。 点 灯: データが残っている 点 滅: データをパソコンから受信中 消 灯: データがない 点灯または点滅中に電源を切断すると、そのデータは失われます。
メッセージ	橙	印刷できない状態にあることを知らせます。 点 灯: エラーやアラームが発生し、印刷できない状態 消 灯: 印刷できる状態
単票セツフリー	緑	単票セツフリー機能がオンの状態で点灯します。
高複写 1、2	緑	高複写印字モードのときに点灯します。
高速	緑	高速印字モード (間引き印字) のときに点灯します。
低騒音	緑	低騒音印字モード (間引き印字) のときに点灯します。
手前排出	緑	単票の排出方向が「手前排出」のときに点灯します。

■ スイッチ

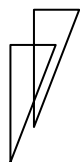
用紙カット/用紙吸入/排出、手前排出/改行、印字モード/改ページのように、スイッチの上下に名称が書かれている場合、そのスイッチの機能はオンライン状態のときは上側、オフライン状態のときは下側になります。

各スイッチを使用した機能については、次ページ以降を参照してください。



ガイド

プリンタのトップカバーが開いていると、スイッチは操作できません。



操作パネルを操作する

印刷をするときに用紙の給紙口を切り替えたり、強制的に改ページを行ったりするために操作パネルを操作します。

■ オンライン状態とオフライン状態を切り替える

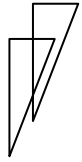
プリンタの状態には、オンライン状態とオフライン状態があります。オンライン状態とオフライン状態は、操作パネルの**オンライン**スイッチによって切り替えます。

◆ オンライン状態

パソコンからデータを受信して印刷動作ができる状態をいいます。通常、電源を投入するとオンライン状態になり「オンライン」ランプが点灯します。「オンライン」ランプが消灯しているとき(オフライン状態)に**オンライン**スイッチを押すと、オンライン状態になります。

◆ オフライン状態

パソコンからデータを受信できない状態をいいます。オンライン状態のときに**オンライン**スイッチを押すと、オフライン状態になります。



オンライン状態で行う操作

ここで使用するスイッチは、スイッチの上の名称で表記します。

■ 用紙をカットする

前/後トラクタ時に**用紙カット**スイッチを押すと、あらかじめセットしたプリンタの用紙がカット位置にくるように用紙送りを行います。

(80 ページ参照)

再度押すと、元の位置（ページ先頭位置）に戻ります。

単票モードの場合は、本スイッチは無効になります。

■ 単票用紙の排出方向を切り替える(手前排出)

単票用紙の排出方向の切り替えを行います。

単票用紙の排出方向には、手前（テーブル側）と後方（スタッカ側）の2つがあります。

◆ 「手前排出」ランプ消灯時

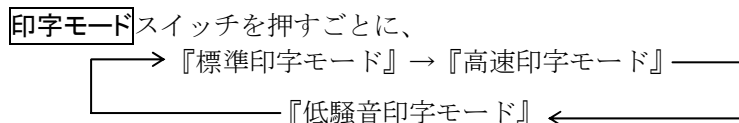
手前排出スイッチを押すと、「手前排出」ランプが点灯し、単票用紙の排出方向は手前排出となります。

◆ 「手前排出」ランプ点灯時

手前排出スイッチを押すと、「手前排出」ランプが消灯し、単票用紙の排出方向は後方排出となります。

排出方向は、単票手差し、前カットシートフィーダ、後カットシートフィーダとも用紙繰り出し方向です。

■ 印字モードを切り替える



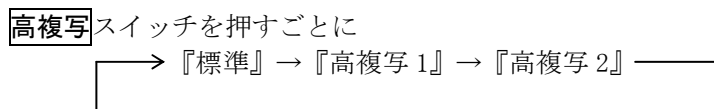
の順に切り替わります。

標準印字モード : 180dpi の解像度で印刷します。

高速印字モード : 間引き印字することにより、標準の2倍の速度で（高速ランプ点灯）印字します。

低騒音印字モード : 高速印字モード（間引き印字）のパターンを標準（低騒音ランプ点灯）印字速度で印字し、騒音を低減します。

■ 高複写モードに切り替える



の順に切り替わります。

高複写モードのときは、「高複写1」または「高複写2」ランプが点灯します。

高複写1 : 印字速度を若干落とし、印字エネルギーを（高複写1ランプ点灯） 上げます。

高複写2 : 印字速度を半分以下に落とし、フロント、（高複写2ランプ点灯） リアのヘッドで同一ドットを二度打ちします。

注意 : CD110FI は、「標準」と「高複写」の切り替えのみとなります。



オフライン状態で行う操作

ここで使用するスイッチは、スイッチの下の名称で表記します。

■ 用紙の吸入や排出を行う

◆ 前トラクタ／後トラクタセット時

(給紙口を「フロントトラクタ」または「リアトラクタ」選択時)

用紙無し状態の場合 **用紙吸入／排出** スイッチを押すと、前トラクタ、または後トラクタにセットしてある連帳用紙を印字開始位置まで吸入します。

用紙有り状態の場合 **用紙吸入／排出** スイッチを押すと、前トラクタ、または後トラクタにセットしてある連帳用紙を待機位置まで後退します。

◆ 単票用紙セット（手差しモード）時

(給紙口を「テサシ」選択時)

機能設定の「ソタ セッテ」で「テサシドウオンライン」を「ムウ」に設定している場合、単票テーブルに単票用紙をセットした状態で

用紙吸入／排出 スイッチを押すと、単票用紙を印字開始位置まで吸入します。

用紙有り状態で **用紙吸入／排出** スイッチを押すと、単票用紙の排出を行います。

排出方向は、「手前排出」ランプの表示状態に従い手前または後方です。

◆ 単票用紙セット（カットシートフィーダ搭載）時

(給紙口を「フロントCSF」または「リアCSF」選択時)

フロントカットシートフィーダまたはリアカットシートフィーダにセットした用紙が未吸入状態で **用紙吸入/排出** スイッチを押すと、単票用紙を印字開始位置まで吸入します。用紙吸入状態で本スイッチを押すと、単票用紙を排出します。

排出方向は、「手前排出」ランプの表示状態に従い手前または後方です。カットシートフィーダが前後に搭載されている場合、フロントカットシートフィーダおよびリアカットシートフィーダのどちらかをビン1、ビン2に割り当てるかは、機能設定「ソタセッテ」の「CSF1ビンセツク」(73ページ参照)に従います。

■ 改行する

改行スイッチを1回押すと、正改行(用紙繰り出し方向)動作を行います。正改行の方向は、プリンタ前面から吸入する用紙(前トラクタ、単票、フロントカットシートフィーダ)と、プリンタ背面から吸入する用紙(後トラクタ、リアカットシートフィーダ)では、用紙繰り出し方向が異なります。

押し続けると、連続正改行動作となります。

(**改行**スイッチによる正改行の送り量は、1/6インチ固定です。)

■ 改ページを行う

改ページスイッチを押します。

◆ 前トラクタ/後トラクタ時

(給紙口を「フロントトラクタ」または「リアトラクタ」選択時)

用紙を次のページの先頭行に送ります。このときのページの長さは、機能設定「リタ/セテイ」で「LPIページテイ」または「インチページテイ」により設定されます。(初期設定 11 インチ) (61 ページ参照)。

印刷実行後はプリンタドライバ、アプリケーションから設定した値になりますが、その後に電源の切断、**リセット**スイッチによるリセット、リセットコマンド送付によるリセットを実行した場合は、機能設定「リタ/セテイ」の「LPI ページテイ」または「インチページテイ」で設定したページ長になります。

◆ 単票用紙セット (手差しモード) 時

(給紙口を「テサシ」選択時)

用紙を排出します。

◆ 単票用紙セット (カットシートフィーダ搭載) 時

(給紙口を「フロント CSF」または「リア CSF」選択時)

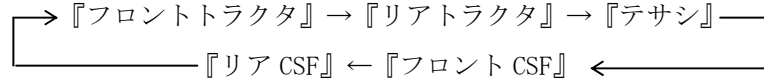
フロントカットシートフィーダまたはリアカットシートフィーダにセットした用紙が未吸入状態で本スイッチを押すと、単票用紙を印字開始位置まで吸入します。用紙吸入状態で本スイッチを押すと、この単票用紙を排出後、フロントカットシートフィーダまたはリアカットシートフィーダにセットした次の単票用紙を印字開始位置まで吸入します。

カットシートフィーダが前後に搭載されている場合、フロントカットシートフィーダおよびリアカットシートフィーダのどちらをピン 1、ピン 2 に割り当てるかは、機能設定「リタ/セテイ」の「CSF 1 ピンセンタ」(73 ページ参照)に従います。

■ 給紙口を切り替える

使用する給紙口を選択します。

給紙口スイッチを1回押すごとに、給紙口が、



の順に切り替わります。

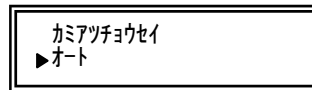
選択された給紙口が、液晶ディスプレイに表示されます。

フロントCSF、リアCSFは、それぞれカットシートフィーダが搭載されているときのみ選択可能です。

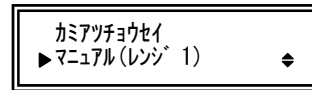
フロントCSF搭載時はフロントトラクタには切り替りません。

■ 紙厚調整モードを切り替える

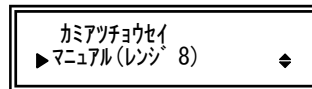
紙厚調整スイッチにより『オート』、『マニュアル』の切り替えができます。(以下の説明は『オート』を『マニュアル(レンジ8)』設定に切り替える例で説明します。)



紙厚調整スイッチを押します。



◀または▶スイッチで『マニュアル(レンジ1)』を選択します



△または▽スイッチで『マニュアル(レンジ8)』を選択します



設定終了

紙厚調整スイッチを押します。
現在選択している紙厚調整値を記憶します



単票手差しの方法を切り替える

単票手差しの方法を切り替えます。

単票セットフリースイッチを押すごとに単票セットフリーのオン、オフが切り替わります。

◆ **単票セットフリーオフ時（単票セットフリーランプ消灯）**

用紙ガイドに用紙左端を沿わせてセットします。印字開始位置は、用紙ガイド（左）を移動させて余白を調整してください。

◆ **単票セットフリーオン時（単票セットフリーランプ点灯）**

用紙を単票テーブルの用紙吸入口に軽く押し込むだけで用紙がセットされます。「単票セットフリー」ランプが点灯します。印字開始位置は機能設定「ヨハクヨウ セッテイ」の「セットフリーノサマヨク」で設定した値になります（64 ページ参照）。



プリンタをリセットする

【P S55 インタフェース】

リセット動作の確認メッセージを表示します。

- ・ リセットスイッチ再押下で、アダプタを経由してホスト通知します。
 - ・ オンラインスイッチ押下で、オフラインへ移行します。
- セットアップのリセットスイッチ設定が無効の場合、無効で、ブザーを鳴動します。

【ESC/P インタフェース】

リセット動作の確認メッセージを表示します。

- ・ リセットスイッチ再押下で、初期化コマンド相当の初期化をします。
 - ・ オンラインスイッチ押下で、オフラインへ移行します。
- セットアップのリセットスイッチ設定が無効の場合、無効で、ブザーを鳴動します。

1 **オンライン**スイッチを押してオフライン状態にする

2 **リセット**スイッチを押す

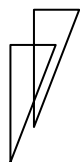
液晶ディスプレイに「シヨキカ シマスカ?Y:リセット N:オンライン」と表示されます。



ガイド

初期化しないときは、**オンライン**スイッチを押すと、リセットせずにオフライン状態に戻ります。

3 再度、**リセット**スイッチを押す



機能設定項目について

プリンタの設定値は、メニューモードで変更することができます。ここでは、メニューモードで設定できる各項目について説明します。設定を変更する手順については、「機能設定を変える」(41 ページ)を参照してください。設定項目の詳細は、「メニューモード」(44 ページ)を参照してください。

■ メニュー印刷

設定一覧の印刷を行います。
設定内容変更後、まだ設定値を登録していない場合、変更した設定値ではなく、登録されている設定値を印刷します。

■ テスト印刷

テストパターンを選択し、印刷を行います。
テストパターンは、イメージモード、漢字モード、ANK モード、スキップモードから選択できます。
テスト印刷は、**登録・終了**スイッチを押して終了します。

■ 装置機能設定

装置機能を設定します。
設定できる項目は、次のとおりです。

- ・ インタフェース
- ・ 印字モード
- ・ 用紙厚さ調整モード
- ・ 印字圧
- ・ 単票セットフリー機能
- ・ 単票手差し用紙の排出方向
- ・ ブザー鳴動
- ・ 印字方向
- ・ 水平方向の印字領域をインチ単位で設定
- ・ 改行ピッチの設定
- ・ 右マージンを文字単位で設定

- ・ 左マージンを文字単位で設定
- ・ ページ長をLPI単位で設定
本設定を行うと「インチサイズ」は「00.0」
- ・ ページ長をインチ単位で設定
本設定を行うと「LPIサイズ」は「00」
- ・ 単票用紙の上マージンを行単位で設定
行ピッチも考慮
- ・ 単票用紙の下マージンを行単位で設定
行ピッチも考慮
- ・ ページ下端からミシン目スキップ行数を設定
- ・ 簡易バーコード機能の設定
簡易バーコード機能のコマンドデリミターを設定
- ・ 簡易拡大機能の有効／無効の設定
- ・ 簡易拡大機能に対するスムージング機能の有効／無効の設定
- ・ 単票用紙吸入で、上端余白を標準とするかハガキ使用の11.0mm固定とするかを設定
- ・ 単票手差し用紙の排出方向
- ・ CSF用紙の排出方向
- ・ 「リセット」スイッチの有効／無効を設定
- ・ 拡張コマンド機能を使用有無を設定（CD110FIのみ）

■ 余白量設定

上下端または左端の余白量を設定します。
上端余白量は、いずれも用紙上端から1行目の文字上端までの値を指します。

■ PS55 固有設定

IBM5577 エミュレーション固有の機能追加設定を行います。

■ ESC/P 固有設定

ESC/P 固有の書式設定を行います。

■ 補正機能

改行や上端余白の補正を行います。

■ その他の設定

メニュー印刷～補正機能以外の設定を行います。

■ 登録

設定内容に関する初期化、取り消し、書き込みを行います。

■ 保守モード

保守に必要な表示や設定、ROM 版数の表示やヘッド使用状況の表示、HEX ダンプ印刷などを行います。
保守モードは保守者用の機能です。保守以外の目的では使用しないでください。



機能設定を変える

プリンタの設定を変えるときの操作方法について説明します。設定の変更は、メニューモードで行います。

■ 基本的な操作

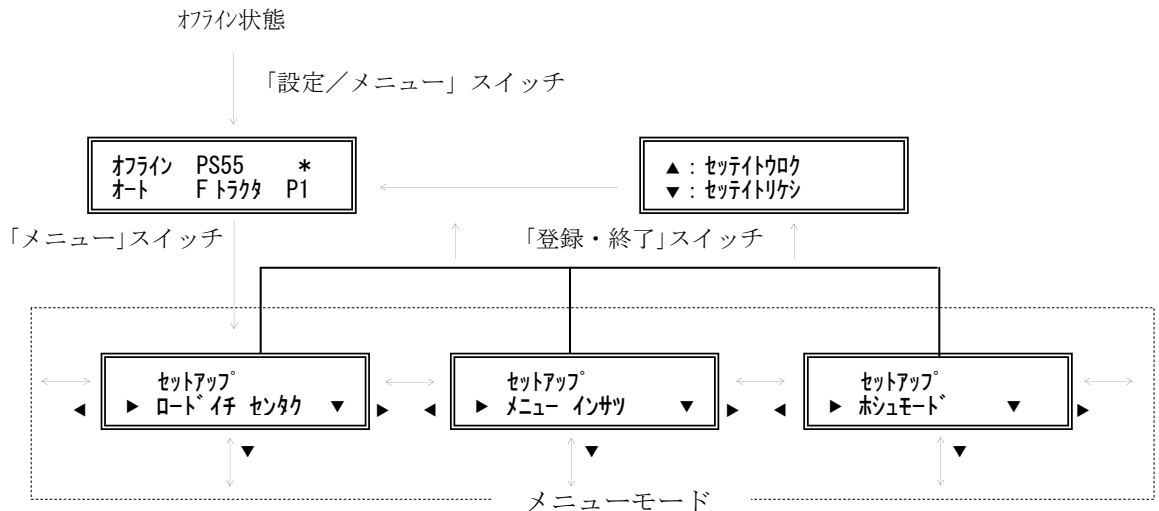
メニューモードでは、目的の設定値を上位のレベルから順に選んで表示させ、設定します。設定値までのレベルの深さは項目によって異なります。

メニューモードでは、次のスイッチを使用します。

設定/メニュースイッチ オフライン状態で本スイッチを押すとメニューモードに入ります。メニューモード移行後は、本スイッチを押すと表示中の値に設定します。

△または▽スイッチ レベルを移動します。

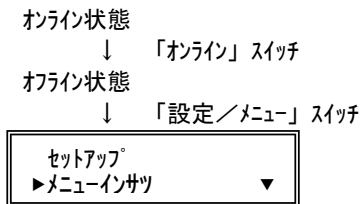
◀または▶スイッチ 同じレベル内で項目を切り替えます。



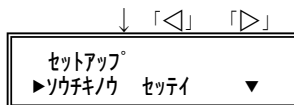
■ 選んだ項目に設定する操作

具体的な操作方法を以下に示します。
表示例は、ブザーの鳴動のオン/オフを設定するときのものです。

- 1 オフライン状態で**設定/メニュー**スイッチを押し、メニューモードにする



- 2 ◀または▶スイッチで、同じレベル内の項目を切り替える



- 3 ▽または△スイッチで、レベルを移動する

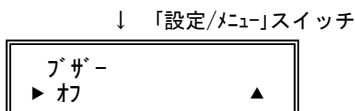
▽スイッチを押すと、2で選択した項目が上段に、その項目の下にある項目が下段に表示されます。△スイッチを押すと、上のレベルに移動します。

- 4 2と3の操作を繰り返して、目的の設定値を表示する



- 5 **設定/メニュー**スイッチを押して、値を確定する

設定/メニュースイッチを押すと、設定値の前に「*」が表示され、その値が設定されます。



6 必要に応じて設定を繰り返す

ほかに設定する項目がある場合は、操作を繰り返して設定します。

7 メニューモードの「トウロク」で「セツテイトウロク」を実行し、設定内容を登録する

登録・終了スイッチを押した後、△スイッチを押すと、設定を登録します。▽スイッチを押すと、登録が取り消しになります。これを実行しないと、ここまで設定した内容は保存されません。

↓ 「登録/終了」スイッチ



5 の操作後、**登録・終了**スイッチを押すと、メニューモードの「トウロク」と同様に設定内容を登録できます。

8 オンラインスイッチを押して、オンライン状態に戻る

終了後は、オフライン状態のため、もう一度**オンライン**スイッチを押してオンライン状態に戻します。

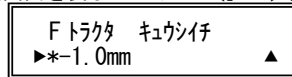
■ 数値を設定する操作

余白の設定や用紙吸入量の設定など、値を数値で指定するときは、次のように操作します。

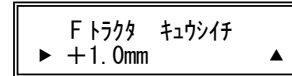
表示例は、Fトラクタ給紙位置を設定するときのものです。

設定画面を表示し、▷スイッチで加算、◁スイッチで減算します。

設定画面を表示 ↓ 「◁」「▷」「▽」「△」



値を増減 ↓ 「◁」「▷」

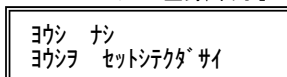


■ 途中で機能設定を抜ける操作

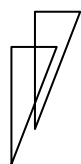
登録・終了スイッチを押します。

設定変更をしていない場合は、下の画面表示に戻ります。

↓ 「登録/終了」スイッチ



*****は現在の給紙方法が表示されます。



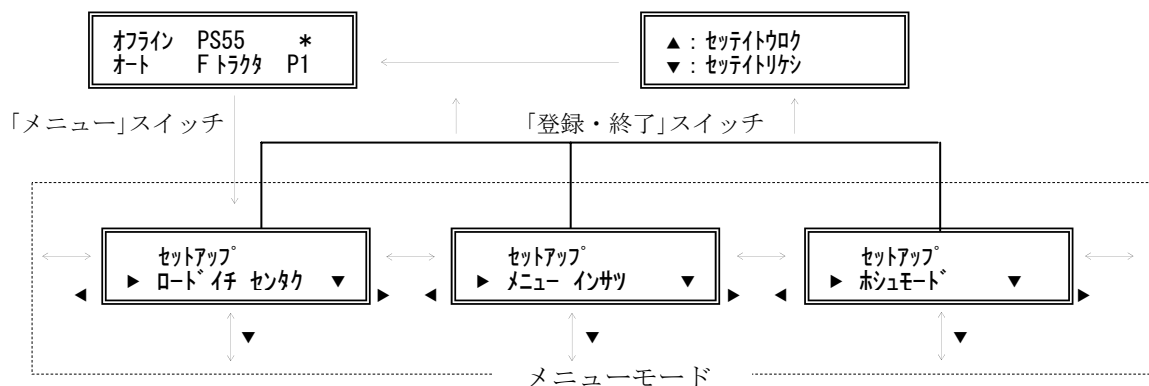
メニューモード

オフライン状態で「メニュー」スイッチを押下すると、メニューモードになり、トップメニューをLCDに表示します。

メニューモードには、以下の内容があります。

メニューモード	トップメニュー名称	説明章
1 用紙吸入位置の選択	ロードイ セタク	ロードイチセンタク
2 設定一覧の印刷実行	メニュー インサツ	メニューインサツ
3 テストパターンを選択・印刷実行	テスト インサツ	テストインサツ
4 KELアダプタの設定	アダプタ セッテイ	アダプタセッテイ
5 装置機能設定	ソウチキノウ セッテイ	ソウチキノウ セッテイ
6 上下端、左端余白量の設定	ヨハクリョウ セッテイ	ヨハクリョウ セッテイ
7 PS55エミュレーション固有機能の設定	PS55 コユセッテイ	PS55 コユウセッテイ
8 ESC/Pエミュレーション固有機能の設定	ESC/P コユセッテイ	ESC/P コユウセッテイ
9 改行補正	ホセイキノウ	ホセイキノウ
10 上記以外の設定	ソノタセッテイ	ソノタセッテイ
11 設定内容の初期化・取り消し・書込み	トウロク	トウロク
12 ROM版数の表示、ヘッド使用状況の表示 (%)、HEXダンプモード	ホシュモード	ホシュ モード

【メニューモードの状態遷移図】



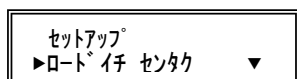
【メニューモード（トップメニュー）時のスイッチ機能】

スイッチ名称	機能
▽, 微小改行▼	メニュー項目の実行
△, 微小改行▲	無効
△, 用紙カット, 用紙吸入/排出	次の大項目に進む
△, 手前排出, 改行	前の大項目に戻る
登録・終了, オンライン	メニューモードを終了し、設定書込み確認メッセージをLCDに表示する ただし、設定が何も変更されていない場合は、書込み確認メッセージは表示しない
設定, メニュー	無効
印字モード, 改ページ	無効
高複写, 給紙口	無効
紙厚調整モード	無効
単票セットフリー	無効
リセット	無効

■ ロードイテセンタク

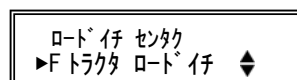
用紙吸入位置の選択を行います。

LCD表示内容



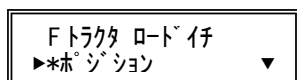
- ▶スイッチを押すと、LCDの2行目の表示が、「メニュー」に切り換わります
- ◀スイッチを押すと、LCDの2行目の表示が、「ホーム」に切り換わります。
- ▼スイッチを押すと、LCD表示が下図となり、用紙パス選択メニューとなります。

↓ ↑



- ▲スイッチを押すと、上記トップメニューに戻ります。
- ◀▶スイッチで変更したい用紙パスを選択します。
- ▼スイッチを押すと、LCD表示が下図となり、吸入位置変更メニューとなります。

↓ ↑



- ▲スイッチを押すと、上記用紙パス選択メニューに戻ります。
 - ◀▶スイッチで吸入位置の表示を切り替えます。
- 設定スイッチを押すと現在表示されている吸入位置が選択され、設定位置の前に“*”が表示されます。

【用紙吸入位置選択モードのスイッチ機能】

スイッチ名称	機 能	
	用紙パス選択時	吸入位置選択時
登録・終了 オンライン	用紙吸入位置選択モードを終了する。 終了後は、オフライン状態となる。	←
▷用紙カット, 用紙吸入/排出	次の用紙パスに進む	次の設定位置に進む
◁手前排出, 改行	前の用紙パスに戻る	前の設定位置に戻る
印字モード, 改ページ	無効	←
高複写, 給紙口	無効	←
紙厚調整モード	無効	←
単票セットフリー	無効	←
リセット	無効	←
設定, メニュー	無効	現在の設定位置を選択する (設定位置の先頭に*を表示する)
▽, 微小改行▼	吸入位置選択モードへ移行	無効
△, 微小改行▲	上位項目選択モードへ移行	上位項目選択モードへ移行

【「ロードイテ センタク」の選択項目】

項	用紙パス選択項目名	吸入位置名	電源投入/ イニシャル 動作終了時	用紙吸入量は、 余白量設定 (=セットアップ) の 『XXXXXX ウェヨハク』の設定内容に従います。
1	Fトラクタ ロードイテ	ポジション 1 ポジション 2	○	『Fトラクタ 1 ウェヨハク』の設定値 『Fトラクタ 2 ウェヨハク』の設定値
2	Rトラクタ ロードイテ	ポジション 1 ポジション 2	○	『Rトラクタ 1 ウェヨハク』の設定値 『Rトラクタ 2 ウェヨハク』の設定値
3	テサシCSF ロードイテ	ポジション 1 ポジション 2	○	『テサシCSF 1 ウェヨハク』の設定値 『テサシCSF 2 ウェヨハク』の設定値

用紙パス（給紙口）が『フロントトラクタ』の場合は、「Fトラクタ ロードイテ」より選択します。

用紙パス（給紙口）が『リアトラクタ』の場合は、「Rトラクタ ロードイテ」より選択します。

用紙パス（給紙口）が『テサシ』または『フロント（リア）CSF』の場合は、「テサシCSF ロードイテ」より選択します。

用紙吸入量は、余白量設定 (=セットアップ) の『XXXXXX ウェヨハク』の設定内容に従います。

- ・ 「Fトラクタ ロードイテ」が「ポジション 1」の吸入量は、『Fトラクタ 1 ウェヨハク』の設定値
- ・ 「Fトラクタ ロードイテ」が「ポジション 2」の吸入量は、『Fトラクタ 2 ウェヨハク』の設定値
- ・ 「Rトラクタ ロードイテ」が「ポジション 1」の吸入量は、『Rトラクタ 1 ウェヨハク』の設定値
- ・ 「Rトラクタ ロードイテ」が「ポジション 2」の吸入量は、『Rトラクタ 2 ウェヨハク』の設定値
- ・ 「テサシCSF ロードイテ」が「ポジション 1」の吸入量は、『テサシCSF 1 ウェヨハク』の設定値
- ・ 「テサシCSF ロードイテ」が「ポジション 2」の吸入量は、『テサシCSF 2 ウェヨハク』の設定値

電源投入、* I N I T信号受信等によるイニシャル動作を行った場合の吸入位置は、以下の表示になります。

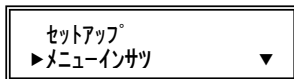
- ・ 「Fトラクタ ロードイテ」は「ポジション 1」の吸入位置
- ・ 「Rトラクタ ロードイテ」は「ポジション 1」の吸入位置
- ・ 「テサシCSF ロードイテ」は「ポジション 1」の吸入位置

■ メニューインサツ

設定内容の一覧印刷を行います。

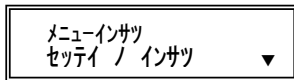
設定内容変更後、まだ設定値を登録していない場合、変更した設定値ではなく、現在登録されている設定値を印刷します。

L C D表示内容



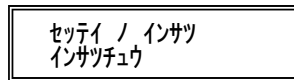
- ▶スイッチを押すと、LCDの2行目の表示が、「**フ**スト イツツ」に切り換わります。
- ◀スイッチを押すと、LCDの2行目の表示が、「**フ**スト イツツ」に切り換わります。
- ▼スイッチを押すと、LCD表示が下図となります。

↓ ↑



- ▲スイッチを押すと、上記トップメニューに戻ります。
- 設定スイッチを押すと、設定内容一覧印刷が開始されます。

↓ ↑



印刷が終了すると、LCD表示が上図の表示に戻ります。

設定一覧印刷中にPEとなっても、“メニューインサツモード”から抜けません。
用紙吸入後、メニューインサツの続きを自動再開します。

本モード中は、以下のスイッチのみ有効です。（用紙無し状態時のみ有効）

『オンライン』 メニューインサツを終了します。

『用紙吸入／排出』 用紙の吸入を行います。

『リセット』 イニシャル動作後、通常モードに戻ります。

次のページに、設定内容一覧を示します。

R O M版数

M : VxxLxxRxx は、プリンタ装置のバージョンです。

A : VxxLxxRxx-x は、アダプタのバージョンです。

アダプタが未搭載の場合は、A : ***** と印字します。

【設定内容一覧の印刷例】

メニュー設定内容一覧			
装置機能設定		ESC/P固有設定	
インタフェース	= PS55	ANK モジ ^レ ヘンイ	= LQ
インジ ^レ モード ^レ	= ヒョウジ ^レ ユン	ANK ショタイ	= クーリエ
カミアツ ^レ チョウセイ	= オート	ANK モジ ^レ ピ ^レ ツチ	= 10.0 CPI
インジ ^レ アツモード ^レ	= ヒョウジ ^レ ユン	ANK シュクシヨウ	= オフ
タンピョウセツフリー	= ユウコウ	ANK コード ^レ ヒョウ	= カタカナ コード ^レ
テサシ PEセケンシユツ	= ケンシユツスル	ANK コクサイモジ ^レ	= ニッポン
フサ ^レ	= オン	CRコード ^レ	= CR ONLY
インジ ^レ ホウコウ	= リョウホウコウ	TOFイチ デノ FF	= ユウコウ
インジ ^レ リョウイキ	= 13.6 インチ		
ギョウ ^レ ピ ^レ ツチ	= 6.0 LPI	補正量設定	
ミギ ^レ マージン	= 136 モジ ^レ メ	テサシ カイギ ^レ ョウホセイ	= 0mm
ヒタリ マージン	= 001 モジ ^レ メ	FCSF カイギ ^レ ョウホセイ	= 0mm
LPI ページシテイ	= 66 ギョウ	RCSF カイギ ^レ ョウホセイ	= 0mm
インチ ページシテイ	= 00.0 インチ	フトラ カイギ ^レ ョウホセイ	= 0mm
トップ マージン	= 00 ギョウ	Rトラ カイギ ^レ ョウホセイ	= 0mm
ボトム マージン	= 00 ギョウ	フトラ サイシュウページ ^レ	= 0mm
ミシンメ スキップ	= 00 ギョウ	Rトラ サイシュウページ ^レ	= 0mm
ハーコード ^レ キノウ	= #		
カクタイ キノウ	= ユウコウ	その他の設定	
スムージンク ^レ キノウ	= ムコウ	シャコウケンシユツ	= ユウコウ
ハガキ ウエヨハク	= ヒョウジ ^レ ユン	テサシ シド ^レ ウオンライン	= ユウコウ
テサシ ハイシユツホウコウ	= テマエハイシユツ	トラクタ シド ^レ ウオンライン	= ムコウ
CSF ハイシユツホウコウ	= コウホウハイシユツ	ヨウシガイ インジ ^レ ボウシ	= ユウコウ
リセット スイッチ	= ユウコウ	CSF 1ビ ^レ ンセレクト	= FCSF
カク ^レ チョウコマンド ^レ	= ムコウ	CSF キョウシセイキョ	= ヒョウジ ^レ ユン
		リボン ホコキノウ	= ムコウ
余白量設定		CSF カミアツケンシユツ	= ツウジ ^レ ョウ
フトラクタ 1 ウエヨハク	= 030/120 インチ	ヘット ^レ コウカン ヒョウジ ^レ	= ユウコウ
フトラクタ 2 ウエヨハク	= 030/120 インチ	ティアオフ	= シュド ^レ ウ
Rトラクタ 1 ウエヨハク	= 110/120 インチ	シャコウケンシユツイチ	= 1.5mm
Rトラクタ 2 ウエヨハク	= 110/120 インチ	トラクタ キョウシセイキョ	= セイト ^レ ユウセン
テサシCSF 1 ウエヨハク	= 110/120 インチ		
テサシCSF 2 ウエヨハク	= 110/120 インチ	装置情報	
フトラクタ カタンヨハク	= 000/120 インチ	アダプタ キノウ	= ユウコウ
Rトラクタ カタンヨハク	= 000/120 インチ	PRINTER ROM	= V01L01R01
テサシCSF カタンヨハク	= 000/120 インチ	ADAPTER ROM	= V01L01R01-C
セツフリー ノ サタンヨハク	= 5.1mm	ヘット ^レ ピ ^レ ンカウンタ	= xx%
PS55固有設定			
ケイセン インジ ^レ ホウコウ	= リョウホウコウ		
イメージ オリカエシ	= ユウコウ		
カンジ ^レ フオント	= NEW JIS		
ハンカク フオント	= ヒョウジ ^レ ユン		
ハンカク モジ ^レ ピ ^レ ツチ	= 10.0 CPI		
ニジ ^レ ユウインジ ^レ	= ムコウ		
コウツク コマント ^レ	= ユウコウ		
トラクタ センタク	= フロント		
ヘット ^レ イニシャル	= NORMAL		
TOFシヨキカコマント ^レ	= ユウコウ		
TOFタンピョウハイシユツ	= ムコウ		

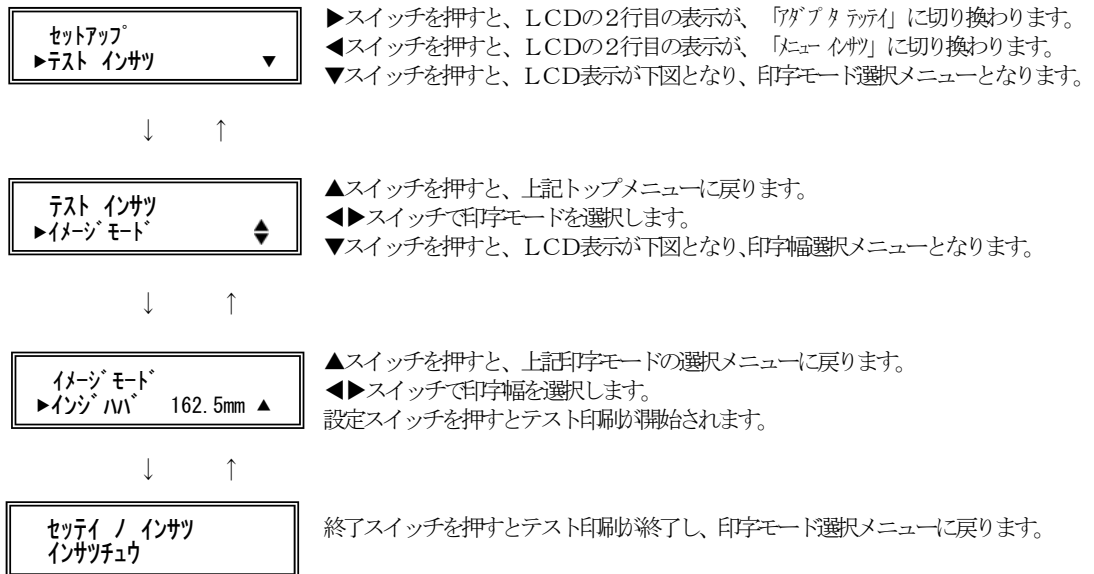
【注意】 「拡張コマンド」の設定はCD180FI, CD130FIにはありません。

■ テストインサツ

プリンタのローカルテスト印字を行います。

LCDの表示に従い、印字モードと印字幅を選択します。

LCD表示内容



【選択可能な印字モードと印字幅】

印字モード	印字幅	印字モード
イメージモード	イメージ幅 162.5mm	印字桁数:64桁 (パイカ換算) チョウチョウマーク印字
	イメージ幅 345.5mm	印字桁数:136桁 (パイカ換算) チョウチョウマーク印字
カンジモード	イメージ幅 162.5mm	印字桁数:64桁 (パイカ換算) 全漢字コードを印字
	イメージ幅 345.5mm	印字桁数:136桁 (パイカ換算) 全漢字コードを印字
ANKモード ドラフト	イメージ幅 162.5mm	印字桁数:64桁 (パイカ換算) ドラフトフォントで全ANKコードを印字
	イメージ幅 345.5mm	印字桁数:136桁 (パイカ換算) ドラフトフォントで全ANKコードを印字
ANKモード コピイ	イメージ幅 162.5mm	印字桁数:64桁 (パイカ換算) LQフォントで全ANKコードを印字
	イメージ幅 345.5mm	印字桁数:136桁 (パイカ換算) LQフォントで全ANKコードを印字
スキップモード	イメージ幅 162.5mm	印字桁数:64桁 (パイカ換算) スキップパターンを印字
	イメージ幅 345.5mm	印字桁数:136桁 (パイカ換算) スキップパターンを印字

漢字コード表, ANKコード表は、セットアップのインタフェース設定 (P S 5 5, E S C / P) に従います。

【テスト印刷動作中のLCD表示内容】

A									B										C
D									E										

位置	表示内容	表示例	文字数
A	プリンタ状態	テストインサツ	7
B	インタフェース	PS 5 5	2
		ESC/P	2
C	KELアダプタ	* (KELアダプタ)	1
		(ヒョウジュ)	0
D	紙厚調整モード	オート	3
		レンジ1	5
		レンジx	5
		レンジD	5
E	給紙口	Fトラクタ	5
		Rトラクタ	5
		テサシ	3
		FCSF	4
		RCSF	4
F	用紙吸入位置	P1 (ポジション1)	2
		P2 (ポジション2)	2

【印刷モード・印字幅選択メニュー時のスイッチ機能】

スイッチ名称	機能
登録・終了 オンライン	テスト印刷モードを終了する。 終了後は、オフライン状態となる。
▶ 用紙カット, 用紙吸入/排出	次の項目に進む
◀ 手前排出, 改行	前の項目に戻る
印字モード, 改ページ	無効
高複写, 給紙口	無効
紙厚調整モード	無効
単票セットフリー	無効
リセット	無効
設定, メニュー	印字モード選択メニュー時は無効 印字幅選択メニュー時は、テスト印刷の実行
▽, 微小改行▼	▼表示時：下位項目へ移行 ▼未表示時：無効
△, 微小改行▲	▲表示時：上位項目へ移行 ▲未表示時：無効

【印刷動作中のスイッチ機能】

スイッチ名称	機能
登録・終了 オンライン	テスト印刷モードを終了する。 終了後は、オフライン状態となる。
▶ 用紙カット, 用紙吸入/排出	PEで中断中は用紙吸入動作実行 印刷動作中は無効
◀ 手前排出, 改行	無効
印字モード, 改ページ	高速、低騒音の指定・解除 スイッチ押下と共に「高速LED」、「低騒音LED」がオン・オフする。 …両方消灯→高速点灯→高速消灯・低騒音点灯→両方消灯…
高複写, 給紙口	高複写（1, 2）の指定・解除 スイッチ押下と共に「高複写1LED」、「高複写2LED」がオン・オフする。 …両方消灯→高複写1点灯→高複写1消灯・高複写2点灯→両方消灯… 高複写1：印字速度を若干落とし、印字エネルギーを上げる。 高複写2：印字速度を半分以下に落とし、フロント、リアのヘッドで同一ドットを二度打ちする。
紙厚調整モード	無効
単票セットフリー	無効
リセット	無効
設定, メニュー	無効
▽, 微小改行▼	無効
△, 微小改行▲	無効

テスト印刷動作中にPEとなっても、“テストインサツモード”から抜けません。

用紙吸入後、テスト印刷の続きを自動再開します。

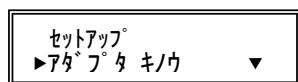
テスト印刷動作は、「登録・終了」スイッチ押下により終了します。

■ アダプタセッテイ

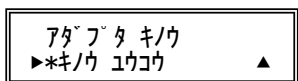
KELアダプタ機能を有効／無効に設定します。

アダプタが未搭載の時は、スキップします。

LCD表示内容



- ▶スイッチを押すと、LCDの2行目の表示が、「ワザウセッテイ」に切り換わります
- ◀スイッチを押すと、LCDの2行目の表示が、「テスト」に切り換わります。
- ▼スイッチを押すと、LCD表示が下図となり、設定値変更メニューとなります。



- ▲スイッチを押すと、上記トップメニューに戻ります。
- ◀▶スイッチで設定値の表示を切り替えます。
- 設定スイッチを押すと現在表示されている設定値が選択され、設定値の前に“*”が表示されます。

【アダプタ セッテイ・選択時のスイッチ機能】

スイッチ名称	機能
登録・終了 オンライン	メニューモードを終了し、設定書込み確認メッセージをLCDに表示する ただし、設定が何も変更されていない場合は、書込み確認メッセージは表示しない
▶ 用紙カット, 用紙吸入/排出	次の設定値に進む
▶ 手前排出, 改行	前の設定値に戻る
印字モード, 改ページ	無効
高複写, 給紙口	無効
紙厚調整モード	無効
単票セットフリー	無効
リセット	無効
設定, メニュー	現在の設定値を選択する (設定値の先頭に*を表示する)
▽, 微小改行▼	無効
△, 微小改行▲	上位項目選択モードへ移行

【「アダプタ セッテイ」の設定値】

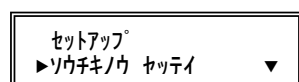
設定値名	初期値	機 能
キウ ャコウ	○	KELアダプタからのデータ入力を有効にします。 PS55インタフェースの選択が可能になります。
キウ ムコウ		標準セントロからのデータ入力を有効にします。 PS55インタフェースの選択が不可になります。

注意：「キウ ャコウ」の設置で固定としてください。

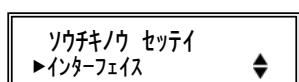
■ ソウチキノウ セッテイ

プリンタの装置機能の設定を行います。（オフラインセットアップ）

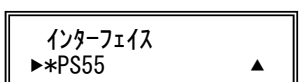
LCD表示内容



- ◀スイッチを押すと、LCDの2行目の表示が、「ネットワーク セッテイ」に切り換わります。
- ▶スイッチを押すと、LCDの2行目の表示が、「アダプタ セッテイ」に切り換わります。
- ▼スイッチを押すと、LCD表示が下図となり、設定項目選択メニューとなります。



- ▲スイッチを押すと、上記トップメニューに戻ります。
- ◀▶スイッチで変更したい設定項目を選択します。
- ▼スイッチを押すと、LCD表示が下図となり、設定値変更メニューとなります。



- ▲スイッチを押すと、上記設定項目選択メニューに戻ります。
 - ◀▶スイッチで設定値の表示を切り替えます。
- 設定スイッチを押すと現在表示されている設定値が選択され、設定値の前に“*”が表示されます。

【スイッチ機能】

スイッチ名称	機 能	
	設定項目選択時	設定値選択時
登録・終了 オンライン	メニューモードを終了し、設定書込み 確認メッセージをLCDに表示する ただし、設定が何も変更されていない 場合は、書込み確認メッセージは表示 しない	←
▷用紙カット, 用紙吸入/排出	次の設定項目に進む	次の設定値に進む
◁手前排出, 改行	前の設定項目に戻る	前の設定値に戻る
印字モード, 改ページ	無効	←
高複写, 給紙口	無効	←
紙厚調整モード	無効	←
単票セットフリー	無効	←
リセット	無効	←
設定, メニュー	無効	現在の設定値を選択する (設定値の先 頭に*を表示する)
▽, 微小改行▼	設定値選択モードへ移行	無効
△, 微小改行▲	上位項目選択モードへ移行	上位項目選択モードへ移行

【「ソウチキノウ セッテイ」の設定項目】

項	設定項目名	設定値名	初期値	機能
1	イタフェス	PS55 ESC/P	○	エミュレーションモードの設定 アダプタが未搭載の時、アダプタ機能が無効の時は、スキップします。
2	イジモード	ヒョジ ユ コウク テイウオン	○	印字モードの設定
3	カミアョウエイ	ホト レンジ 1 : レンジ D	○	用紙厚さ調整モードの設定
4	イジアモード	ヒョジ ユ コウクシヤ 1 コウクシヤ 2	○	印字圧の設定
5	タビョウセツフリー	ユコウ ムコウ	○	単票セットフリー機能の設定
6	テサシ PEケシユツ	ケシユツル ケシユツシナイ	○	単票用紙無し検出の設定
7	PEケシユツセキョ	ヒョジ ユ FFコードジケシユツ	○	用紙切れの検出タイミングの設定
8	ブザー	オン オフ	○	ブザー鳴動
9	イジホウク	リョウホウク カクホウク	○	印字方向
10	バーコードインジ	イジホウクセッテイ カクホウク	○	KEL簡易ラベル機能および拡張機能のバーコード印刷時、「イジホウク」の設定と同じであるか、または単独設定で「カクホウク」とするかの設定
11	イジリョウク	13.6インチ 13.2インチ 8.0インチ	○	水平方向の印字領域をインチ単位で設定
12	ギョウビツチ	2.0 LPI 3.0 LPI 4.0 LPI 5.0 LPI 6.0 LPI 7.5 LPI 8.0 LPI	○	改行ピッチの設定

【「ソウチキノウ セッテイ」の設定項目】 (続き)

項	設定項目名	設定値名	初期値	機能
13	ヒダリマージン	000 モヰメ : 136 モヰメ	001	左マージンを文字単位で設定 (文字ピッチを10CPIで計算)
14	ミダリマージン	000 モヰメ : 136 モヰメ	136	右マージンを文字単位で設定 (文字ピッチを10CPIで計算)
15	LPIページサイズ	00 キョウ : 99 キョウ	66	ページ長をLPI単位で設定 本設定を行なうと「インチページサイズ」は「00.0」
16	インチページサイズ	00.0 インチ : 25.5 インチ	00.0	ページ長をインチ単位で設定 本設定を行なうと「LPIページサイズ」は「00」
17	トップマージン	00 キョウ : 99 キョウ	00	単票用紙の上マージンを行単位で設定 行ピッチも考慮
18	ボトムマージン	00 キョウ : 99 キョウ	00	単票用紙の下マージンを行単位で設定 行ピッチも考慮
19	シンメスキップ	00 キョウ : 99 キョウ	00	ページ下端からミシン目スキップ行数を設定
20	バーコード キリ	ムコウ ! # & ^	○	簡易バーコード機能の設定 簡易バーコード機能のコマンドデリミターを設定
21	カクタイキリ	ユウコウ ムコウ	○	簡易拡大機能の有効/無効の設定
22	スムージング キリ	ユウコウ ムコウ	○	簡易拡大機能および拡張機能の拡大文字に対する スムージング機能の有効/無効の設定
23	ハガキ ウエヨウ	ヒョウジユン コテイ	○	単票用紙吸入で、上端余白を標準とするかハガキ 使用の11.0mm固定とするかを設定
24	テサシ ハイシュツホウコウ	テサシハイシュツ コウホウハイシュツ	○	単票手差し用紙の排出方向

バーコード印刷する場合は、標準印字モードをご使用ください。

【「ソウチキノウ セッテイ」の設定項目】（続き）

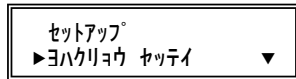
項	設定項目名	設定値名	初期値	機能
25	CSF ハイシェツウコウ	テマロハイシェツ コウホウハイシェツ	○	CSF用紙の排出方向
26	リセット スイッチ	エウコウ ムコウ	○	「リセット」スイッチの有効/無効を設定
27	カチョウ コマンド	ムコウ !#% !@& !#%(2164) !@&(2164)	○	<p>拡張コマンド機能の設定</p> <p>【注意】 !#%または!@&に設定した場合は簡易拡大機能（項20、21）が無効になります。</p> <p>【注意】 !#%(2164), !@&(2164)の設定にした場合は、バーコード幅が2164の幅に収まるようになりバーコード後の印刷位置も2164と同様になります。</p> <p>なお、!#%(2164), !@&(2164)の設定にした場合もコマンドに変更はありません。</p>

※ 27 項「カチョウ コマンド」機能は CD110F1 のみ搭載されています。

■ ヨハクリヨウ セッテイ

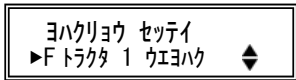
プリンタの余白量の設定を行います。

LCD表示内容



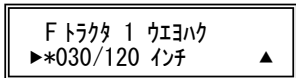
- ▶スイッチを押すと、LCDの2行目の表示が、「PS55 コマセッテイ」に切り換わります。
- ◀スイッチを押すと、LCDの2行目の表示が、「ワキワセッテイ」に切り換わります。
- ▼スイッチを押すと、LCD表示が下図となり、設定項目選択メニューとなります。

↓ ↑



- ▲スイッチを押すと、上記トップメニューに戻ります。
- ◀▶スイッチで変更したい設定項目を選択します。
- ▼スイッチを押すと、LCD表示が下図となり、設定値変更メニューとなります。

↓ ↑



- ▲スイッチを押すと、上記設定項目選択メニューに戻ります。
 - ◀▶スイッチで設定値の表示を切り替えます。
- 設定スイッチを押すと現在表示されている設定値が選択され、設定値の前に"*"が表示されます。

【スイッチ機能】：「ワキワセッテイ」と同じです。

【「ヨハクリョウ セッテイ」の設定項目】

項	設定項目名	設定値名	初期値	機 能
1	Fトラクタ 1 ウェヨハ	006/120 インチ : 255/120 インチ	030	前連帳用紙の上端余白量1を設定 (1/120インチ単位:文字センター)
2	Fトラクタ 2 ウェヨハ	006/120 インチ : 255/120 インチ	030	前連帳用紙の上端余白量2を設定 (1/120インチ単位:文字センター)
3	Rトラクタ 1 ウェヨハ	006/120 インチ : 255/120 インチ	110	後連帳用紙の上端余白量1を設定 (1/120インチ単位:文字センター)
4	Rトラクタ 2 ウェヨハ	006/120 インチ : 255/120 インチ	110	後連帳用紙の上端余白量2を設定 (1/120インチ単位:文字センター)
5	テザンCSF 1 ウェヨハ	006/120 インチ : 255/120 インチ	110	単票用紙の上端余白量1を設定 (1/120インチ単位:文字センター)
6	テザンCSF 2 ウェヨハ	006/120 インチ : 255/120 インチ	110	単票用紙の上端余白量2を設定 (1/120インチ単位:文字センター)
7	Fトラクタ カタンヨハ	000/120 インチ : 255/120 インチ	000	前連帳用紙の下端余白量を設定 (1/120インチ単位:文字センター)
8	Rトラクタ カタンヨハ	000/120 インチ : 255/120 インチ	000	後連帳用紙の下端余白量を設定 (1/120インチ単位:文字センター)
9	テザンCSF カタンヨハ	000/120 インチ : 255/120 インチ	000	単票用紙の下端余白量を設定 (1/120インチ単位:文字センター)
10	セツフリー ナタンヨハ	0.0mm : 45.2mm	5.1	単票セットフリー有効時の 手差し用紙の左端余白量の設定

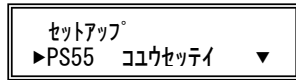
※ 「セツフリー ナタンヨハ」は、以下の値より選択します。(単位: mm)

0.0 0.3 0.6 0.8 1.1 1.4 1.7 2.0 2.3 2.5 2.8 3.1 3.4 3.7 4.0 4.2 4.5 4.8 5.1 5.4
 5.6 5.9 6.2 6.5 6.8 7.1 7.3 7.6 7.9 8.2 8.5 8.7 9.0 9.3 9.6 9.9 10.2 10.4 10.7 11.0
 11.3 11.6 11.9 12.1 12.4 12.7 13.0 13.3 13.5 13.8 14.1 14.4 14.7 15.0 15.2 15.5 15.8 16.1 16.4 16.7
 16.9 17.2 17.5 17.8 18.1 18.3 18.6 18.9 19.2 19.5 19.8 20.0 20.3 20.6 20.9 21.2 21.4 21.7 22.0 22.3
 22.6 22.9 23.1 23.4 23.7 24.0 24.3 24.6 24.8 25.1 25.4 25.7 26.0 26.2 26.5 26.8 27.1 27.4 27.7 27.9
 28.2 28.5 28.8 29.1 29.4 29.6 29.9 30.2 30.5 30.8 31.0 31.3 31.6 31.9 32.2 32.5 32.7 33.0 33.3 33.6
 33.9 34.1 34.4 34.7 35.0 35.3 35.6 35.8 36.1 36.4 36.7 37.0 37.3 37.5 37.8 38.1 38.4 38.7 38.9 39.2
 39.5 39.8 40.1 40.4 40.6 40.9 41.2 41.5 41.8 42.1 42.3 42.6 42.9 43.2 43.5 43.7 44.0 44.3 44.6 44.9
 45.2

■ PS55 コユウセツテイ

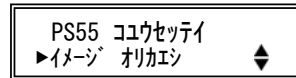
PS55エミュレーション固有機能の設定を行います。

LCD表示内容



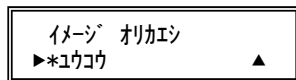
- ▶スイッチを押すと、LCDの2行目の表示が、「ESC/P コユウセツテイ」に切り換わります。
- ◀スイッチを押すと、LCDの2行目の表示が、「ヨウリョウ セツテイ」に切り換わります。
- ▼スイッチを押すと、LCD表示が下図となり、設定項目選択メニューとなります。

↓ ↑



- ▲スイッチを押すと、上記トップメニューに戻ります。
- ◀▶スイッチで変更したい設定項目を選択します。
- ▼スイッチを押すと、LCD表示が下図となり、設定値変更メニューとなります。

↓ ↑



- ▲スイッチを押すと、上記設定項目選択メニューに戻ります。
 - ◀▶スイッチで設定値の表示を切り替えます。
- 設定スイッチを押すと現在表示されている設定値が選択され、設定値の前に“*”が表示されます。

【スイッチ機能】：「ヨウリョウセツテイ」と同じです。

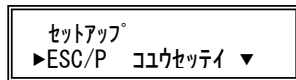
【「PS55 コユウセツテイ」の設定項目】

項	設定項目名	設定値名	初期値	機能
1	ケイセツ イジホコウ	リョウホコウ カクホコウ	○	罫線印字に対する印字方向の設定
2	イメージ リカセツ	エウコウ ムコウ	○	イメージデータが印字領域オーバー時、次行へ印字が無視かの設定
3	カジ フォント	NEW JIS OLD JIS	○	漢字フォント（新/旧 J I S）の設定
4	ハカク フォント	ヒョウジ ユン OCR-B	○	1バイト系半角文字の使用フォントの設定
5	ハカク モジピッチ	10.0 CPI 12.0 CPI 13.3 CPI 15.0 CPI	○	1バイト系半角文字の文字ピッチの設定
6	ニジ ユウイジ	エウコウ ムコウ	○	二重印字の指定/解除の設定
7	エウコウ コマンド	エウコウ ムコウ	○	高速印字指定コマンドの有効/無効を設定
8	トラクセツク	フロント リア	○	用紙切替えコマンドのParm. 001に対する前/後連帳の設定
9	ヘッド イニシヤル	NORMAL NOT MOVE	○	初期化コマンド受信時、印字ヘッドの初期化の有無を設定
10	TOFシヨキコマンド	エウコウ ムコウ	○	TOF位置での初期化コマンドの有効/無効を設定
11	TOFタビ ヨウハシヨツ	エウコウ ムコウ	○	TOF位置での単票排出コマンドの有効/無効を設定

■ ESC/P コユウセツテイ

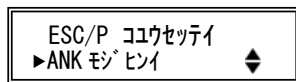
ESC/Pエミュレーション固有機能の設定を行います。

LCD表示内容



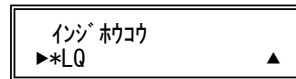
↓ ↑

- ▶スイッチを押すと、LCDの2行目の表示が、「代替」に切り換わります。
- ◀スイッチを押すと、LCDの2行目の表示が、「PS55 コユウセツテイ」に切り換わります。
- ▼スイッチを押すと、LCD表示が下図となり、設定項目選択メニューとなります。



↓ ↑

- ▲スイッチを押すと、上記トップメニューに戻ります。
- ◀▶スイッチで変更したい設定項目を選択します。
- ▼スイッチを押すと、LCD表示が下図となり、設定値変更メニューとなります。



- ▲スイッチを押すと、上記設定項目選択メニューに戻ります。
 - ◀▶スイッチで設定値の表示を切り替えます。
- 設定スイッチを押すと現在表示されている設定値が選択され、設定値の前に“*”が表示されます。

【スイッチ機能】：「リウキノセツテイ」と同じです。

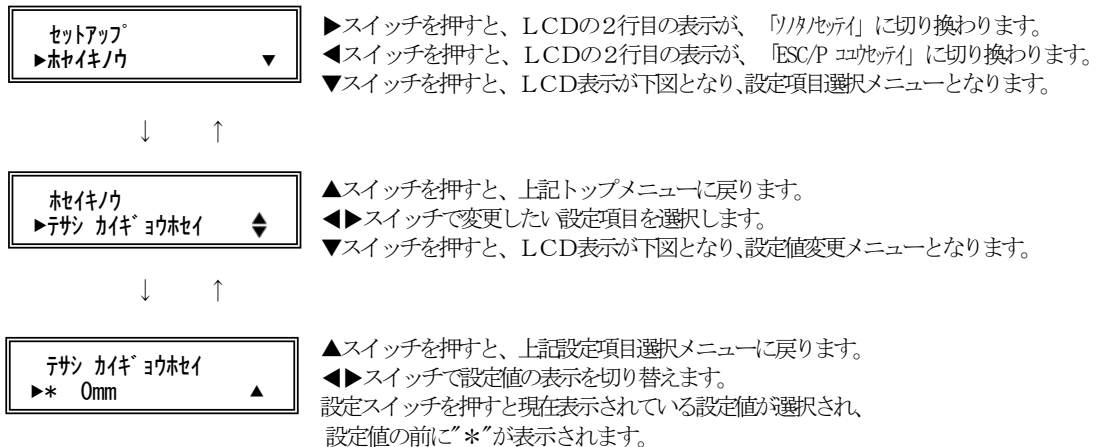
【「ESC/P コユウセツテイ」の設定項目】

項	設定項目名	設定値名	初期値	機能
1	ANK モジビイ	LQ ドラフト	○	ANK文字品位の設定
2	ANK ショタイ	サセリフ クーリエ プレステージ OCR-B OCR-A	○	ANK文字の書体の設定
3	ANK モジビツチ	10.0 CPI 12.0 CPI 15.0 CPI プロポーション	○	ANK文字ピッチの設定
4	ANK シュクショウ	オ ホ	○	ANK文字の縮小の指定/解除を設定
5	ANK コードヒョウ	カナコード グラフィックコード	○	ANKコード表の設定
6	ANK コクサイジ	アメリカ フランス ドイツ イギリス デンマーク スウェーデン イタリア スペイン ニッポン ノルウェー デンマーク2 スペイン2 ラテンアメリカ	○	国際文字の設定
7	CRコード	CR ONLY CR + LF	○	CRコード機能の設定
8	TOF仔デノFF	ユウコウ ムコウ	○	TOF位置でのFFコード機能の有効/無効の設定

■ ホセイキノウ

改行補正量、上端余白補正量の設定を行います。

LCD表示内容



【スイッチ機能】：「リチキノウセテイ」と同じです。

【「ホセイキノウ」の設定項目】

項	設定項目名	設定値名	初期値	機能
1	手差シカゲヨウホセイ	-1.0mm -0.6mm -0.3mm 0mm +0.3mm +0.6mm +1.0mm	○	手差し単票用紙に対する累積改行補正量を設定 10インチあたりに入れる補正量
2	FCSFカゲヨウホセイ	-1.0mm -0.6mm -0.3mm 0mm +0.3mm +0.6mm +1.0mm	○	前CSF用紙に対する累積改行補正量を設定 10インチあたりに入れる補正量
3	RCSFカゲヨウホセイ	-1.0mm -0.6mm -0.3mm 0mm +0.3mm +0.6mm +1.0mm	○	後CSF用紙に対する累積改行補正量を設定 10インチあたりに入れる補正量
4	フロントカゲヨウホセイ	-1.0mm -0.6mm -0.3mm 0mm +0.3mm +0.6mm +1.0mm	○	前連帳用紙に対する累積改行補正量を設定 用紙吸入直後から11インチ（約280mm）改行 するまでのズレ量の補正值
5	リアカゲヨウホセイ	-1.0mm -0.6mm -0.3mm 0mm +0.3mm +0.6mm +1.0mm	○	後連帳用紙に対する累積改行補正量を設定 用紙吸入直後から11インチ（約280mm）改行 するまでのズレ量の補正值

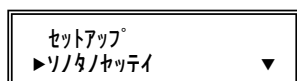
【「ホセイキノウ」の設定項目】（続き）

項	設定項目名	設定値名	初期値	機能
6	Fトラ サイユウページ	-1.0mm -0.6mm -0.3mm 0mm +0.3mm +0.6mm +1.0mm	○	前連帳用紙に対する累積改行補正量を設定 用紙下端からトラクタセンサを外れてから100mm あたりの改行ずれ量
7	Rトラ サイユウページ	-1.0mm -0.6mm -0.3mm 0mm +0.3mm +0.6mm +1.0mm	○	後連帳用紙に対する累積改行補正量を設定 用紙下端からトラクタセンサを外れてから155mm あたりの改行ずれ量

■ ソノタノセッテイ

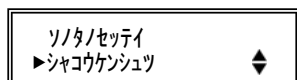
改行補正量、上端余白補正量の設定を行います。

L C D 表示内容



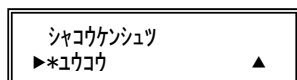
- ▶スイッチを押すと、LCDの2行目の表示が、「トウロ」に切り換わります。
- ◀スイッチを押すと、LCDの2行目の表示が、「サキウ」に切り換わります。
- ▼スイッチを押すと、LCD表示が下図となり、設定項目選択メニューとなります。

↓ ↑



- ▲スイッチを押すと、上記トップメニューに戻ります。
- ◀▶スイッチで変更したい設定項目を選択します。
- ▼スイッチを押すと、LCD表示が下図となり、設定値変更メニューとなります。

↓ ↑



- ▲スイッチを押すと、上記設定項目選択メニューに戻ります。
 - ◀▶スイッチで設定値の表示を切り替えます。
- 設定スイッチを押すと現在表示されている設定値が選択され、設定値の前に“*”が表示されます。

【スイッチ機能】：「ソノタノセッテイ」と同じです。

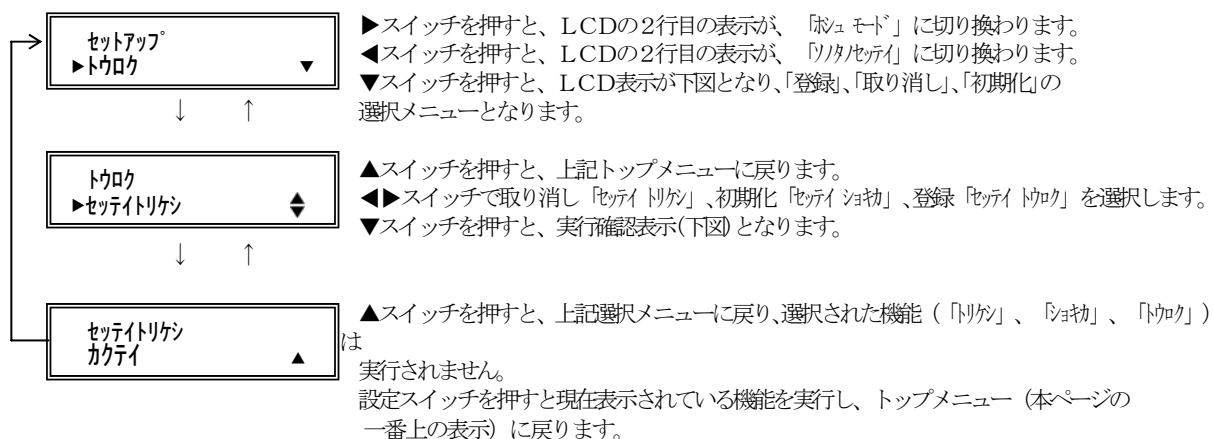
【「ソノタノセッテイ」の設定項目】

項	設定項目名	設定値名	初期値	機能
1	シャコウケンシュツ	エウコウ ムコウ	○	手差し単票用紙吸入時に、斜行を検出するかどうかを設定
2	テアシジドウオンライン	エウコウ ムコウ	○	手差し単票用紙吸入後、自動でオンラインにするかどうかを設定
3	トラクタドウオンライン	エウコウ ムコウ	○	連帳用紙吸入後、自動でオンラインにするかどうかを設定
4	ヨウガイインジボウシ	エウコウ ムコウ	○	用紙外印字防止機能
5	CSF 1ピンセンタ	FCSF RCSF	○	CSF 1ピン選択
6	CSF キョウセキセツ	ヒョウジユン スイッチバック	○	CSF吸入方式
7	リボンホキキ	エウコウ ムコウ	○	連帳改行時リボン保護制御
8	CSF カミアツケンシュツ	マカイ ツクシヨウ	○	CSF時の用紙厚さ検出
9	ヘッドコウカン ヒョウジ	エウコウ ムコウ	○	ヘッド交換表示
10	ティアオフ	シュドウ ジドウ	○	ティアオフ機能の設定
11	セットフリーセツ	1.5 mm ヒョウジユン 2.0 mm キョウシユウセン 2.5 mm セイトユウセン	○	セットフリー時の斜行検出値
12	トラクタ キョウセキセツ	セイトユウセン ソクトユウセン	○	トラクタの給紙制御
13	PWRオン キョウシ	キョウシ シナイ キョウシ スル	○	電源投入時かつ連帳用紙無し状態に、トラクタの自動給紙を行なうかどうかを設定
14	ギョウカセツ ヨウコウ	ムコウ エウコウ	○	不要な逆改行動作を抑制する設定

■ トウロク

変更した設定値の登録（NVRAMへの記憶）、変更の取り消し、初期化を行います。

LCD表示内容



【スイッチ機能】 「リカセティ」の時と同じです。

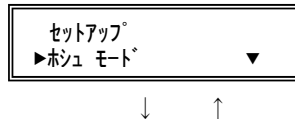
【機能】

項	LCD表示	機能
1	セティトリガ	各設定項目の設定値を、変更前の設定に戻します。
2	セティショキ	各設定項目の設定値を工場出荷時の設定に戻し、NVRAMに記憶します。
3	セティトウク	各設定項目の現在の設定値をNVRAMに記憶します。

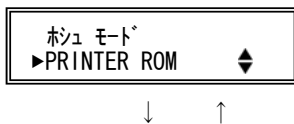
■ ホシュ モード

プリンタ装置のROM版数の表示、ヘッドカウンタの%表示、HEX
ダンプ印刷を行います。

LCD表示内容



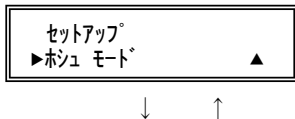
- ▶スイッチを押すと、LCDの2行目の表示が、「ヘッドカウンタ」に切り換わります。
- ◀スイッチを押すと、LCDの2行目の表示が、「ホシュ」に切り換わります。
- ▼スイッチを押すと、LCD表示が下図となり、「PRINTER ROM」、「CGROM」、「ADAPTER ROM」、「USER TABLE」、「ヘッドピンカウンタ」、「HEXダンプインサツ」の選択メニューとなります。



- ▲スイッチを押すと、上記トップメニューに戻ります。
- ◀▶スイッチで「PRINTER ROM」、「CGROM」、「ADAPTER ROM」、「USER TABLE」、「ヘッドピンカウンタ」、「HEXダンプインサツ」を選択します。
- ▼スイッチを押すと、選択した内容を表示します。



- ▲スイッチを押すと、上記設定項目選択メニューに戻ります。



- ▶スイッチを押すと、LCDの2行目の表示が、「ヘッドカウンタ」に切り換わります。
- ◀スイッチを押すと、LCDの2行目の表示が、「ホシュ」に切り換わります。
- ▼スイッチを押すと、LCD表示が下図となり、「PRINTER ROM」、「CGROM」、「ADAPTER ROM」、「USER TABLE」、「ヘッドピンカウンタ」、「HEXダンプインサツ」の選択メニューとなります。



- ▲スイッチを押すと、上記トップメニューに戻ります。
- ◀▶スイッチで「PRINTER ROM」、「CGROM」、「ADAPTER ROM」、「USER TABLE」、「ヘッドピンカウンタ」、「HEXダンプインサツ」を選択します。
- ▼スイッチを押すと、選択した内容を表示します。



- ▲スイッチを押すと、上記設定項目選択メニューに戻ります。

セットアップ ▶ホシュモード ▼	▶スイッチを押すと、LCDの2行目の表示が、「ウォードセツク」に切り換わります。 ◀スイッチを押すと、LCDの2行目の表示が、「トウク」に切り換わります。 ▼スイッチを押すと、LCD表示が下図となり、「PRINTER ROM」、「CGROM」、「ADAPTER ROM」、「USER TABLE」、「ヘッドピンカウンタ」、「HEXダンプインサツ」の選択メニューとなります。
↓ ↑	
ホシュモード ▶ヘッドピンカウンタ ◆	▲スイッチを押すと、上記トップメニューに戻ります。 ◀▶スイッチで「PRINTER ROM」、「CGROM」、「ADAPTER ROM」、「USER TABLE」、「ヘッドピンカウンタ」、「HEXダンプインサツ」を選択します。 ▼スイッチを押すと、選択した内容を表示します。
↓ ↑	
ヘッドピンカウンタ XX% ▲	▲スイッチを押すと、上記設定項目選択メニューに戻ります。
ホシュモード ▶HEXダンプインサツ ◆	▲スイッチを押すと、上記トップメニューに戻ります。 ▼スイッチを押すと、実行確認表示となります。
↓ ↑	
HEXダンプインサツ カクテイ ▲	▲スイッチを押すと、上記選択メニューに戻ります。 設定スイッチを押すと、HEXダンプ印刷モードとなります。
↓ ↑ 設定スイッチ	
オフライン HEXダンプ オート Fトラクタ P1	<HEXダンプ印刷モード>
↓ ↑ オンラインスイッチ	
オンライン HEXダンプ オート Fトラクタ P1	

【スイッチ機能】 「ワキキノセツテイ」の時と同じです。

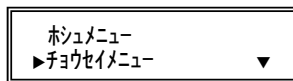
行間ズレを直す

縦罫線などを正逆両方向で印字したときに生じる行間の横方向の印字位置の不揃いを直します。

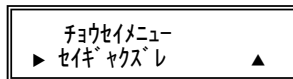
標準印字圧と高複写モードの2つの印字圧についてそれぞれ標準印字モード、高速印字モード、ドラフト印字モードの行間ズレを直すことができます。ドラフト印字モードとは60dpiの解像度の内蔵フォントを使用して標準の3倍の速度で印字するモードです。行間ズレは、次の手順で直します。行間ズレを直すときは、必ず用紙をセットしておいてください。

- 1 前側より15インチ幅以上の連続用紙またはA4タテ以上の単票用紙をセットする
- 2 **設定/メニュー**スイッチを押しながら電源を入れる
保守メニューモードになります。

- 3 調整メニューを表示させる

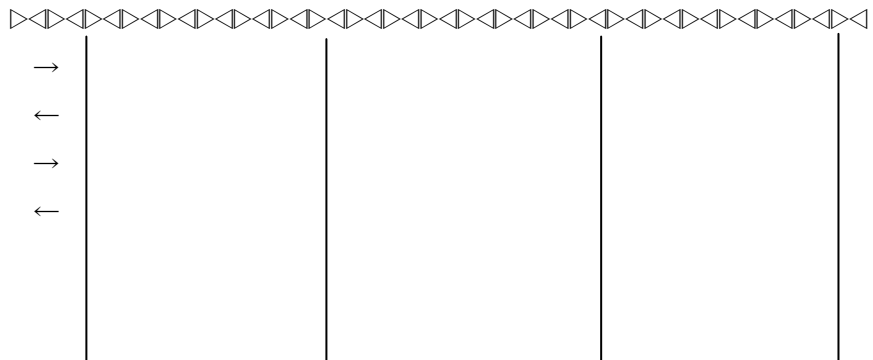


- 4 ▽スイッチを押して「セイヤクズレ」を表示させる



- 5 **設定/メニュー**スイッチを押す

標準印字圧の標準印字モードで調整用パターンを印字します。
矢印(←と→)は、印字ヘッドの移動方向を示します。



6 調整用パターンの印字が始まったら調整を行う

印字ヘッドの移動方向と同じ方向に印字結果を移動させるとき

△スイッチを押します。
押し続けると、印字ヘッドの移動方向が変わるたびに
1/900 インチずつ矢印と同じ方向に印字結果が移動します。

印字ヘッドの移動と逆の方向に印字結果を移動させるとき

▽スイッチを押します。
押し続けると、印字ヘッドの移動方向が変わるたびに
1/900 インチずつ矢印と逆の方向に印字結果が移動します。

7 印字モードを切り替えて、高速印字モード、ドラフト印字モードで手順6の調整を行う

印字モードの切り替えかた

調整パターン印字中に「**印字モード/改ページ**」スイッチを押します。

「**印字モード/改ページ**」スイッチを押すたびに、以下の順に印字速度が切り替わります。

→ 高速印字モード → ドラフト印字モード → 標準印字モード
(高速ランプ点灯) (高速+オンラインランプ点灯)

8 「高複写」スイッチを押して高複写モードにする

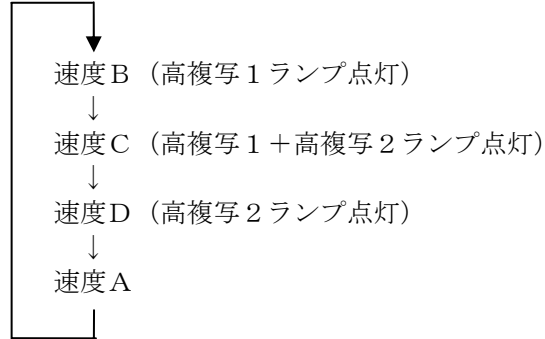
高複写モードは印字する用紙厚により基本となるA～Dの4つの印字速度があります。

用紙厚	複写モード		
	標準	高複写 1	高複写 2
レンジ 1～3	A	B	D
レンジ 4～	B	C	D

注) CD110FI は標準と高複写の2種類となります。

9 高複写モードでの標準印字モード、高速印字モード、ドラフト印字モードそれぞれで手順6の調整を行う

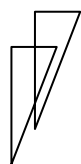
高複写スイッチを押すたびに、以下の順に印字速度が切り替わります。



10 調整が終わったら**登録・終了**スイッチを押す

調整した内容がプリンタに記憶され、調整パターンの印字が終了し、調整項目選択モードに戻ります。

注) **登録・終了**スイッチを押さないと、調整した内容がプリンタに登録されず電源を切ると元の状態に戻ります。



連続帳票用紙をカット位置に送る

あらかじめセットした連続帳票用紙のミシン目がカットしやすい位置（カット位置）にくるように、用紙を送る機能です。

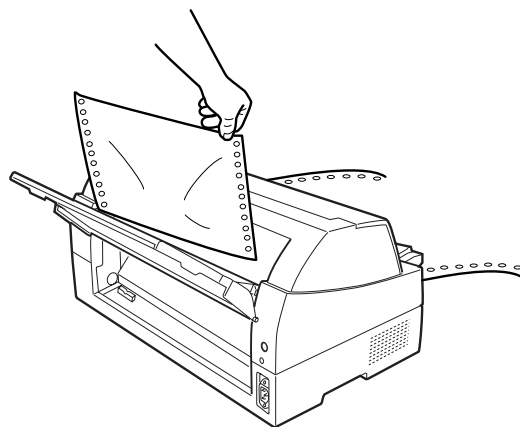
■ カット位置に送る

次の手順で、連続帳票用紙をカット位置に送ります。

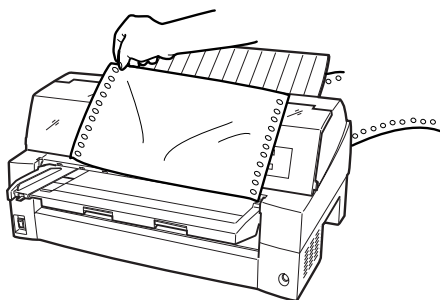
1 オンライン状態で用紙カットスイッチを押す

ミシン目が用紙カット位置まで送られます。
機能設定の「ソタ/セッテイ」で「テイアワ」を「ジドウ」に設定している場合は（73 ページ参照）、印刷が終わる（または印刷データを印刷し終わる）毎に自動的に用紙カット位置まで用紙が送られます。

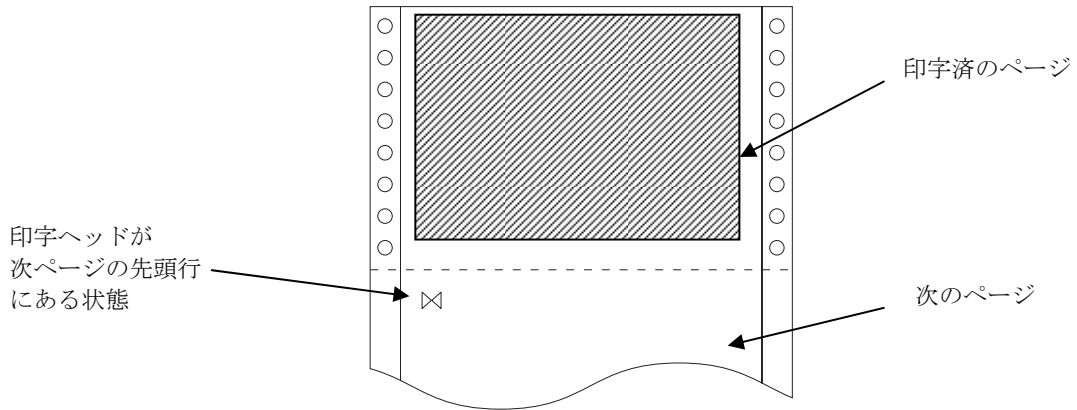
〈連続帳票用紙を前方からセットした場合〉



〈連続帳票用紙を後方からセットした場合〉



印字ヘッドの位置が次のページの先頭行にあるときには、ミシン目がカット位置まで送られます。



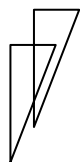
注) ページ長設定が正しくないとき、および▽または△スイッチで用紙を移動させた場合はカット位置が合わなくなります。

2 用紙を切り取る

3 もう一度、**用紙カット**を押す

用紙が印字開始位置に戻ります。

この操作を行わない場合は、次の印字データを受信すると自動的に元の位置に戻ります。



自動検出機能

このプリンタには、次の4つの自動検出機能があります。

◆ 用紙無し検出

印字中に用紙がなくなると、印字動作が停止して「メッセージ」ランプが点灯し、ブザーが鳴ってオフライン状態になります。液晶ディスプレイには「ヨシ ナ ****」と表示されています。

◆ 印字ヘッド昇温検出

印字ヘッドの加熱状態を検出すると、1行を2回に分けて印字して印字ヘッドの劣化を防止します。

◆ ヘビーデューティ検出

高密度の印字（50%以上）を行うと、1行を2回に分けて印字します。

◆ 異常電流検出

プリンタ内で異常電流が流れたときは、プリンタ保護のために、自動的に電流を切断します。この状態で電源スイッチを“ON”にしても、約5分間は電源が投入できません。数分後、電源を再投入してください。この状態で電源が投入できないときは、プリンタの故障ですので、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店に相談してください。

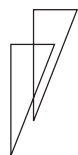


第 3 章

用紙のセット

この章では、用紙のセットのしかた、用紙厚の調整のしかた、および印字開始位置について説明します。

用紙をセットする	84
連続帳票用紙をセットする （前トラクタ給紙の場合）	84
連続帳票用紙をセットする （後トラクタ給紙の場合）	91
単票用紙をセットする （単票セットフリーオン時）	96
単票用紙をセットする （単票セットフリーオフ時）	100
単票用紙をセットする （カットシートフィーダを取り付けた場合）	103
用紙厚を調整する	107
印字開始位置について	111
印字開始位置（行方向）を微調整する	112



用紙をセットする

このプリンタでは、連続帳票用紙および単票用紙が使用できます。



ガイド

トラクタユニットは、着脱式でプリンタの前後に取り付け可能です。

■ 連続帳票用紙をセットする（前トラクタ給紙の場合）

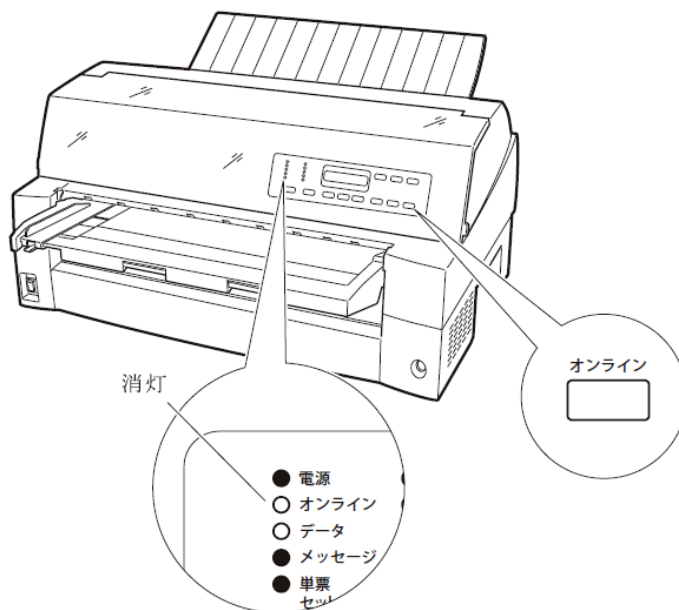
連続帳票用紙のセットは、次の手順で行います。

1 プリンタの電源を入れる

電源スイッチが「|」側に倒れていることを確認します。

2 オフライン状態にする

オンラインスイッチを押して、プリンタをオフライン状態（「オンライン」ランプ消灯）にします。



3 液晶ディスプレイに「フロントトラクタ」と表示されるまで

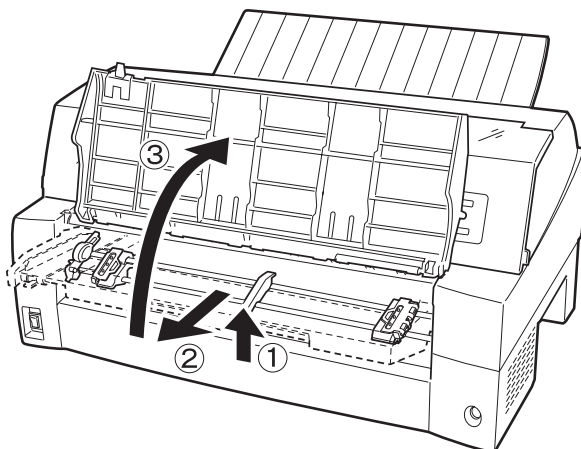
給紙口スイッチを押す

「前トラクタ」状態にします。

4 単票テーブルを開く

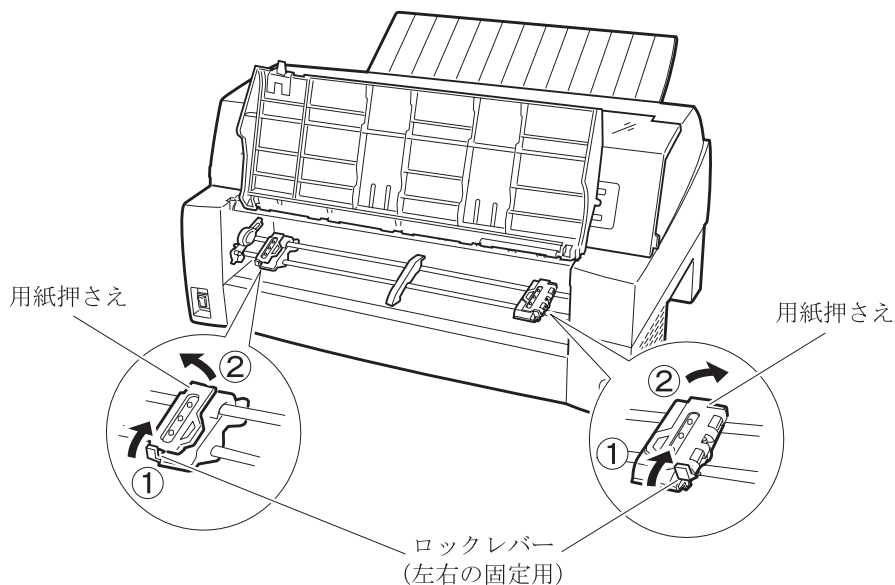
単票テーブルを開くと、単票検知センサーに外乱光が入り誤動作することがあります。電源が入った状態で単票テーブルを開くときには給紙口を「フロントトラクタ」に変更してから以下の操作を行ってください。

単票テーブルの先端を少し持ち上げ（①）、手前に引いた後（②）、回転させて開きます（③）。



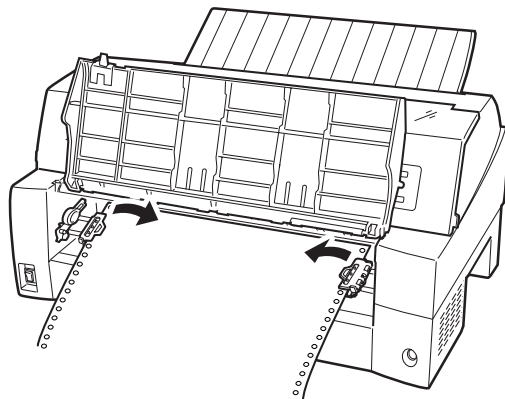
5 用紙送りトラクタのロックを外し、用紙押さえを開く

左右の用紙トラクタにあるロックレバーを、矢印方向に動かして（①）、トラクタが左右に移動できるようにします。次に用紙押さえを開き（②）、用紙をセットできる状態にします。



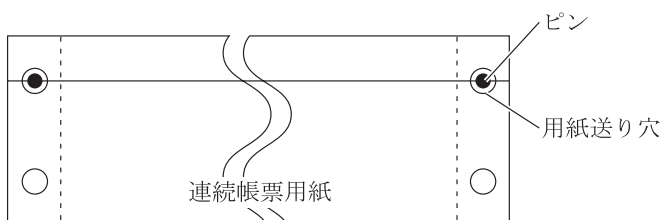
6 用紙送りトラクタに用紙をはさむ

用紙送りトラクタのピンに用紙送り穴を通し、用紙押さえを閉じます。



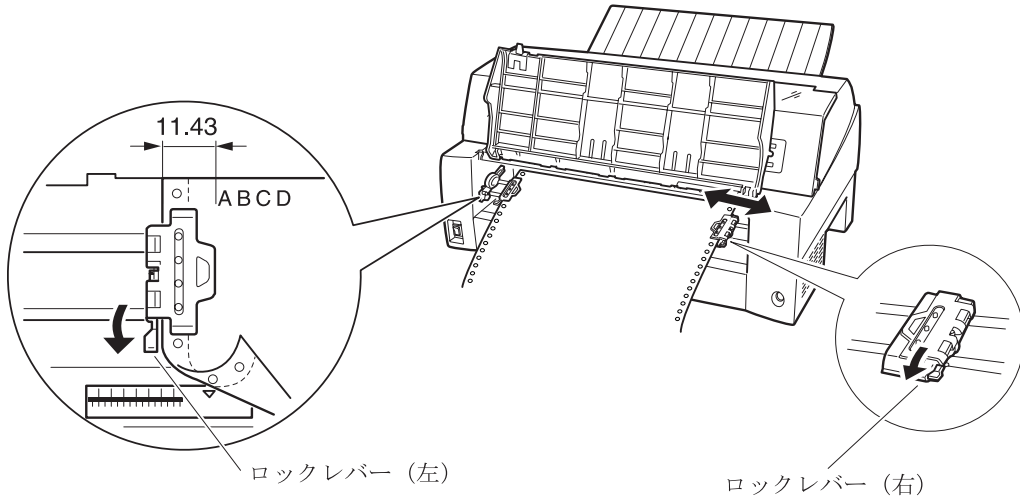
お願い

- 用紙送りトラクタの用紙押さえを開いたまま単票テーブルを倒さないでください。用紙送りトラクタおよび単票テーブルの破損の原因となります。
- 用紙づまりを防ぐために、次の点に注意してください。
 - 用紙を用紙送りトラクタにセットするとき、用紙を張りすぎないように用紙送りトラクタの幅を調整してください。（用紙送りトラクタのピンと用紙の用紙送り穴の中心が一致するようにします。）
 - 用紙がたるんでいると、用紙づまりの原因となりますので注意してください。

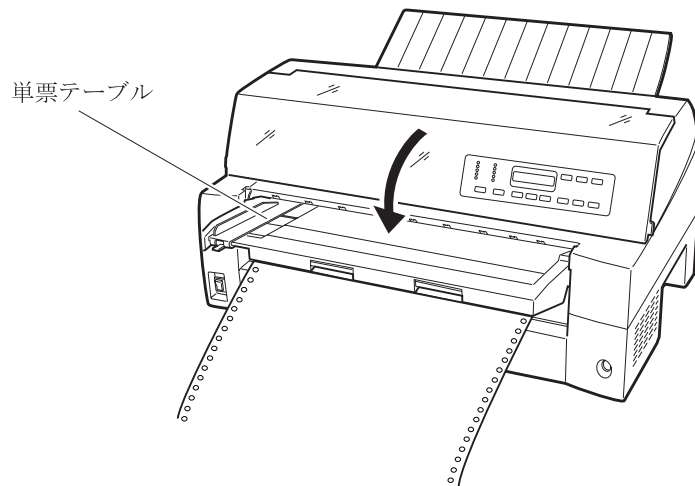


- 7 左側の用紙送りトラクタを用紙基準位置（桁スケール）に合わせ、右側の用紙送りトラクタを用紙が軽く張るくらい右へ動かし、ロックレバーを矢印方向に倒して固定する

用紙の左端を「0」の位置に合わせて、左端余白が最小 11.43mm（用紙左端からの余白）となり、第1ドットが「▼」の位置となります。



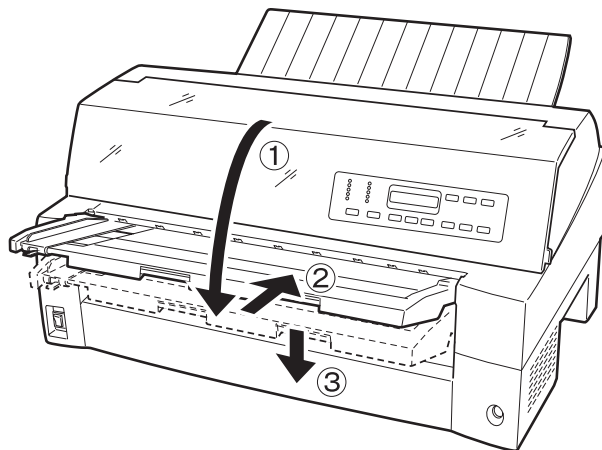
- 8 単票テーブルを倒す



お願い

単票テーブルを上方向に開いたまま連帳用紙を吸入させると、用紙づまりを起こす場合があります。必ず、単票テーブルを倒してから用紙を吸入させてください。

単票テーブルは下図のように回転させた (①) のち、奥に押し込んで (②) 閉じます (③)。



9 印字開始位置に用紙をセットする

用紙カット/用紙吸入/排出スイッチを押します。
用紙が印字開始位置まで送られます。

印字開始位置の微調整については、111 ページを参照してください。

お願い

- ・用紙吸入時に用紙づまりが発生した場合、吸入動作失敗として操作パネルのメッセージランプ点灯および液晶ディスプレイに下記の表示がされます。

キューシジ ャム Fトラクタ
ヨウシヨトリノゾ イテクダサイ

用紙づまりが発生した場合は、143 ページの「用紙づまりのとき」を参照してつまった用紙を取り除き再度用紙をセットし直してください。

- ・単票テーブルに用紙が残ったまま連帳用紙を吸入させると、単票テーブルの用紙も同時に吸入してしまう場合があります。連帳使用時には、単票テーブルの上に用紙をセットしないでください。

10 オンライン状態にする

オンラインスイッチを押して、プリンタをオンライン状態（「オンライン」ランプ点灯）にし、パソコンからの印字データを送ります。

- 注) 用紙を排出するには、次の方法があります。
印字ヘッドがページの先頭印字位置にあるときは、オンライン状態にして**用紙カット/用紙吸入/排出**スイッチを押すと、用紙がカット位置まで送られます。
オフライン状態にして**印字モード/改ページ**スイッチを押します。
1回押すたびに1ページ分の用紙が送られます。

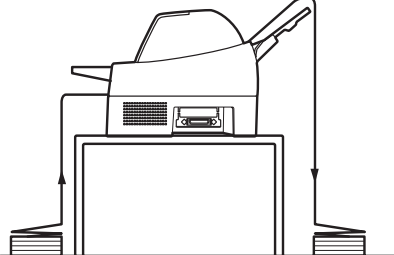
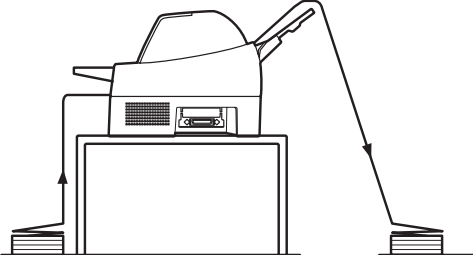
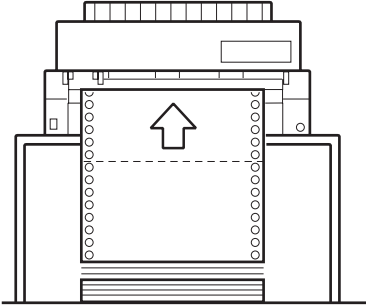
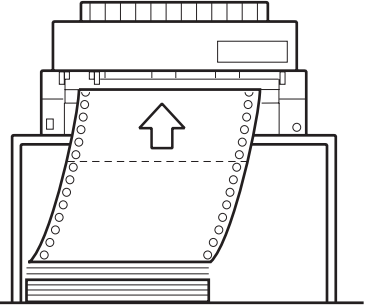


ガイド

用紙をカット位置にした状態では、パソコンから印字データが送られてくると用紙を自動的に印字位置（元の位置）に引き込んで印字を行います。

◆ 前連続帳票用紙の置きかた

連続帳票用紙は、下図（○印）のように置いてください。用紙が机の角などに当たって妨げられると、正しく用紙が送られないので注意してください。

	○	×
プリンタ側面		
プリンタ正面	<p>プリンタの用紙出口と、用紙の置く位置のズレをなくしてください。</p> 	<p>用紙を置く位置が下図のようにずれていると正しく用紙が送られない場合がありますので、注意してください。</p> 

お願い

連帳用紙は、連続して逆送りをさせると用紙送りトラクタから外れることがありますので注意してください。

■ 連続帳票用紙をセットする（後トラクタ給紙の場合）

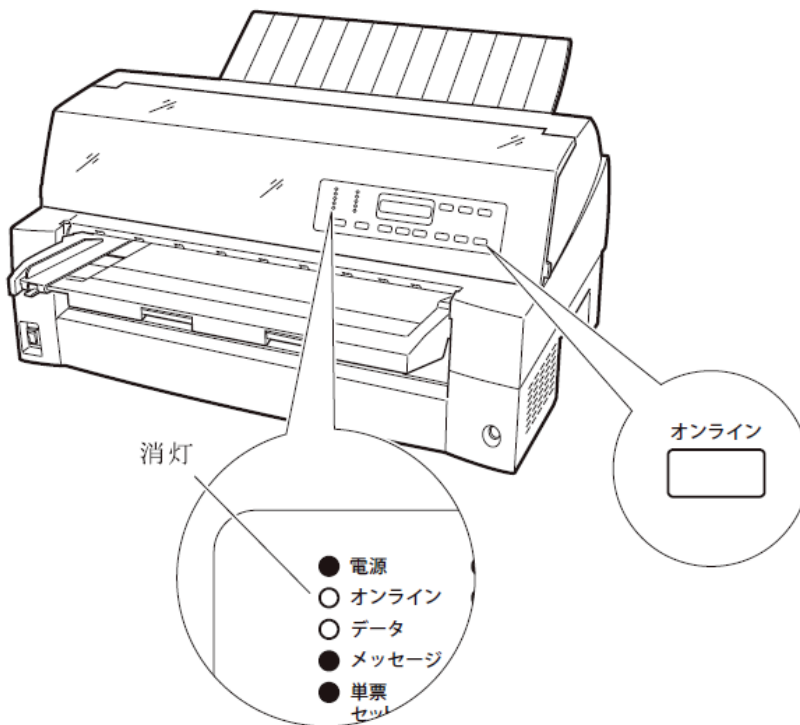
連続帳票用紙のセットは、次の手順で行います。

1 プリンタの電源を入れる

電源スイッチが「|」側に倒れていることを確認します。

2 オフライン状態にする

オンラインスイッチを押して、プリンタをオフライン状態（「オンライン」ランプ消灯）にします。

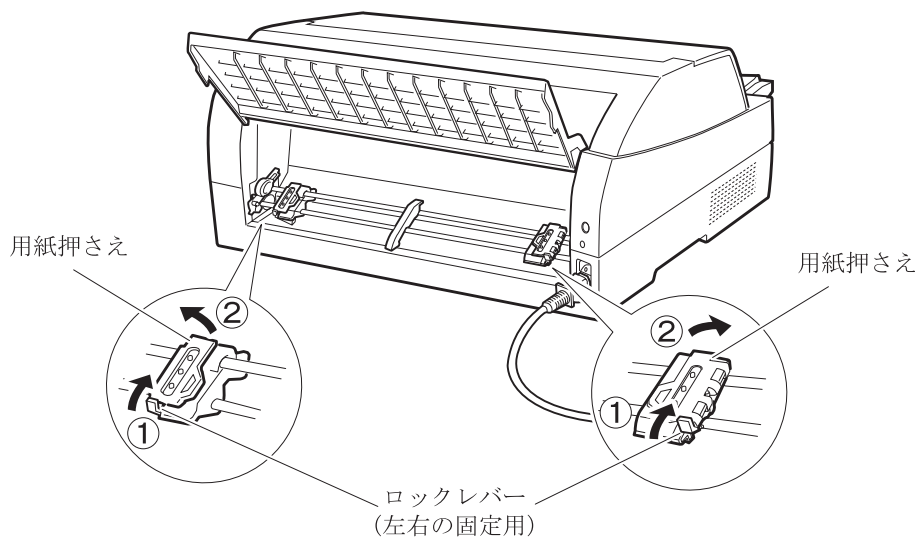


3 液晶ディスプレイに「リアトラクタ」と表示されるまで **給紙口**スイッチを押す

「後トラクタ」状態にします。

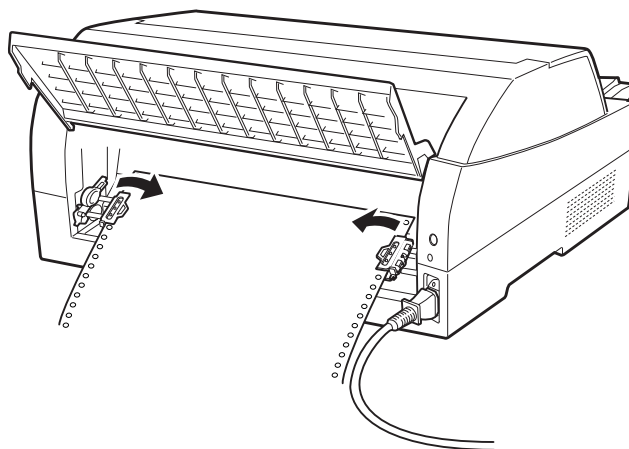
4 用紙送りトラクタのロックを外し、用紙押さえを開きます

左右の用紙トラクタにあるロックレバーを、矢印方向に動かして(①)トラクタ左右のロックを外し、用紙押さえを開きます(②)。



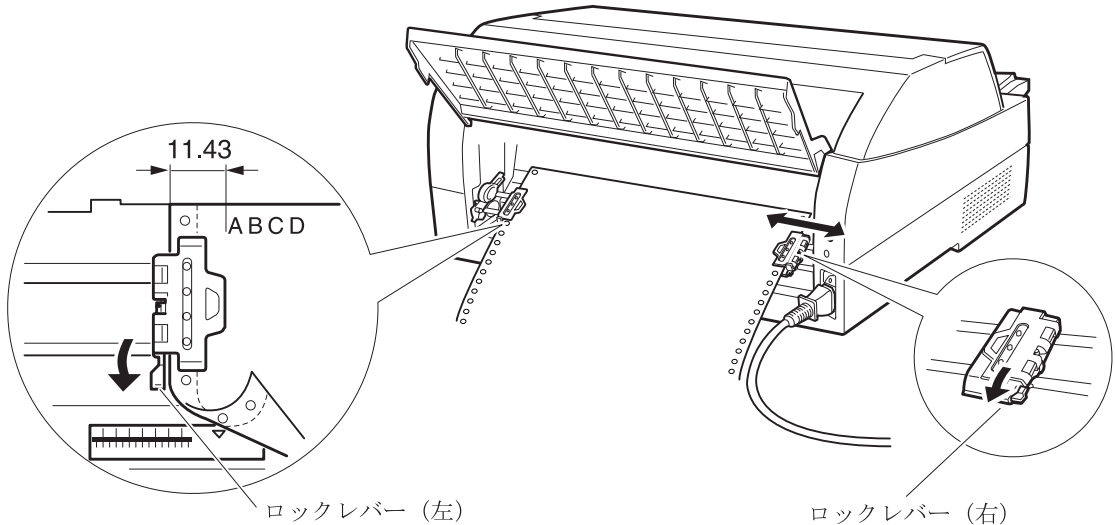
5 用紙送りトラクタに用紙をはさむ

左右の用紙送りトラクタの用紙押さえを開きます。用紙送りトラクタのピンに用紙送り穴を通し、用紙押さえを閉じます。



- 6 左側の用紙送りトラクタを用紙基準位置（桁スケール）に合わせ、右側の用紙送りトラクタを用紙が軽く張るくらい右へ動かし、ロックレバーを矢印の方向に倒して固定する

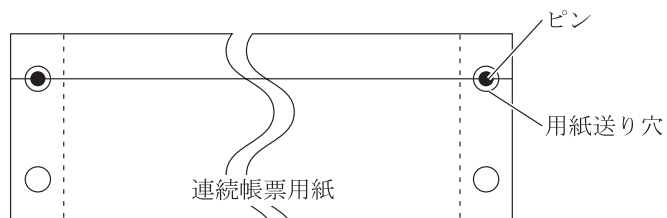
用紙の左端を「0」の位置に合わせると、左端余白が最小 11.43mm（用紙左端からの余白）となり、第1ドットが「▼」の位置となります。



お願い

用紙づまりを防ぐために、次の点に注意してください。

- 用紙を用紙送りトラクタにセットするとき、用紙を張りすぎないように用紙トラクタの幅を調整してください。（用紙送りトラクタのピンと用紙の用紙送り穴の中心が一致するようにします。）
- 用紙がたるんでいると、用紙づまりの原因となりますので注意してください。



7 印字開始位置に用紙をセットする

用紙カット/用紙吸入/排出スイッチを押します。

用紙が印字開始位置まで送られます。

印字開始位置の微調整については、111 ページを参照してください。

8 オンライン状態にする

オンラインスイッチを押して、プリンタをオンライン状態（「オンライン」ランプ点灯）にし、パソコンからの印字データを送ります。

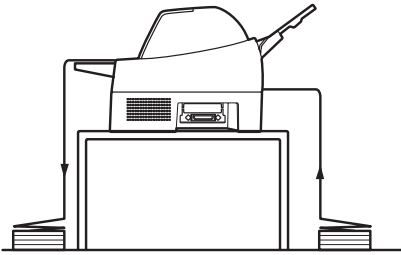
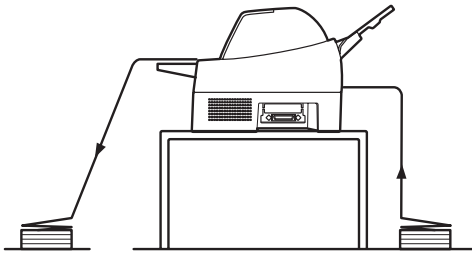
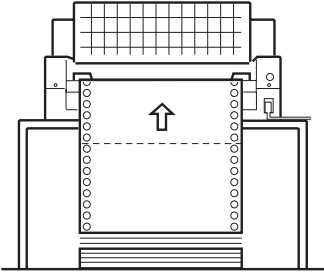
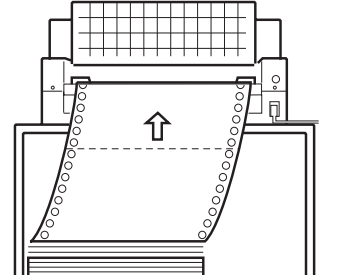
注) 用紙を排出するには、次の方法があります。

印字ヘッドがページの先頭印字位置にあるときは、オンライン状態にして**用紙カット/用紙吸入/排出**スイッチを押すと、用紙がカット位置まで送られます。（詳細については、80 ページの「カット位置に送る」を参照してください。）

オフライン状態にして**印字モード/改ページ**スイッチを押します。1 回押すたびに 1 ページ分の用紙が送られます。

◆ 後連続帳票用紙の置きかた

連続帳票用紙は、下図（○印）のように置いてください。用紙が机の角などに当たって妨げられると、正しく用紙が送られないので注意してください。

	○	×
プリンタ側面		
プリンタ正面	<p>プリンタの用紙出口と、用紙の置く位置のズレをなくしてください。</p> 	<p>用紙を置く位置が下図のようにずれていると正しく用紙が送られない場合がありますので、注意してください。</p> 

お願い

連帳用紙は、連続して逆送りをさせると用紙送りトラクタから外れることがありますので注意してください。

■ 単票用紙をセットする（単票セットフリーオン時）

単票セットフリー機能を使用すると、単票テーブルの中央に用紙を差し込むと自動的に吸入されます。なお、単票用紙は一枚ずつ差し込んでください。使用できる用紙サイズは、はがき～B4です（詳細は「第4章 用紙について」を参照）。単票セットフリーオンで使用できない用紙は単票セットフリーオフにして使用してください。（100ページ参照）

1 プリンタの電源を入れる

スイッチが「|」側に倒れていることを確認します。

2 オフライン状態にする

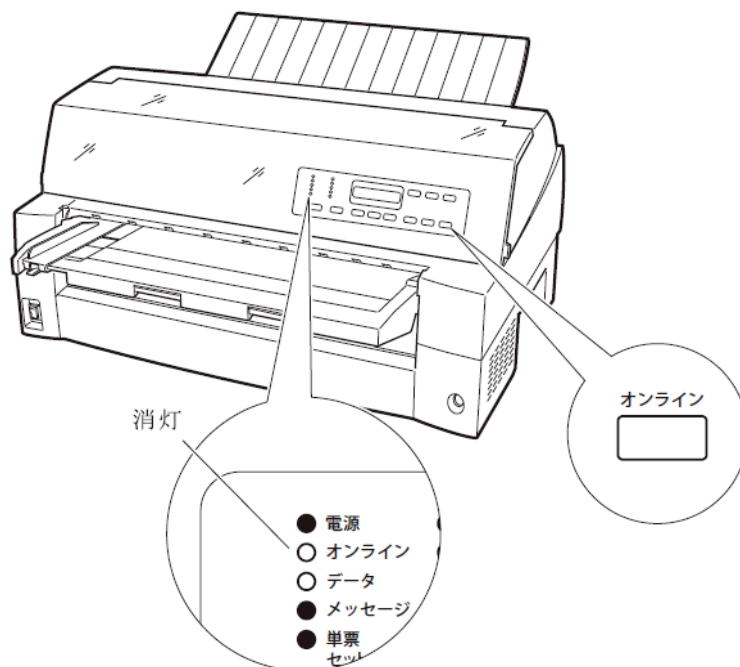
オンラインスイッチを押して、プリンタをオフライン状態（「オンライン」ランプ消灯）にします。

3 「単票セットフリー」ランプが点灯していることを確認する

消灯している場合は**単票セットフリー**スイッチを1回押してください。

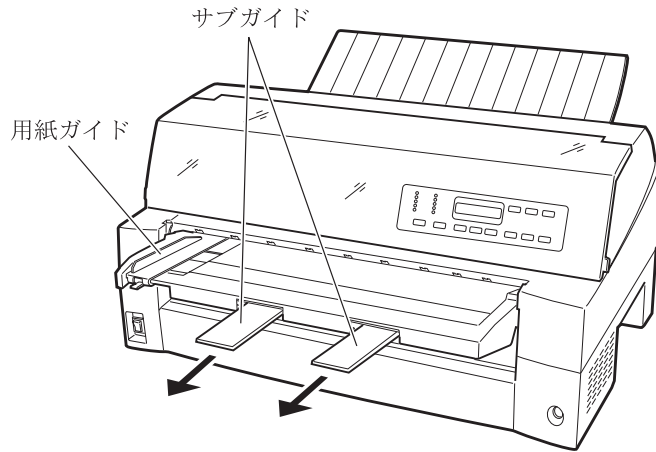
4 液晶ディスプレイに「テサシ」と表示されるまで**給紙口**スイッチを押す

「単票手差し」状態にします。
このとき連帳用紙が吸入されたままの場合は、連帳用紙の退避動作を行ってから、単票用紙に切り替わります。

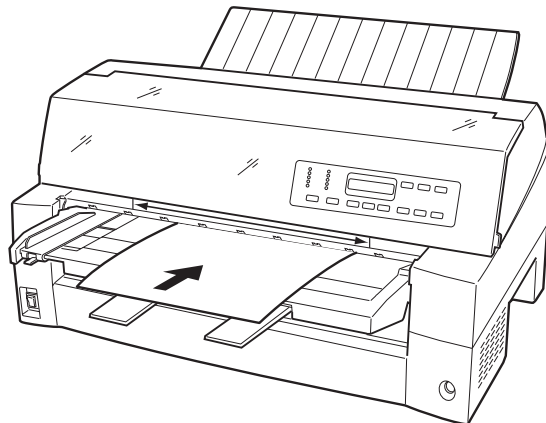


お願い

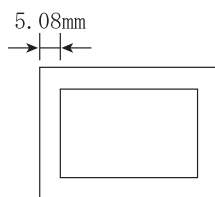
連帳用紙の退避動作が終了する前に単票テーブルに用紙をセットすると、「単票手差し」状態に切り替わらない場合があります。連帳用紙の退避動作が終了し、「単票手差し」状態に切り替わった後に単票をセットするようにしてください。

5 用紙ガイドを左端に寄せる**6** 用紙サイズに応じてサブガイドを引き出す**7** 用紙をセットする

印字する面を上にし、『単票セットフリー』の用紙セット範囲に単票用紙を一枚ずつ差し込むと、自動的に吸入されます。



印字開始位置は、「ヨハクヨウ セッテイ」(64 ページ)の左端余白量に従います。工場出荷時は、用紙左端より 5.08mm の位置になります。



注) 印字開始位置を帳票に合わせて細かく設定したい場合は、単票セットフリーをオフにして用紙ガイドで調整してください。

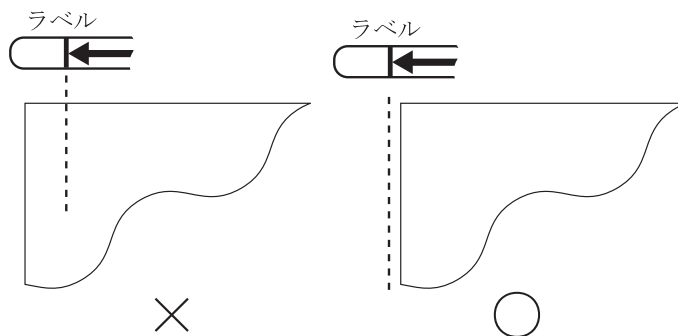
8 オンライン状態にする

オンラインスイッチを押して、プリンタをオンライン状態(「オンライン」ランプ点灯)にし、パソコンから印字データを送ります。

注) 「ソクタセッテイ」(73 ページ参照)で「テサン シドウオンライン」を「ユウコウ」に設定されている場合は、自動的にオンライン状態になり、印字を開始します。

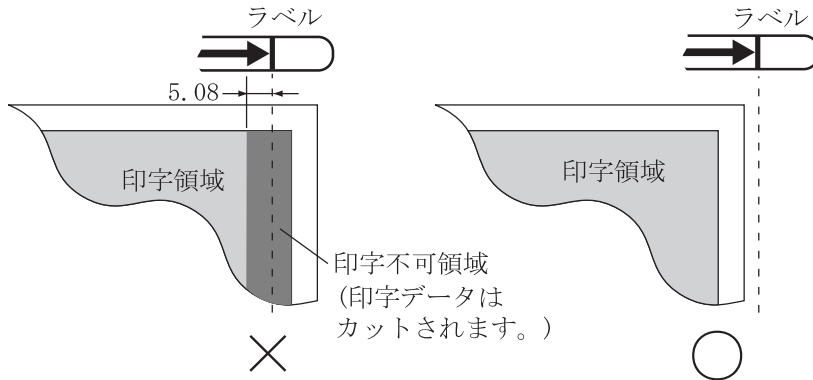
◆ 用紙左端位置に関する注意

プリンタのラベル部(「単票セットフリー」の用紙セット範囲)に対して、用紙の左端を下記の×で示す位置にセットした場合、用紙は吸入後排出されません。○で示す位置にセットしてください。



◆ 用紙右端位置に関する注意

プリンタのラベル→部(「単票セットフリー」の用紙セット範囲)に対して、用紙の右端を下記の×で示す位置にセットすると、印字データがカットされることがあるので、○の位置にセットしてください。



◆ 用紙に関するご注意

- 用紙の先端や先端のコーナー部に折れや曲がりがあると、うまく吸入できないことがあります。折れや曲がりがない用紙を使用してください。
- 単票セットフリーで使用できる用紙は下記のサイズです。
用紙幅 100～364mm (はがき～B4 サイズ)
用紙長さ 70～364mm (はがき～B4 サイズ)
詳細は「第4章 用紙について」を参照してください。
- 束のりとじの単票は、とじ部分が分離しやすくジャムが発生するので、使用を避けてください。
束とじ：単票の厚み部分だけでのりとじを行っているものです。
- 単票セットフリーで、宅配便伝票などの連続帳票用紙を1枚ごと手切りでご使用になる場合は、用紙先端のカールなどにより、うまく吸入できないことがあります。
用紙のカールなどを取り除いてからご使用ください。

■ 単票用紙をセットする（単票セットフリーオフ時）

単票用紙は一枚ずつセットしてください。また、連続帳票用紙をセットしたままでもセットできます。

単票用紙のセットは、次の手順で行います。

1 プリンタの電源を入れる

スイッチが「|」側に倒れていることを確認します。

2 オフライン状態にする

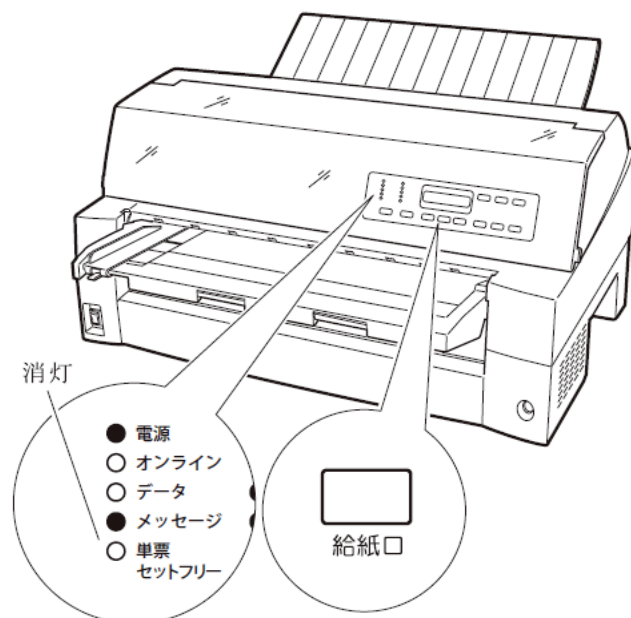
オンラインスイッチを押して、プリンタをオフライン状態（「オンライン」ランプ消灯）にします。

3 **単票セットフリー**スイッチを押して「単票セットフリー」ランプを消灯させる

4 液晶ディスプレイに「テサシ」と表示されるまで**給紙口**スイッチを押す

「単票手差し」状態にします。

このとき連続帳用紙が吸入されたままの場合は、連続帳用紙の退避動作を行ってから、単票用紙に切り替わります。

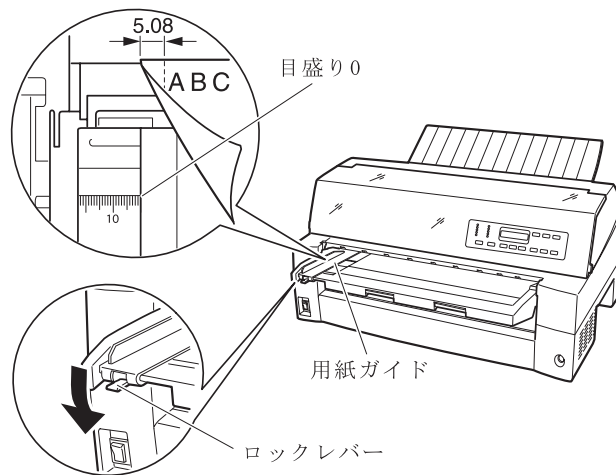


お願い

連帳用紙の退避動作が終了する前に単票テーブルに用紙をセットすると、「単票手差し」状態に切り替わらない場合があります。連帳用紙の退避動作が終了し、「単票手差し」状態に切り替わった後に単票をセットするようにしてください。

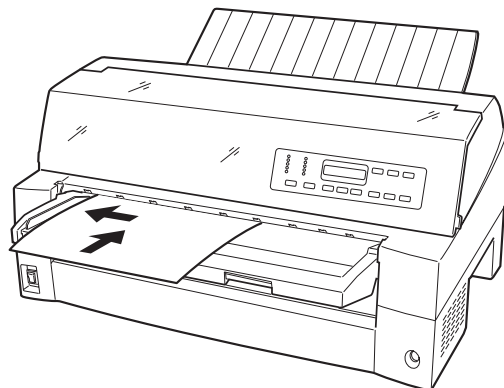
5 印字開始位置に合わせて用紙ガイドを移動する

用紙ガイドの左端を単票テーブルの目盛り0 (mm) の位置にして、ロックレバーを下側に倒してロックします(第1ドット目が用紙の左端より5.08mmの位置に印字します)。

**6 単票用紙をセットする**

印字する面を上にし、単票用紙の左端を用紙ガイドに当てて、一枚ずつ差し込みます。

用紙が奥に軽く突き当たるまで、まっすぐに差し込んでください。用紙が自動的に印字開始位置まで送られます。



注1) 幅のせまい媒体(100mm未満の媒体)をセットする場合は、用紙ガイドを目盛り0(mm)の位置に合わせます。

7 **オンライン**スイッチを押し、オンライン状態（「オンライン」ランプ点灯）にしてパソコンから印字データを送ります。

送られた用紙がまっすぐセットされなかった場合は、オンライン状態にする前に**用紙カット/用紙吸入/排出**スイッチを押し、一旦単票用紙を排出してから再度セットしてください。

注) 「ソタノセッテイ」(73 ページ参照)で「テサシ シドウオンライン」を「ユウコウ」に設定されている場合は、自動的にオンライン状態になり、印字を開始します。

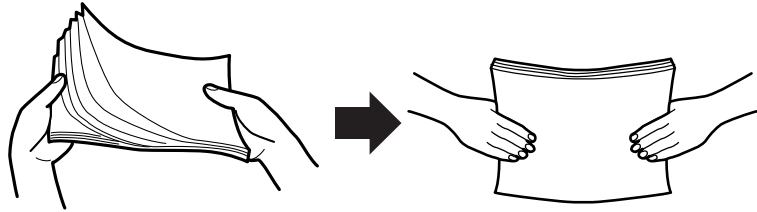
■ 単票用紙をセットする（カットシートフィーダを取り付けた場合）

カットシートフィーダをプリンタに取り付け場合に用紙をセットする方法について説明します。

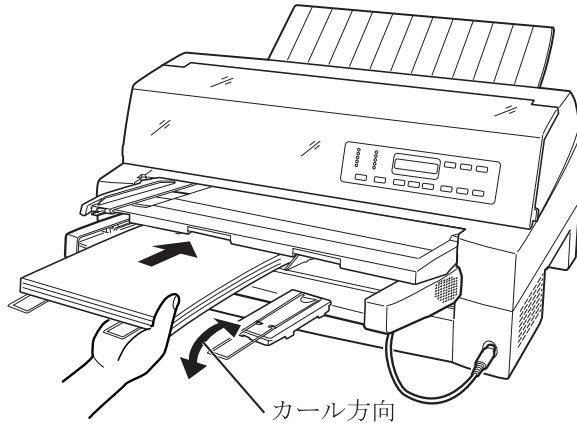
カットシートフィーダの取り付けについては、「カットシートフィーダを取り付ける」（177 ページ）を参照してください。

ガイド

- ・セットするときは、図のように用紙をさばき、机の上などで用紙の上下、左右をきちんと揃えてください。



- ・用紙はカールを取り除いた上でセットしてください。用紙は、湿度などの影響でカールしていることがあります。カールした用紙を補充する場合や別梱包の用紙を合わせてセットする場合、カールを取り除いた上、カール方向を合わせてセットしてください。（背中合わせでセットすると複数枚数が同時に吸入される場合があります。）また、少しカールのある場合は、カール方向を下図のようにセットしてください。



ガイド

- ・紙質は同一種類のものをセットしてください。銘柄や連量（紙厚）などが異なるものを一緒にしてセットしないでください。

1 プリンタの電源を入れる

電源スイッチが「|」側に倒れていることを確認します。

2 オフライン状態にする

オンラインスイッチを押して、プリンタをオフライン状態(「オンライン」ランプ消灯)にします。

3 液晶ディスプレイ上にカットシートフィーダが表示されるまで

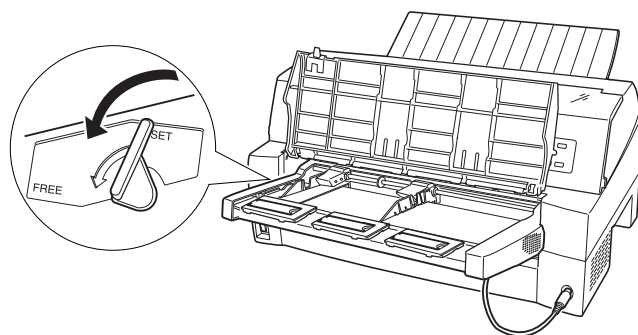
給紙口スイッチを押す

プリンタ前部に取り付けられている場合は、「フロント CSF」、プリンタ後部に取り付けられている場合は、「リア CSF」を選択します。

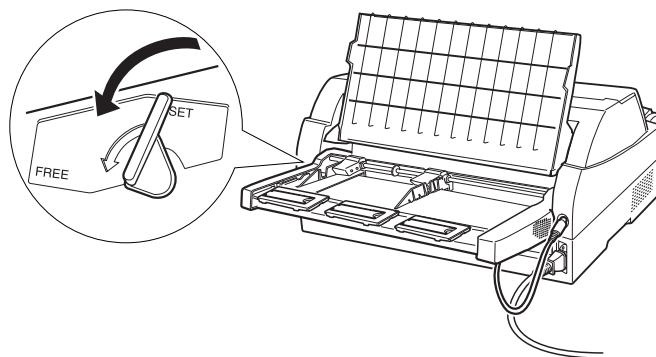
4 カットシートフィーダがプリンタ前部に取り付けられている場合は単票テーブル(12 ページ参照)を、プリンタ後部に取り付けられている場合はリアスタッカを開く

5 カットシートフィーダのセットレバーを「FREE」の位置にする

【カットシートフィーダがプリンタ前部に取り付けられている場合】



【カットシートフィーダがプリンタ後部に取り付けられている場合】



6 用紙ガイドに沿って用紙を載せる

用紙を揃え、左側の用紙ガイドに沿って用紙を載せます。右側の用紙ガイドの赤線が、一度にセットできる用紙の高さを示します。

お願い

左側の用紙ガイドは通常の場合、「▽」の位置(最も内側)に寄せ
てご使用ください。

A3用紙を横にセットするときは、「←」の位置に用紙ガイドを移動し
てください。



ガイド

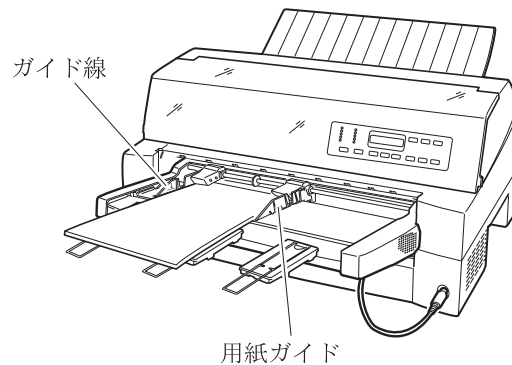
55kg紙の場合、総枚数が120枚となります。

7 長い用紙をセットする場合は、エクステンション、エクステンションワイヤを展開する

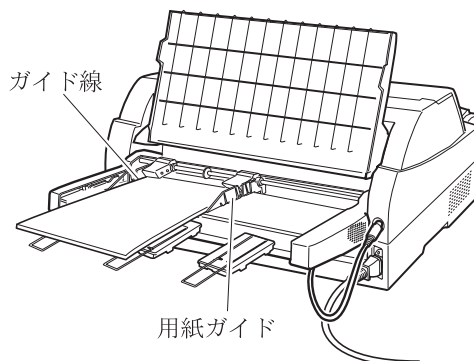
(「カットシートフィーダを取り付ける」177ページ参照)

8 右側用紙ガイドの位置を、セットする用紙に合わせる

【カットシートフィーダがプリンタ前部に取り付けられている場合】



【カットシートフィーダがプリンタ後部に取り付けられている場合】



ガイド

用紙と用紙ガイドとの間に隙間がある場合は、右側用紙ガイドを左へ動かして隙間をなくしてください。なお、ガイドを用紙に押しつけ過ぎますと、吸入不良を起こすことがありますのでご注意ください。

- 9** カットシートフィーダのセットレバーを「SET」の位置に戻し、単票テーブル、リアスタッカを元に戻す

10 オンライン状態にする

オンライン スイッチを押して、プリンタをオンライン状態（「オンライン」ランプ点灯）にし、パソコンからの印字データを送ります。

お願い

リアスタッカへ印字後の用紙をスタックしすぎると用紙づまりなどが発生します。スタック可能枚数は120枚（上紙55kg用紙でカットシートフィーダにセット可能な枚数）を目安に適度に取り除いてください。



用紙厚を調整する

用紙厚の調整とは、印字ヘッドとプラテンの間隔を使用する用紙の厚みに合わせることです。

本プリンタは、使用する用紙の厚さ、枚数に応じて自動的に印字ヘッドの位置を上下に調整する自動紙厚調整機能を装備しており、通常は紙厚調整の必要はありません。

宅配便伝票などの段差のある用紙に印字するときに、自動紙厚調整ではうまく印字できない場合に、以下の手順で手動紙厚調整を設定してください。

- 1 オフライン状態にして**設定/メニュー**スイッチを押す
メニューモードになります。
- 2 <または>スイッチを押して「ソウチキノウセツテイ」を表示させる
- 3 ▽スイッチを押して、下のレベルに移動する
- 4 <または>スイッチを押して「カミアツチヨウセイ」を表示させる
- 5 ▽スイッチを押して、下のレベルに移動する
- 6 <または>スイッチを押してレンジ1～Dを選択する

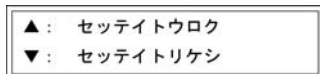
操作パネルから用紙厚を調整するときは、109ページの表を参考にしてください。

操作パネルの紙厚調整のレンジが“1”のとき、印字ヘッドとプラテンの間隔は最も狭くなり、“D”のとき最も広くなります。

7 **設定/メニュー**スイッチを押す

設定値の先頭に「*」が表示され、その値が設定されます。

8 **登録・終了**スイッチを押して設定登録メニューを表示させる



9 **△**スイッチを押して設定を登録する

△スイッチを押すと、設定した内容で登録します。
これを実行しないとここまで設定した内容は保存されません。
▽スイッチを押すと、設定した内容が取り消しになります。

用紙の種類と厚さ			レンジ													
1枚紙	複写紙	推奨厚さ (mm)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	
連量 45 ～70kg	一般的な 1P (連量 34kg)	0.08	○													
連量 70～ 110kg	一般的な 2P	0.13		○												
連量 110 ～135kg	一般的な 3P	0.18			○											
ハガキ 各種封筒 特殊紙 など	一般的な 4P	0.23				○										
	一般的な 5P	0.28					○									
	一般的な 6P	0.33						○								
	一般的な 7P	0.38							○							
	一般的な 8P	0.43								○						
	一般的な 9P	0.48									○					
	各種宅配伝 票 (ゆうパッ クなど)	0.53											○			
		0.58												○		
0.63														○		
0.68															○	

お願い

手動でお使いになる場合は、用紙の厚さに対して下記の目安に沿って手動紙厚調整レンジをセットしてください。

手動紙厚調整は数字1～9、英字A～Dの13段階あり、操作パネルによりレンジ1から1レンジ増す毎に約0.05mm単位で用紙と印字ヘッドの間隔が広がります。おおよその目安として1～2の設定で1枚、1レンジ増すごとに用紙1枚分間隔が広がります。使用する用紙の複写枚数、厚さに応じて適切な印字品質となるように手動紙厚調整レンジを設定してください。

使用する用紙に対して、手動紙厚調整レンジが適切でないときは、次のような現象が起こることがあります。

用紙厚に対して手動紙厚調整レンジの設定が広すぎるとき

印字抜けが生じることがあります。

用紙厚に対して手動紙厚調整レンジの設定が狭すぎるとき

- ・印字中にリボンがはずれたり、たるんだりして印字ヘッドの故障の原因になることがあります。
- ・用紙の端面が切れたり、しわになったりすることがあります。
- ・リボンによって用紙が汚れることがあります。
- ・用紙の送りが悪くなることがあります。
- ・キャリッジが正常に動かなくなることがあります。

◆ 紙厚調整の動作タイミングについて

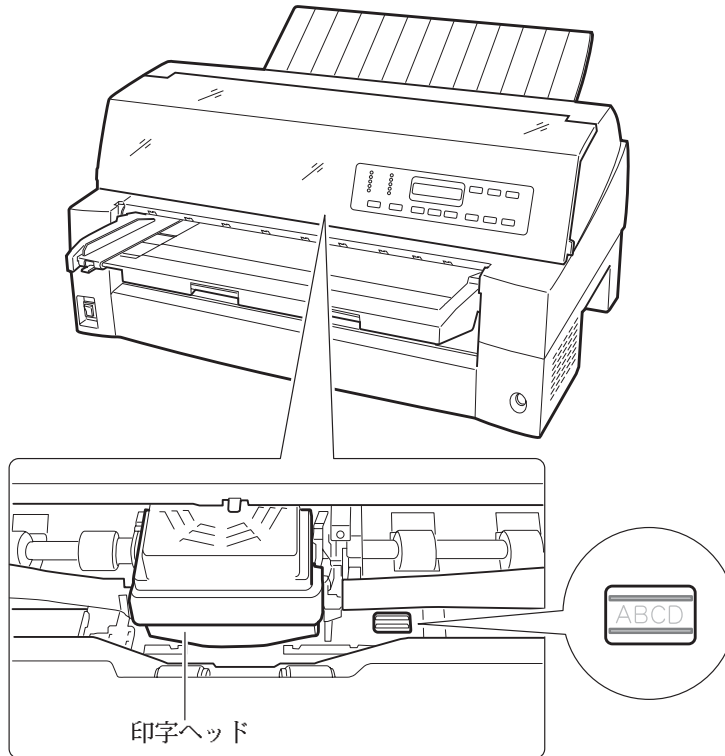
- ・ 紙厚調整がオートのとき
印字動作を開始するときに、自動的に用紙厚が調整されます。
- ・ 紙厚調整が手動のとき
操作パネルでの設定後、次の印字動作を開始するときに、設定した用紙厚に調整されます。



印字開始位置について

必要に応じてセットした用紙の行方向の印字開始位置を変えます。

印字開始位置を調整するとき、カードガイドの右側窓のラインが文字の上下端を示しているので、これを目安にして用紙を合わせます。



■ 印字開始位置（行方向）を微調整する

操作パネルの操作で行方向の印字位置を微調整できます。トップカバーを開いているとプリンタが動作しないので、トップカバーを閉じてから操作してください。

◆ 正方向（用紙を送り出す方向）に微調整するとき

微小改行▲スイッチを押します。

単票用紙、前カットシートフィーダの用紙、および前トラクタの用紙は、正方向に1/180インチ改行します。

押し続けると連続して正改行します。

後カットシートフィーダの用紙および後トラクタの用紙に対しては、逆改行となります。

◆ 逆方向（用紙を戻す方向）に微調整するとき

微小改行▼スイッチを押します。

単票用紙、前カットシートフィーダの用紙、および前トラクタの用紙は、逆方向に1/180インチ改行します。

押し続けると連続して逆改行します。

後カットシートフィーダの用紙および後トラクタの用紙に対しては、正改行となります。



ガイド

連続帳票用紙の印字開始位置を**微小改行▲**スイッチまたは**微小改行▼**スイッチを押して変更した場合は、変更した分が次ページでも加減されます。

また、1インチカット（ミシン目カット）機能についても用紙の繰り出し量は加減した値になります。



第 4 章

用紙について

この章では、使用できる用紙と取り扱い上の注意点について説明します。

連続帳票用紙	114
一般用紙（前・後トラクタ）	118
はがき用紙（前トラクタ）	119
封筒用紙（前・後トラクタ）	120
タック用紙（前・後トラクタ）	122
宅配伝票（前トラクタ）	124
手差しで使用する単票用紙	125
一般用紙	125
用紙のとじ方法	126
はがき	127
封筒	127
宅配伝票	129
カットシートフィーダ（オプション）で 使用する単票用紙	130
一般用紙	130
用紙のとじ方法	131
はがき	132
封筒	132
とじ穴の開けかた	133
プレプリント用紙を使用するとき	133
用紙の形状について	136
取り扱い上のご注意	137

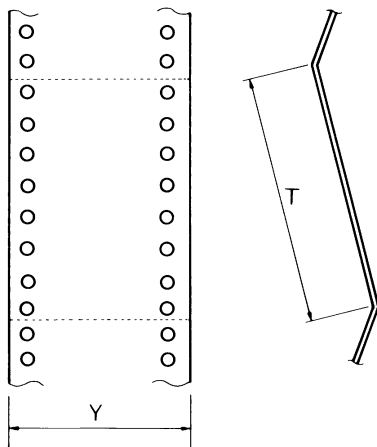


連続帳票用紙

このプリンタで使用できる連続帳票用紙は、次のとおりです。

◆ 用紙の寸法

連続帳票用紙の寸法を下図に示します。



単位 mm

記号	寸法
Y (用紙幅)	101.6) 406.7 (4~16 インチ)
T (折畳み長さ)	101.6 以上 (4 インチ以上)

◆ 用紙の構成枚数

オリジナルを含む用紙の構成枚数と用紙の厚さ(連量)の組み合わせは、下表のとおりです。下表以外の用紙の組み合わせでは、用紙送り精度の乱れなどがより発生しやすくなります。

用紙の構成枚数

用紙種類	枚数	連量 (kg)	備考
一枚用紙	1P	45, 55, 70	
ノンカーボン紙	2P 3P 4P 5P 6P 7P 8P 9P	34, 43, 55, (70) 34, 43, (55, 70) 34, (43, 55, 70) 34, (43, 55) 34, (43, 55) 34, (43, 55) 34, (43, 55) 34, (43, 55) 34, (43, 55)	()内の連量の用紙は、複数つづりの一番下の用紙のみ使用可能です。

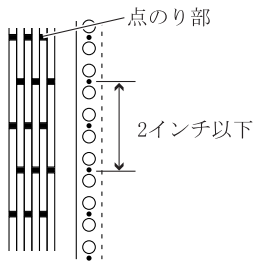
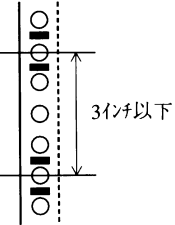
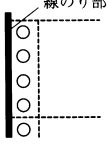
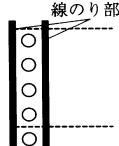
用紙種類	枚数	連量 (kg)	備考
裏カーボン紙	2P	34, 45, 55, (70)	()内の連量の用紙は、複数つづりの一番下の用紙のみ使用可能です。
	3P	34, 45, (55, 70)	
	4P	34, (45, 55, 70)	
	5P	34, (45, 55)	
	6P	34, (45, 55)	
	7P	34, (45, 55)	
	8P	34, (45, 55)	
	9P	34, (45, 55)	
	中カーボン紙	2P	
3P		30, 40, (45, 55)	
4P		30, 40, (45, 55)	
5P		30, 40, (45, 55)	

連量 70kg を超える用紙については、はがき用紙を参照してください。
(119 ページ参照)

- 注 1) 連量とは、四六判(788×1091mm)の用紙 1000 枚の重量を kg で示した値です。
- 注 2) ノンカーボン紙および裏カーボン紙の連量は、用紙メーカーによって多少異なる場合があります。その場合、表の数値に近いものを選んでください。なお、裏カーボン紙は、多湿環境で使用しないでください。
- 注 3) 中カーボン紙は、間に挿入されるカーボン紙を用紙 1 枚に相当するものとして数え、複写枚数は 5P までです。
中カーボン紙に使用するカーボン紙の厚さは、0.03mm 以下としてください。
- 注 4) 用紙の種類および保管状況により、印字品質に差が出る場合があります。不具合が発生する用紙については、その度合いが容認できるものであるかどうか判断の上ご使用ください。
- 注 5) 全体の用紙厚さは、0.65mm 以下にしてください。
- 注 6) とじられた用紙の大きさは、各層とも互いに同一になるようにしてください。

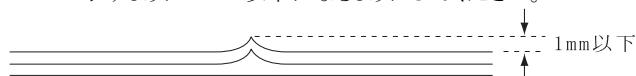
◆ 用紙のとじかた

連続帳票用紙の重ね合わせのとじ方は、「点のり」としていただきます。のり付け方法にはいろいろありますが、折り曲げやすいように点のりで、各層間で交互の位置にのり付けする方法をおすすめします。

綴じ方法		適用する用紙枚数	備考	
点のり とじ		9枚まで	本プリンタに最も適したとじ方です。	
				9枚まで
線のり とじ	一列	二列	9枚まで	
				

注1) 上記説明図では帳票の片側のみ示していますが、実際には両側をのり付けしてください。

注2) 完成した用紙の折畳み部分を平らに伸ばしたときのふくらみは、下図に示すように1mm以下になるようにしてください。



注3) プリンタ故障の原因になるので、金属ホチキスとは使用しないでください。

注4) 帳票の用紙送り穴の層間でのズレは、0.4mm以下のものを使用してください。

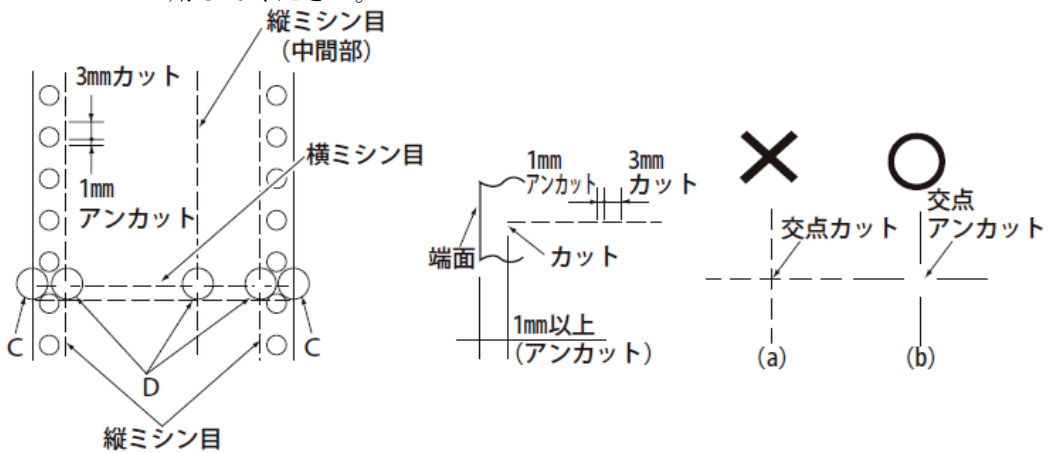
注5) 用紙綴じ部でリボンがズレて印字の上下が欠ける場合は、機能設定「リボンセッテイ」の「リボン 高キヨウ」を「ユウコウ」(73 ページ参照)にしてください。

◆ ミシン目の入れ方

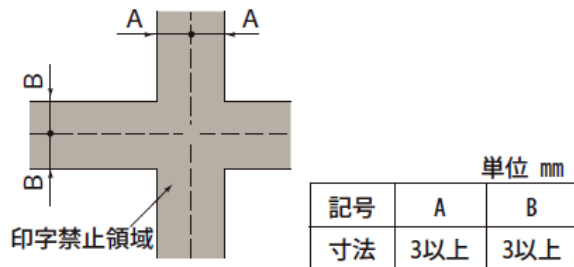
ミシン目の入れ方によっては、用紙送りに悪影響を与えることがあります。特に1枚用紙の場合、ミシン目を強く入れると使用中にミシン目から破けることがあります。

ミシン目の入れ方は、次のようにしてください。

- ・1枚用紙のミシン目（縦、横ミシン目共）のカット（切る部分）およびアンカット（切らない部分）の比率は、約3：1にしてください。
- ・横ミシン目の端面アンカット寸法（両端部C）は、1mm以上にしてください。
- ・縦ミシン目と横ミシン目の交点（D）部は交点アンカット（b）の方法にしてください。交点カット（a）は、行わないでください。
- ・複写用紙についても同様の注意が必要です。あらかじめ確認の上、使用してください。



注) ミシン目上に印字すると、用紙にキズがついたりプリンタの故障となることがありますので、下の図に示す斜線部には印字しないでください。

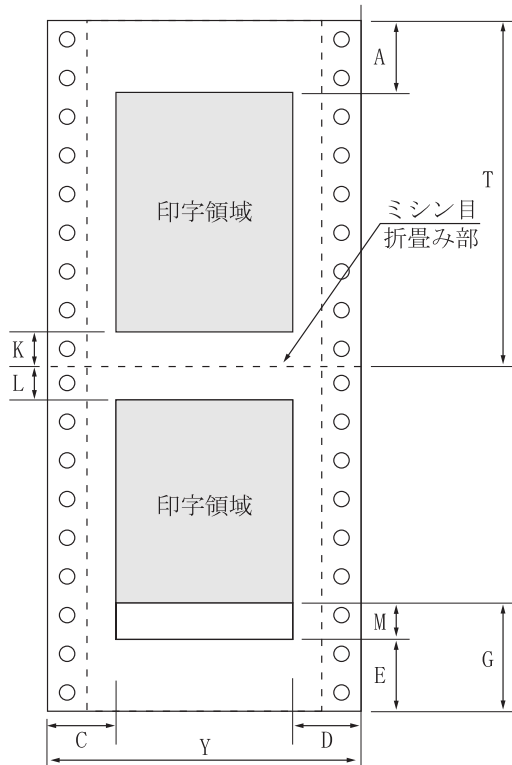


■ 一般用紙（前・後トラクタ）

連続帳票用紙の印字領域を下図に示します。

◆ 用紙サイズおよび印字領域

連続帳票用紙の印字領域を下図に示します。



記号	項目	寸法 (mm)	
		前トラクタ	後トラクタ
A	上端余白	4.2 以上	
C	横打ち出し	11.43 以上 (注1)	
D	最終印字	(注2)	
E	下端余白	4.2	
G		約 101	約 157
K	下端余白	4.2 以上	
L	上端余白	4.2 以上	
M	印字品質低下領域	(注3)	
T	用紙長さ	4 インチ以上	
Y	用紙幅	4~16 インチ	

注1) C 値は用紙幅 15 インチ以下の場合です。16 インチの場合は、14~30mm となります。

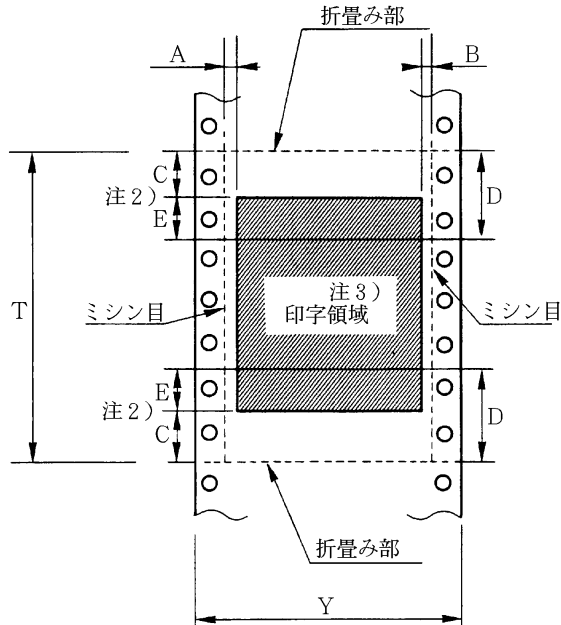
注2) D 値については用紙幅と印字桁数によりますが、最小 11.43mm とします。

注3) M の領域はトラクタから外れた領域です。トラクタから外れた後の改行がうまくいかない場合や、逆改行を行う場合は、トラクタの位置(前トラクタ約 101mm、後トラクタ約 157mm)で PE を検知するように設定変更してください。機能設定「ヨハクヨウ セッテイ」の「Fトラクタ カタンヨク」、「Rトラクタ カタンヨク」でそれぞれ変更できます。

■ はがき用紙（前トラクタ）

このプリンタで連続帳票のはがき用紙を使用できます。はがき用紙を使用する場合は、前方（操作パネル側）から用紙をセットします。

◆ 用紙サイズおよび印字領域



記号	項目	寸法 (mm)
A	横打ち出し	5.08 以上 (1/5 インチ)
B	最終印字	5.08 以上 (1/5 インチ)
C	縦打ち出し (注1)	8.46 以上 (1/3 インチ) (注2)
D	縦打ち出し (推奨値)	25.4 (1 インチ) (注2)
Y	用紙幅	228.6~330.2 (9~13 インチ)
T	用紙長さ	203.2~355.6 (8~14 インチ)

注1) C 領域では印字ユニットの横移動はさせないでください。
(用紙のふくらみなどにより、リボン汚れおよび用紙引っ掛けの原因になります。)

注2) E の印字領域内では、多少改行が乱れることがあります。

注3) 印字領域内にミシン目がある場合、印字はそのミシン目から 5.08mm 以上離してください。ただし、折畳み部以外のミシン目は、カットおよびアンカット比を 2:1 にしてください。

◆ 連量紙

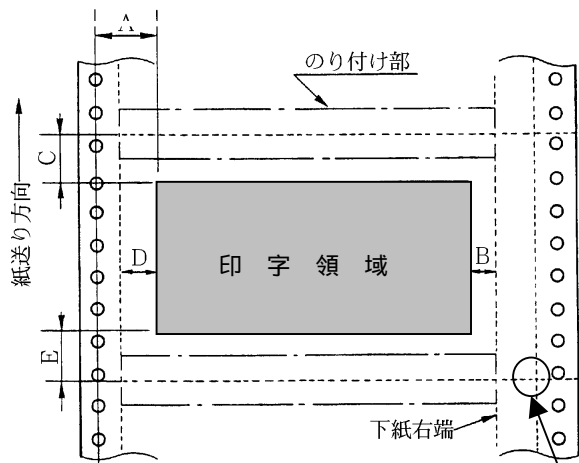
135kg 以下とし、枚数は1枚のみとします。

◆ ミシン目の入れ方

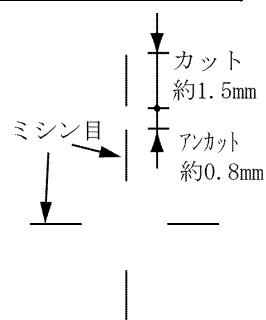
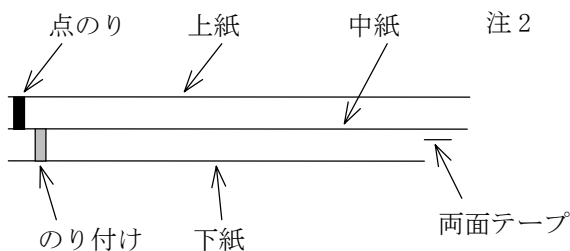
一般連続帳票用紙と同様です。

■ 封筒用紙（前・後トラクタ）

◆ 用紙サイズおよび印字領域



記号	寸法 (mm)
A	19 以上 (3/4 インチ)
B	1 以上 (1/25 インチ)
C	8.46 以上 (1/3 インチ)
D	5.08 (1/5 インチ)
E	21.7 (5/6 インチ)



注1) 改行精度の保証範囲は、25.4mm 以上です。

注2) ミシン目の寸法は、右図をおすすめします。
 (ミシン目の強い場合は、破れやすくなります。)
 縦ミシン目と横ミシン目の交点部は交点アソカットの方法にしてください。
 (「ミシン目の入れ方」117 ページ参照)

注3) のり付けの幅は、1/6 インチ以下とします。

注4) のり付けによる厚み増加は、0.1mm 以下とします。

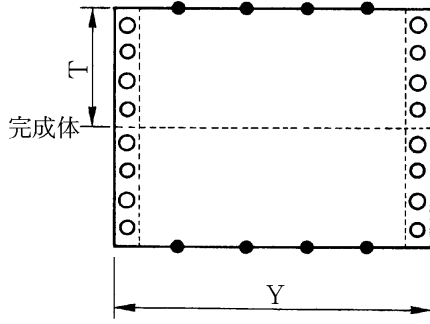
注5) 穴ズレは、0.3mm 以下とします。

◆ 紙質構成および連量

	上紙	中紙	下紙
紙質	裏カーボン紙	ノンカーボン紙	ノンカーボン紙
連量 (kg)	33.5	70	70

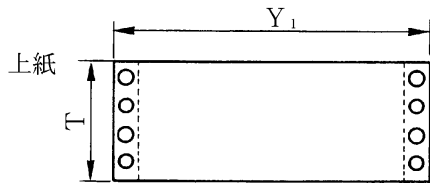
◆ 形状および構造

----- : ミシン目
 —●— : ミシン目+折り目



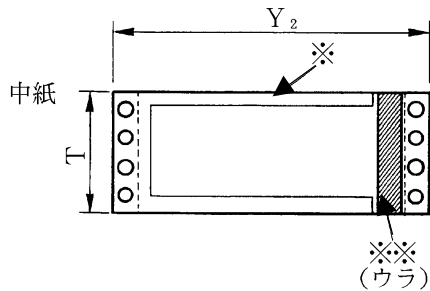
(a) 大きさ

記号	寸法 (mm)
T	127 (5 インチ)
Y	254 (10 インチ)
Y1	254 (10 インチ)
Y2	254 (10 インチ)
Y3	228.6 (9 インチ)



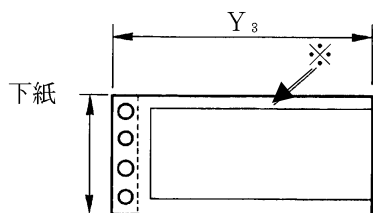
(b) とじ方法

とじ方法	上紙/下紙	中紙/下紙
種類	点のり	棒のり
位置	両端	左端・上下端 1/6 インチ幅 (※印)



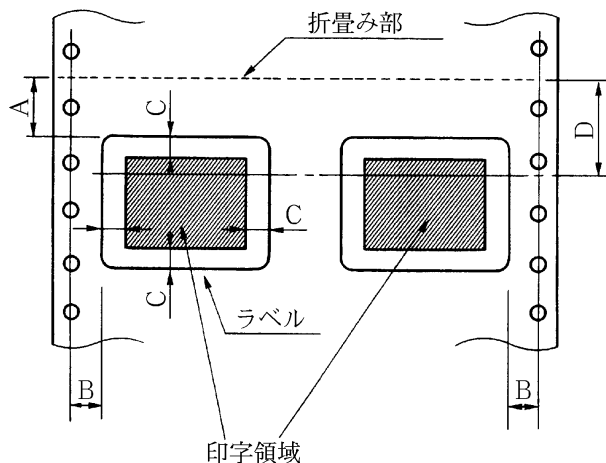
両面テープ使用 (※※印)

銘柄		アスコットテープ
幅 (mm)	はくり紙	12
	肉のり	10



■ タック用紙（前・後トラクタ）

◆ 用紙サイズおよび印字領域



記号	寸法 (mm)
A	2.54 以上 (1/10 インチ)
B	6.35 以上 (1/4 インチ)
C	2.54 以上 (1/10 インチ)
D	25.4 (1 インチ) (注)

用紙サイズ（台紙）は、一般連続帳票用紙と同じです。

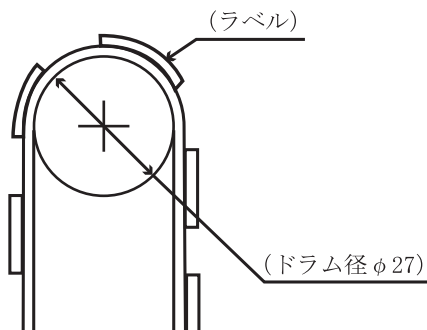
注) D 範囲内での印字領域では、多少改行が乱れる場合があります。
(改行量が 1/6 インチ以上の場合は、となり合う印字行の文字同士が重なり合うことは有りません。)

◆ 用紙厚さ

- ・用紙厚さは、ラベル+台紙が 0.2mm 以下となるようにしてください。
- ・台紙の厚さは、0.1mm 以下としてください。
- ・ラベルの厚さは、0.1mm 以下としてください。

◆ ラベルの貼付け強度

- ・次の条件で、ラベルが台紙からはがれないものを使用してください。
ラベルのめくれのあるもの、折れ曲がりのあるものは使用しないでください。



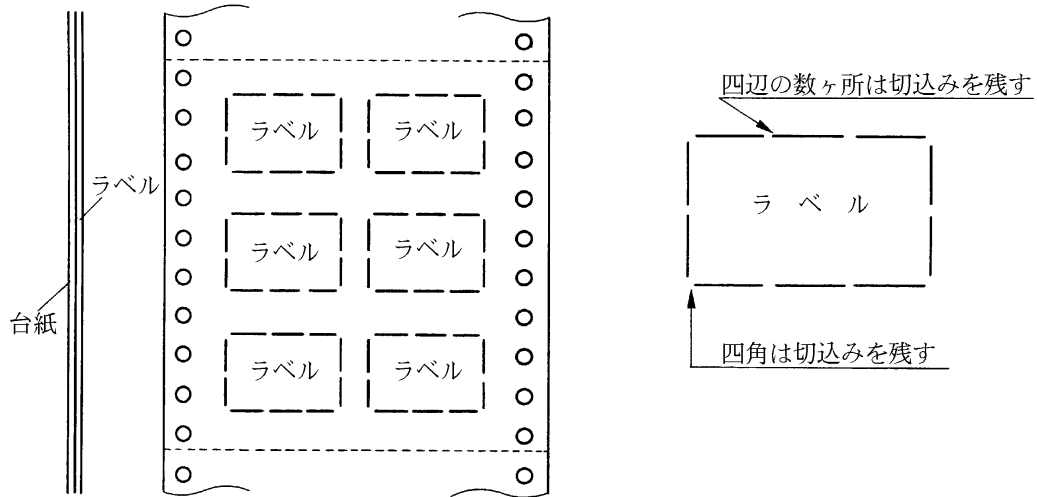
項目	条件
巻付ドラム径	φ27
巻付角度	180°
巻付時間	24 時間
周囲温度	40°C
周囲湿度	30%RH

◆ 用紙の形態

- ・ラベルのはがれによる用紙送行不能、または印字ヘッドの損傷など、重大なトラブルを防止するために下記用紙形態をおすすめいたします。

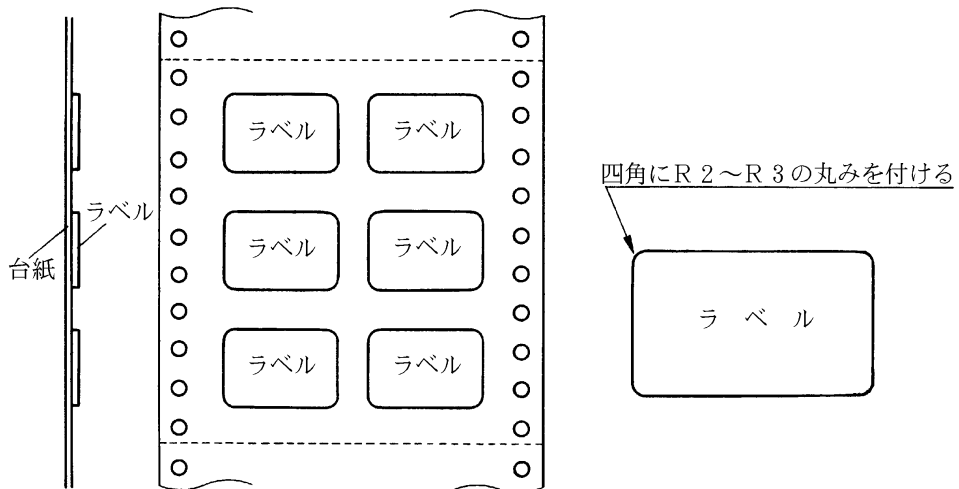
1) カストリは行わず、ラベルの四角および他の四辺に切込みを残した用紙。

※カストリとは、台紙全体に張られた粘着シールをラベルの部分だけを残してはぎ取ることを言います。



※この形態は、ほぼ完全にラベルのはがれを防止することができ、最もおすすめするものです。できる限りこの形態を使用するようにしてください。

2) カストリを行う場合、必ずラベルの四角に丸みを付けてください。



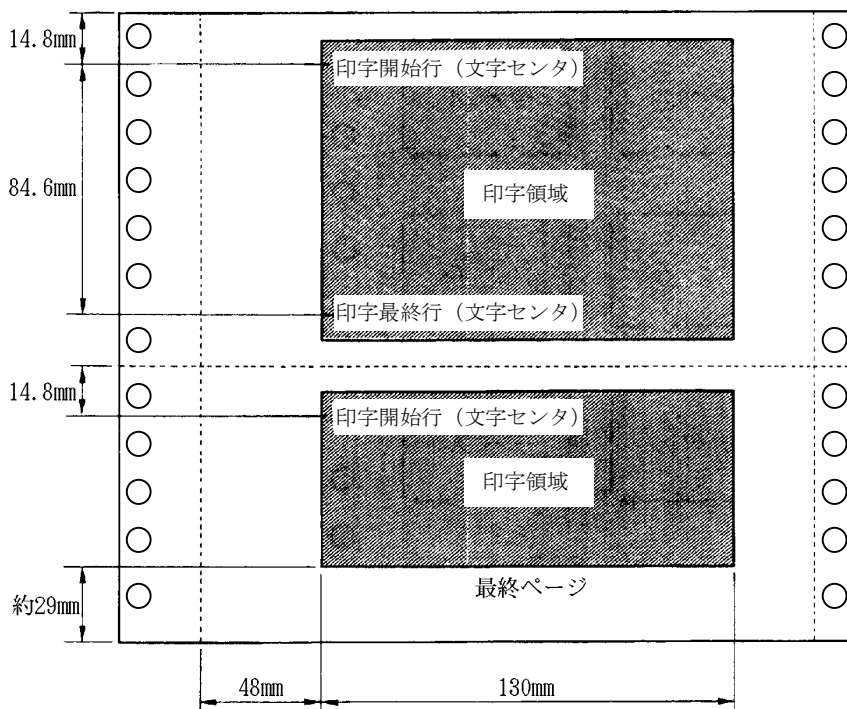
■ 宅配伝票（前トラクタ）

ここでは宅配伝票としての代表的な郵便小包ラベル（ゆうパック B、B-2、B-3）について規定します。

他の宅配伝票を使用する場合は、十分確認の上ご使用願います。

◆ 印字領域

郵便小包ラベル



注1) 印字領域内の用紙段差は、最大 0.15mm 以下としてください。

注2) 用紙厚段差のある伝票を印字すると、自動紙厚調整機構(APTC)の故障の原因となりますので、手動紙厚調整に切り替えて使用してください。
(107 ページ参照)

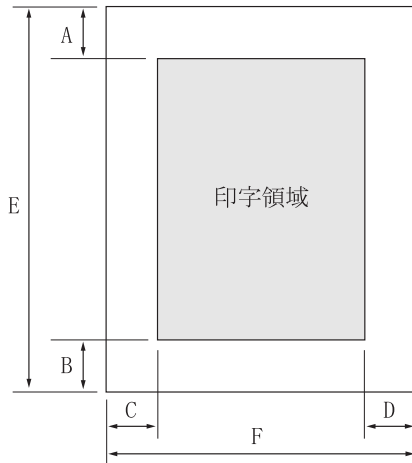
注3) 印字領域外への印字は禁止します。



手差しで使用する単票用紙

■ 一般用紙

◆ 用紙サイズおよび印字領域



記号	項目	寸法 (mm)	
		単票セットフリーオフの場合	単票セットフリーオンの場合
A	上端余白 (注2)	4.2 以上	4.2 以上
B	下端余白 (注2)	4.2 以上	4.2 以上
C	左端余白 (注3) (注4)	5.08 以上	5.08
D	右端余白 (注3)	5.08 以上	5.08 以上
E	用紙長さ	70~420(注5)	70~364
F	用紙幅	55~420	100~364

注1) 印字領域以外への印字は禁止します。

注2) A、B 値は、ドットピッチが 1/180 インチのときの値です。

注3) B4 横より幅の大きな用紙を使用する場合は、C 値と D 値は同時に実現できません。

注4) A3 横を使用する場合は、C 値は 33~38.5mm となります。

注5) 単票セットフリーオフの場合、用紙長さが 90mm 以下の用紙は、セットしにくくなります。

また、前カットシートフィーダを取り付けたとき、用紙長さは 90~420 mm となります。

◆ 用紙枚数

用紙種類	枚数	連量 (kg) (注1)	備考
一枚用紙	1P	45, 55, 70, 90, 110, 135	
ノンカーボン紙 (注2)	2P	34, 43, 55, (70)	・ () 内の連量の用紙は、複数つづりの一番下の用紙のみ使用可能です。
	3P	34, 43, (55, 70)	
	4P	34, (43, 55, 70)	
	5P	34, (43, 55)	
	6P	34, (43, 55)	
	7P	34, (43, 55)	
	8P	34, (43, 55)	
	9P	34, (43, 55)	
	裏カーボン紙 (注2)	2P	
3P		34, 44, (55, 70)	
4P		34, (44, 55, 70)	
5P		34, (45, 55)	
6P		34, (45, 55)	
7P		34, (45, 55)	
8P		34, (45, 55)	
9P		34, (45, 55)	

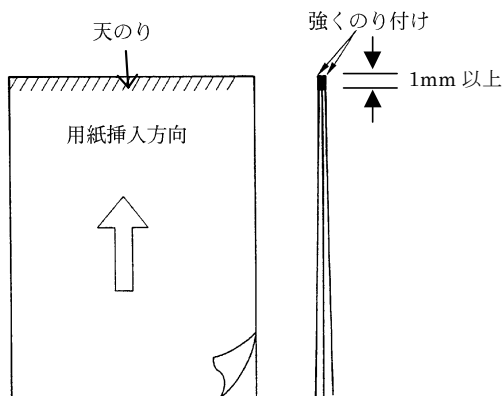
注1) 連量とは、四六判(788mm×1091mm)の用紙1000枚の重量をkgで示します。

注2) ノンカーボン紙および裏カーボン紙の連量は、メーカーによって多少異なる場合がありますが、その場合は表の数値に近いものを選んでください。

注3) 中カーボン紙は、単票用紙の場合使用しないでください。

■ 用紙のとじ方法

とじ方法は、必ず下図のように天のりとじにしてください。

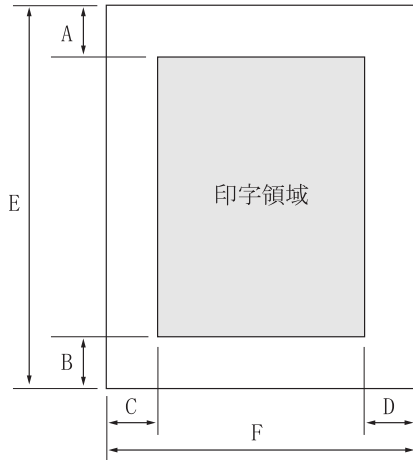


注1) のり付け部が波打ったり硬くなったりしないように、のりの量と種類に注意してください。

注2) 束のりとじの用紙はとじ力が弱いことから分離したり、のりがはみ出したりしてジャムが発生する可能性がありますので、使用を避けてください。

■ はがき

◆ 用紙サイズおよび印字領域

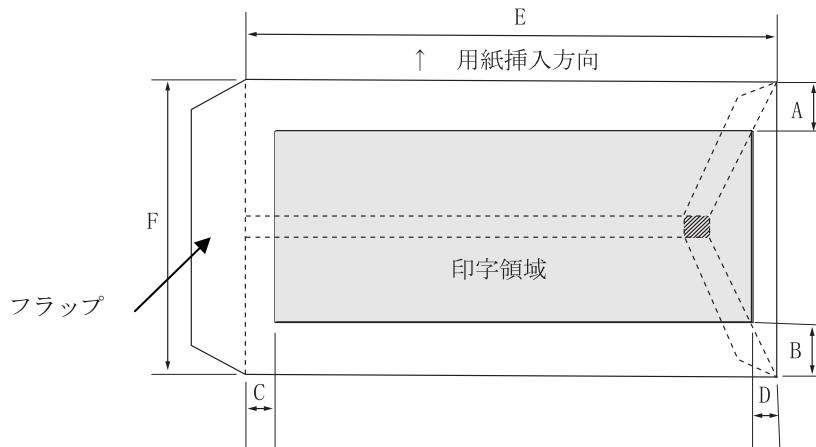


記号	項目	寸法 (mm)
A	上端余白	4.2 以上
B	下端余白	4.2 以上
C	左端余白	5.08 以上
D	右端余白	5.08 以上
E	用紙長さ	100, 148, 200
F	用紙幅	100, 148, 200

注) 往復はがきは、折り目のないものを使用してください。
私製はがきを使用する場合は、十分に確認を行ってから使用してください。

■ 封筒

◆ 用紙サイズおよび印字領域



記号	項目	寸法 (mm)
A	上端余白	7.38 以上
B	下端余白	7.38 以上
C	左端余白	12 以上
D	右端余白	12 以上
E	用紙幅	148～332
F	用紙長さ	90～240

◆ 封筒サイズおよび坪量

封筒の種類	寸法		坪量 (g/m ²)		最大用紙厚 (mm)
	E (mm)	F (mm)	クラフト紙	その他の紙	
長形 2 号	277	119	70, 85	70 以上 85 以下	0.48
長形 3 号	235	120	50, 60, 70, 85	55 以上 85 以下	0.48
長形 4 号	205	90			
長形 5 号	185	90			
角形 2 号	332	240	70, 85	70 以上 85 以下	0.48
角形 3 号	277	216			
角形 4 号	267	197			
角形 5 号	240	190			
角形 6 号	229	162			
角形 7 号	205	142	50, 60, 70, 85	55 以上 85 以下	0.48
角形 8 号	197	119			
洋形 1 号	176	120	50, 60, 70, 85	70 以上 85 以下	0.46
洋形 2 号	162	114			
洋形 3 号	148	98			
洋形 4 号	235	105			
洋形 5 号	217	95			
洋形 6 号	190	98			
洋形 7 号	165	92			
US10	239	105	81 以下	81 以下	0.46
ジャーманタイプ	220	111			

注 1) 印字領域以外への印字を禁止します。

注 2) 封筒印字時は、印字汚れ・かすれなどが発生しやすくなりますので、十分確認の上使用してください。また、自動紙厚調整機構 (APTC) の故障の原因となりますので、手動紙厚調整に切り替えて使用してください。(107 ページ参照)

注 3) 印字領域内の用紙の段差は、最大 0.15mm 以下としてください。

注 4) のり付け部の上およびその周辺 5mm 以内への印字を禁止します。

注 5) フラップ部破線の食込みが封筒肩より 12mm 以上の場合は、破線部の右側で印字してください。

注 6) フラップ部などがのり付け加工された封筒は、使用しないでください。

注 7) 切手およびシールなどを貼付けた封筒は、使用しないでください。

注 8) 斜線部への印字は、リボン汚れが発生し易いのでさけてください。

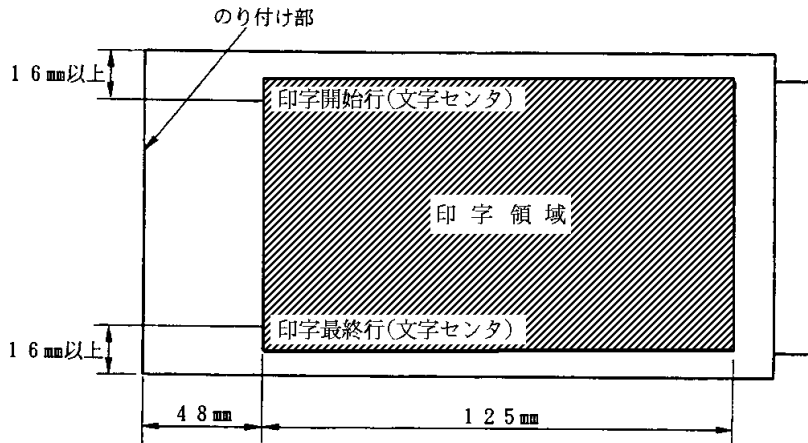
注 9) 封筒は単票セットフリーオフにして印字してください。単票セットフリーオンで印字すると、封筒のフラップ部(斜めの部分)を用紙端面と判断し、印字開始位置がズレることがあります。

注 10) 封筒のフラップ部(斜めの部分)は第1ドットの左側となるように用紙ガイドを移動して使用してください。(101 ページ参照)

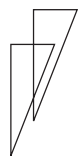
■ 宅配伝票

ここでは宅配伝票としての代表的な郵便小包ラベル（ゆうパック）について規定します。他の宅配伝票を使用する場合は、十分確認の上ご使用願います。郵便小包ラベル（普通用 A、C）

◆ 印字領域



- 注 1) 印字領域以外の印字は禁止します。
- 注 2) 用紙厚段差のある伝票を印字すると、自動紙厚調整機構(APTC)の故障の原因となりますので、手動紙厚調整に切り替えて使用してください。(107 ページ参照)
- 注 3) 印字領域内の用紙の段差は、最大 0.15mm 以下としてください。
- 注 4) 用紙の最大厚さは、ゆうパック伝票 (Max 0.6mm) 以下としてください。
- 注 5) 折れ曲がりのある用紙は、斜行、角折れ、および用紙づまりの原因になります。

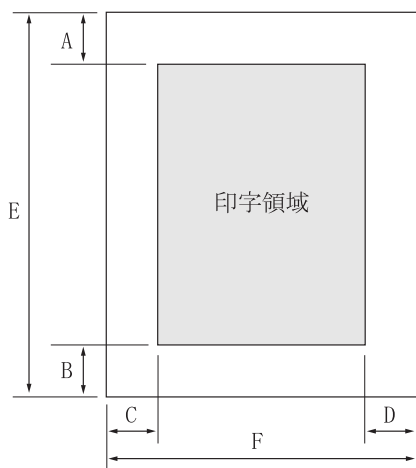


カットシートフィーダ（オプション）

で使用する単票用紙

■ 一般用紙

◆ 用紙サイズおよび印字領域



記号	項目	寸法 (mm)	
		フロントカットシートフィーダ	リアカットシートフィーダ
A	上端余白 (注 2)	4.2 以上	4.2 以上
B	下端余白 (注 2)	4.2 以上	4.2 以上
C	左端余白 (注 3) (注 4)	5.08 以上	5.08 以上
D	右端余白 (注 3)	5.08 以上	5.08 以上
E	用紙長さ	70～420	100～420
F	用紙幅 (注 5)	100～420	100～420

注 1) 印字領域以外への印字は禁止します。

注 2) A、B 値は、ドットピッチが 1/180 インチのときの値です。

注 3) B4 横より幅の大きな用紙を使用する場合は、C 値と D 値は同時に実現できません。

注 4) A3 横を使用する場合は、C 値は約 37.3mm となります。

注 5) カットシートフィーダで複写紙を使用する場合、F 値は 182mm 以上のものを使用してください。

◆ 用紙枚数

用紙種類	枚数	連量 (kg) 注 1)	備考
一枚用紙	1P	45, 55, 70, 90, 135	
ノンカーボン紙 注 2)	2P	34, 43, 55, (70)	・ () 内の連量の用紙は、複数つづりの一番下の用紙のみ使用可能です。
	3P	34, 43, (55, 70)	
	4P	34, (43, 55, 70)	
	5P	34, (43, 55)	
裏カーボン紙 注 2)	2P	34, 44, 55, (70)	
	3P	34, 44, (55, 70)	
	4P	34, (44, 55, 70)	
	5P	34, (45, 55)	

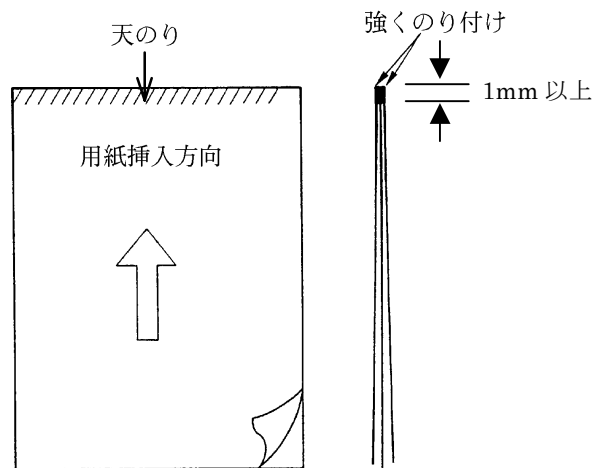
注 1) 連量とは、四六判(788mm×1091mm)の用紙 1000 枚の重量を kg で示します。

注 2) ノンカーボン紙、裏カーボン紙の連量は、メーカーによって多少異なる場合がありますが、その場合表の数値に近いものを選んでください。

注 3) 中カーボン紙は、単票用紙の場合使用しないでください。

■ 用紙のとじ方法

とじ方法は、必ず下図のように天のりとじにしてください。



注 1) のり付け部が波打ったり硬くなったりしないように、のりの量と種類を注意してください。

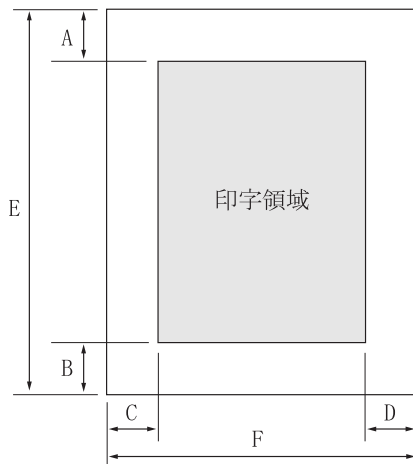
注 2) 束のりとじの用紙はとじ力が弱いことから分離したり、のりがはみ出したりしてジャムが発生する可能性がありますので、使用を避けてください。

◆ ホッパ容量

- (1) 一般用紙 (55kg、1P) … 120 枚
- (2) 5P (34kg) 用紙 …… 25 枚
- (3) 官製はがき …… 40 枚

■ はがき

◆ 用紙サイズおよび印字領域



記号	項目	寸法 (mm)
A	上端余白	4.2 以上
B	下端余白	4.2 以上
C	左端余白	5.08 以上
D	右端余白	5.08 以上
E	用紙長さ	100, 148, 200
F	用紙幅	100, 148, 200

注 1) 往復はがきは、折り目のないものを使用してください。

注 2) 私製はがきを使用する場合は、十分に確認を行ってから使用してください。

■ 封筒

◆ 印字領域および用紙サイズ

手差しの場合と同様です。127 ページを参照してください。

◆ 封筒サイズおよび坪量

封筒の種類	寸法		使用可否		坪量 (g/m ²)		最大用紙厚 (mm)
	E (mm)	F (mm)	前カットシートフィーダ*	後カットシートフィーダ*	クラフト紙	その他の紙	
長形 3 号	235	120	○	○	50, 60, 70	55 以上	0.40
長形 4 号	205	90	○	×		70 以下	
長形 5 号	185	90	○	×			
角形 6 号	229	162	○	○	70	70 以下	0.40
角形 7 号	205	142	○	○	50, 60, 70	70 以下	0.40
角形 8 号	197	119	○	○			
洋形 3 号	148	98	○	○		70 以上	
洋形 4 号	235	105	○	○	81 以下	81 以下	0.46
US10	239	105	○	○	81 以下		
ジャーマンタイプ	220	111	○	○			



とじ穴の開けかた

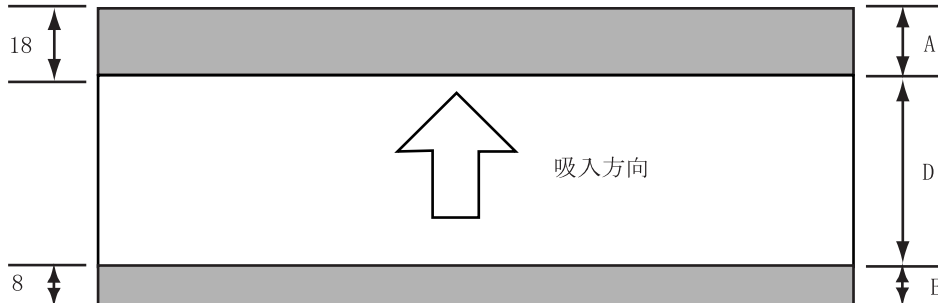
印字領域内にとじ穴をあけないでください。やむを得ず印字領域内にとじ穴をあけるときは、とじ穴部と印字が重ならないようにしてください。



プレプリント用紙を使用するとき

あらかじめ文字や枠などを印刷してある用紙（プレプリント用紙）を作成したり、使用したりするときは、次の点に注意してください。

◆ 単票セットフリーオン時の手差し単票のプレプリント禁止領域

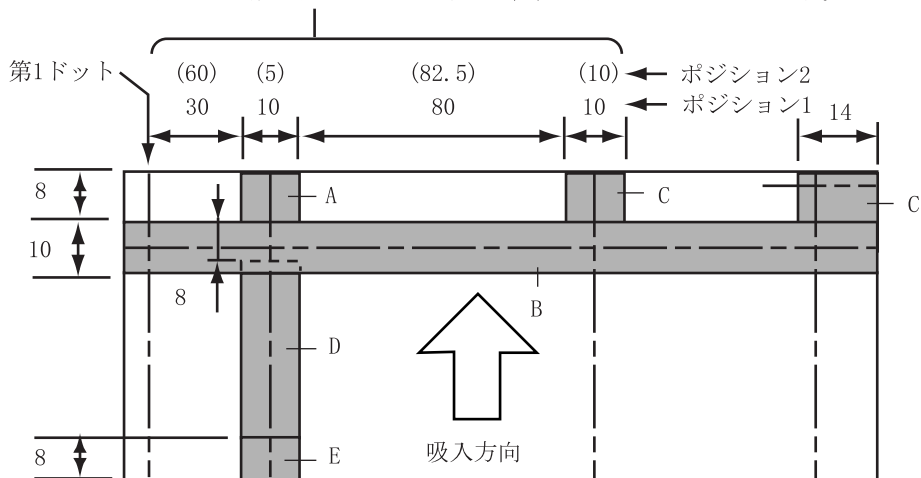


(単位:mm)

- (1) A 部、E 部は光反射率 60%以下の色(例えば黒)は使用しないでください。
- (2) D 部に反射率 60%以下の色(例えば黒)を使用する場合は、135 ページに示す幅の条件に従ってください。

◆ 単票セットフリーオフ時の手差し単票、カットシートフィーダで使用する単票、連帳の場合のプレプリント禁止領域

用紙吸入時の機能設定によるキャリア位置の設定により変わります。



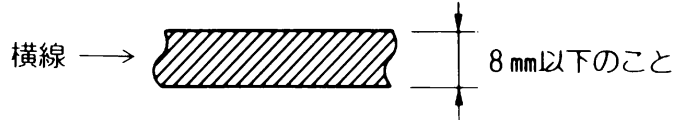
(単位:mm)

- (1) A、B、C、E部は光反射率60%以下の色(例えば黒)は使用しないでください。
- (2) D部に反射率60%以下の色(例えば黒)を使用する場合は、135ページに示す幅の条件に従ってください。
- (3) B、C部は「ソリタセッテイ」の「シャロウケンシュツ」と「ヨウガイインジボウシ」を「ムコウ」にすると、プレプリントの制約はなくなります。

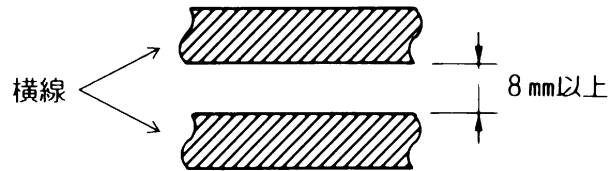
◆ プレプリント禁止領域に印刷するとき

やむを得ずD部内に印刷するときは、次のようにしてください。

- (1) 斜線内に印刷する横線の太さは、下図に示すように 8mm 以下にしてください。



- (2) (1) の横線が連続するときは、下図に示すようにすきまを 8mm 以上あけてください。



注) 線の太さが 0.5mm 以下のときは、すきまが 4mm 以上でも可能です。

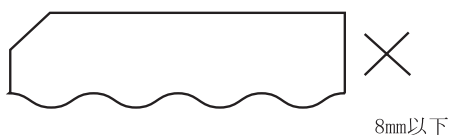
- (3) 斜線内に縦線を入れるときは、線の太さを 0.5mm 以下とし、斜線内に 1 本までとしてください。

やむを得ず A、B、C、E 部内に印刷するときは、線の太さを 0.5mm 以下とし、すきまを 4mm 以上あけてください。

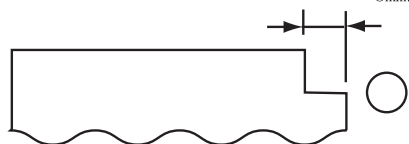


用紙の形状について

◆ 単票セットフリーオン時の用紙上端について

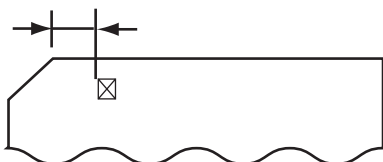


このような用紙はセット位置によって打ち出し位置がズレることがありますので、単票セットフリーオフで使用してください。



用紙右上部の切り欠きは8mm以下としてください。

◆ 単票セットフリーオフ時の用紙上端について



左端部の面取は第1ドットの左側となるように用紙ガイドを移動して使用してください。



用紙上端の切り欠きや面取が8mmを越える場合は、機能設定で用紙吸入時の斜行検出を無効にして、使用してください。



取り扱い上のご注意

◆ 用紙の保管および取扱いについて

用紙を保管したり、取り扱ったりするときは、変形、破損が生じないように注意してください。湿気の多い所での保管は、絶対に避けてください。

◆ 特殊用紙について

- ・この章に記述した仕様と異なる特殊用紙を使用するときは、用紙づまりなどのトラブルを予防するため、サンプルを作成して十分なためし印字を行い、使えることを確認してから使用してください。
- ・再生紙の種類によっては、インクリボンの寿命が短くなったり、用紙づまりが起きたりすることがあります。このときは、使用を中止し、紙質の良いものに変更してください。

◆ 使用できない用紙

次のような用紙は使用しないでください。次のような用紙を使用すると、用紙送りが不安定になり、紙づまり、折れ、および印字ずれの原因となります。最悪の場合には、印字ヘッドのピンが折れる可能性があります。

- ・極端に薄い紙または厚い紙（用紙規格を満たさないもの）
- ・小さすぎる紙または大きすぎる紙（用紙規格を満たさないもの）
- ・切り抜き部分や窓のある紙
- ・ピン、クリップ、ホチキスの針など金属の付いている紙
- ・のり付け面が露出している紙、波打っている紙、はがれている紙
- ・浮き彫りのある紙
- ・連続帳票用紙の横ミシン目以外で折りたたんだ紙
- ・複写紙において、オリジナルと複写紙で大きさの異なる紙、または部分的に複写枚数が異なる紙
- ・端または角が破れていたり、折れている紙
- ・束のりとじの複写用紙

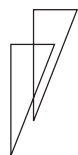


第 5 章

保守と点検

この章では、リボンカセットの交換、用紙づまりやプリンタがうまく動かないときの処置、テスト印字のしかた、清掃のしかた、輸送のしかたおよびアフタサービスについて説明します。

リボンカセットを交換する	140
用紙づまりのとき	143
連続帳票用紙がつまったとき	143
単票用紙がつまったとき	148
リアスタッカ部に用紙がつまったとき	150
カットシートフィーダから吸入した 用紙がつまったとき	152
プリンタがうまく動かないとき	155
エラーメッセージが表示されている	155
単票用紙吸入時の不具合	162
連帳用紙吸入時の不具合	162
印字中の問題点	163
印字結果の問題点	163
印字位置の問題点	166
印字位置がページによってズレる	167
カットシートフィーダ使用時の不具合	167
テスト印字をする	169
HEX ダンプ印字をする	171
清掃のしかた	172
プリンタを輸送するとき	173
アフタサービス	174

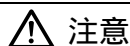


リボンカセットを交換する

◆ リボンカセットの種類

このプリンタで使用するリボンカセットは、下表のとおりです。

商品名	備考
CD180FI, CD130FI, CD110FI 用カセットリボン	黒色インクリボンが入ったリボンカセットです。
CD180FI, CD130FI, CD110FI 用サブリボン	つめかえ用インクリボンです。



注意

誤 飲 インクリボンをお子様が口に入れたりなめたりしないようにしてください。健康を損なう原因となることがあります。

お願い

- ・リボンカセットは、指定の純正品を使用してください。指定以外のリボンカセットを使用すると、インクリボンがからまったり、印字ヘッドが傷んだりしてプリンタの故障を引き起こすことがあります。
- ・インクリボンがたるんだ状態で使用しないでください。たるんだまま印字を開始すると、インクリボンがからまったり、巻きとりがロックすることがあります。
- ・使用済みのリボンカセットは、不燃物として処理してください。

◆ 交換のしかた

リボンカセットの交換は、次の手順で行います。

1 印字ヘッドをリボン交換位置に移動する

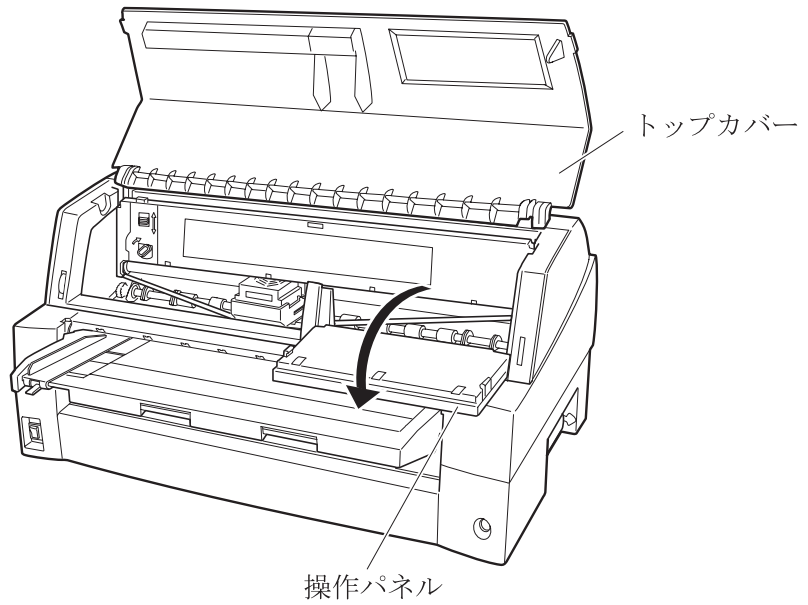
トップカバーを閉じて、電源を投入すると、印字ヘッドがリボン交換位置に移動します。

2 電源を切る

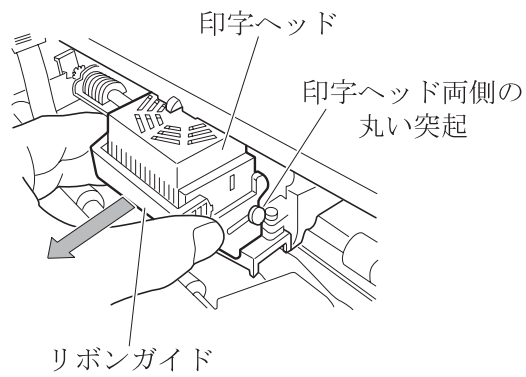
(電源スイッチが (○) 側に倒れた状態になります。)

3 トップカバーを開ける

4 操作パネルを手前側に倒す

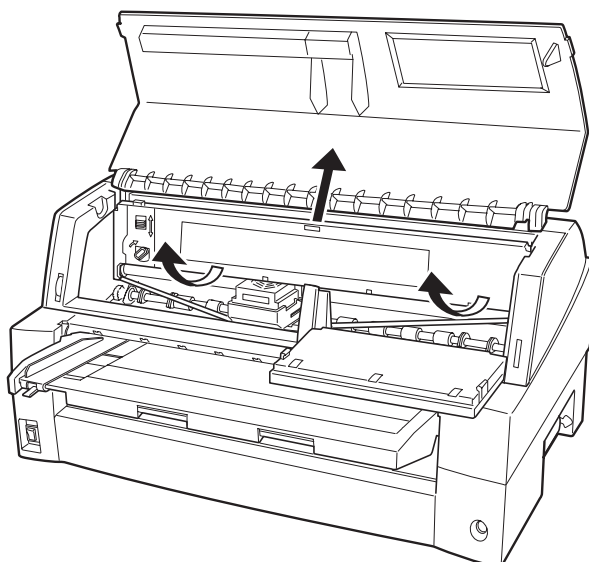


5 リボンガイドを外す



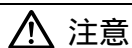
6 リボンカセットを取り外す

リボンカセットを手前に起こしてロックを外し、プリンタから取り外します。



7 新しいリボンカセットを取り付ける

新しいリボンカセットの取り付けは、20 ページの「リボンカセットを取り付ける」を参照してください。



注意

高温 印字した直後は、印字ヘッドおよびプリンタ内部が高温になります。温度が下がったことを確かめてから、リボンを交換してください。やけどの原因となることがあります。

◆ サブカセットの交換のしかた

サブカセットの交換方法は、サブカセットに添付してある交換要領書を参照してください。

用紙づまりのとき

■ 連続帳票用紙がつまったとき

用紙づまりを起こしたときは、用紙を無理に引っ張らず、ゆっくり取り除きます。

まず、はじめに取り出しやすいように連続帳票用紙をミシン目でカットします。

その後、用紙づまりの状態に合わせて次の手順で用紙を取り除きます。

◆ 前トラクタから吸入した用紙がつまったとき

1 オフライン状態にする

オンラインスイッチを押して、プリンタをオフライン状態（「オンライン」ランプ消灯）にします。

動作が停止し、印字ヘッドとプラテンとのすきまが最大となります。

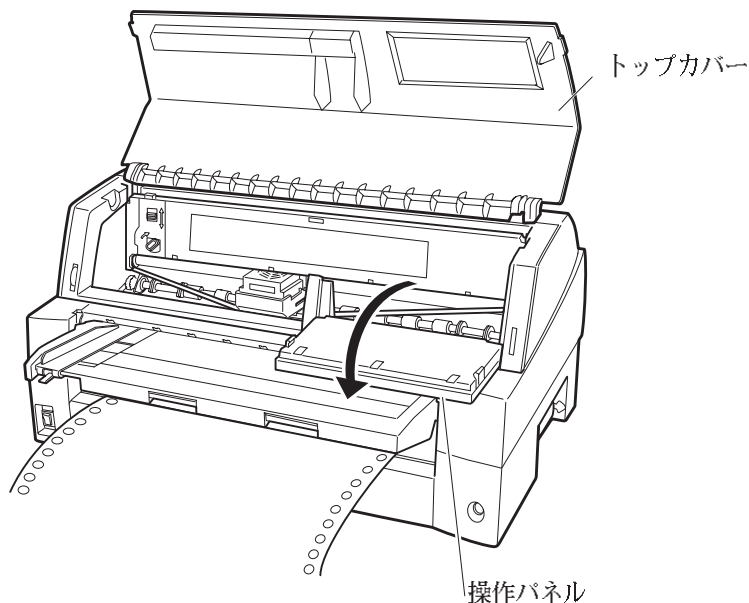
2 プリンタの電源を切る

電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

3 トップカバーを開く

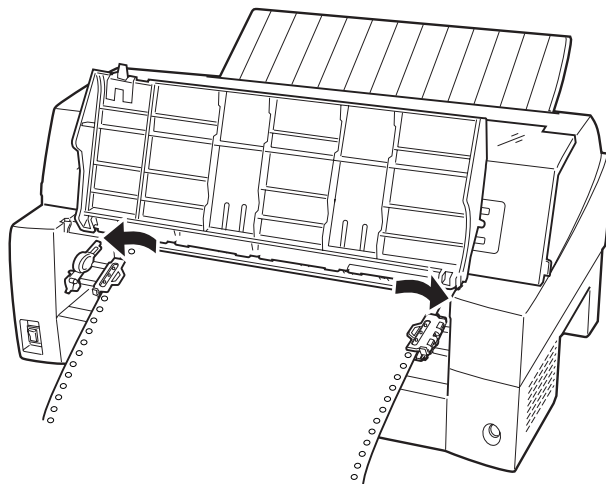
トップカバーを開き、装置内部の用紙づまりの状況を確認します。

4 必要に応じて操作パネルを手前に倒す



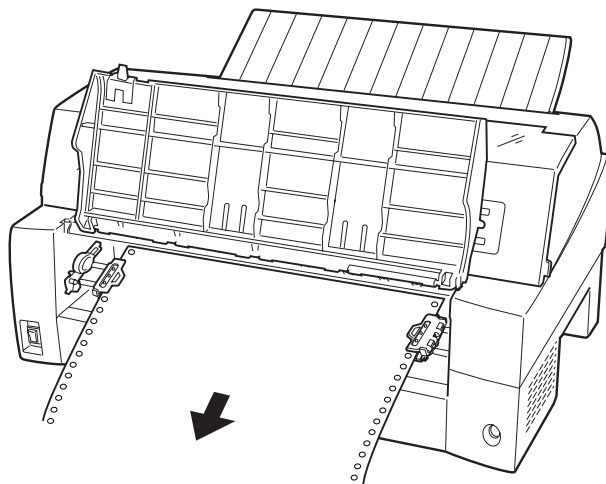
5 トラクタの左右の用紙押さえを開き、トラクタから用紙を外す

単票テーブルを上側に開き、用紙送りトラクタ左右用紙押さえを開いて、トラクタから用紙を外します。

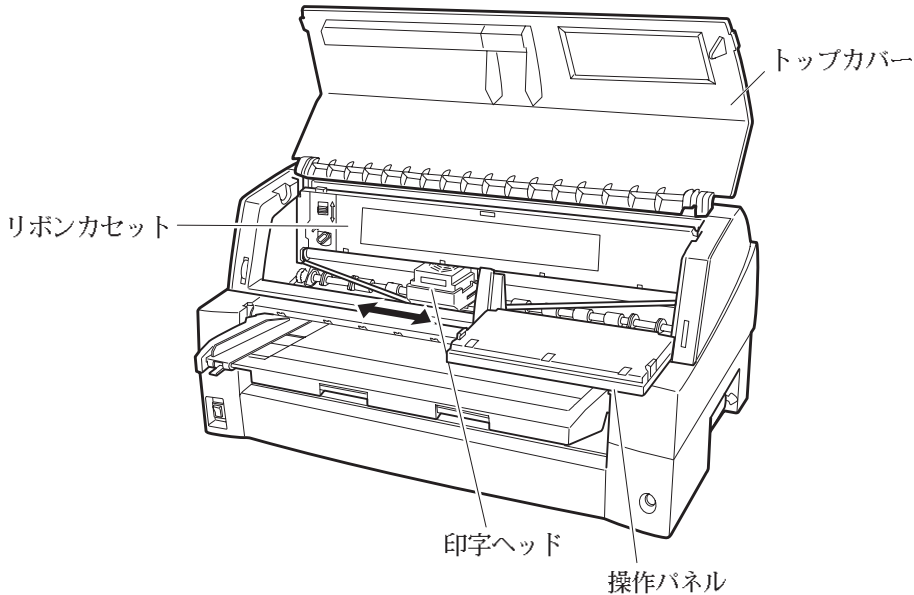


6 用紙を取り除く

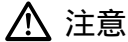
プリンタの前もしくは後から出ている用紙の端をゆっくり引いて、取り除きます。



用紙が印字部につまんでうまく取り除けない場合や、小さな紙片が残ってしまった場合は、用紙を取り除きやすいように印字ヘッドを適当な位置に手で動かし（下図参照）、残った用紙を手で取り除きます。また、印字ヘッド先端付近の用紙が取り除きにくい場合は、リボンカセットを取り外してから用紙を取り除きます（取り除きにくい場合はピンセットなどを使用してください）。



7 操作パネルを手前に倒した場合は元に戻し、トップカバーを閉じる



注意

高温 印字した直後は、印字ヘッドおよびプリンタ内部が高温になります。温度が下がったことを確かめてから、印字ヘッドを動かしてください。やけどの原因となることがあります。

◆ 後トラクタから吸入した用紙が詰まったとき

1 オフライン状態にする

オンラインスイッチを押して、プリンタをオフライン状態（「オンライン」ランプ消灯）にします。

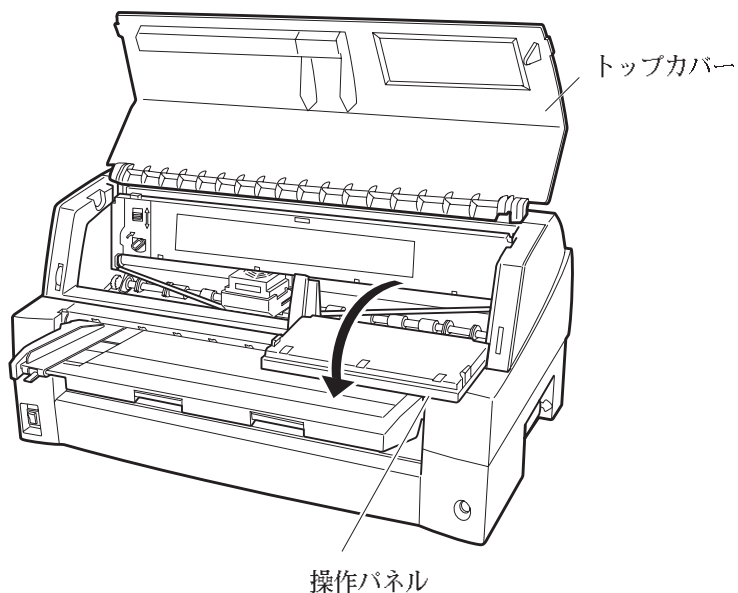
2 プリンタの電源を切る

電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

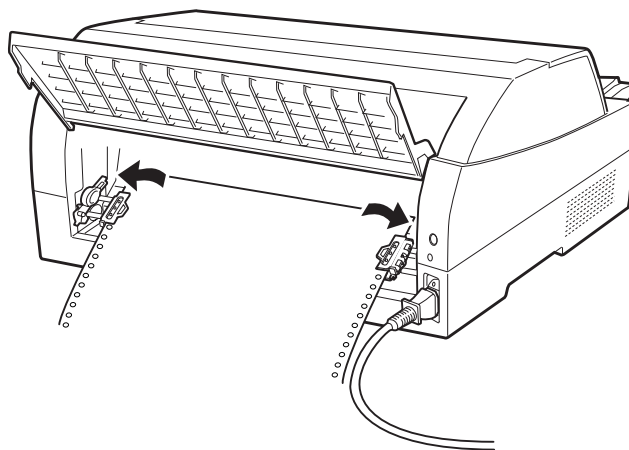
3 トップカバーを開く

トップカバーを開き、装置内部の用紙づまりの状況を確認します。

4 必要に応じて操作パネルを手前に倒す



5 トラクタの左右の用紙押さえを開き、トラクタから用紙を外す
用紙送りトラクタ左右用紙押さえを開いて、トラクタから用紙を外します。



6 用紙を取り除く

プリンタの前もしくは後から出ている用紙の端をゆっくり引いて、取り除きます。

用紙が印字部につまんでうまく取り除けない場合や、小さな紙片が残ってしまった場合は、用紙を取り除きやすいように印字ヘッドを適当な位置に手で動かし、残った用紙を手で取り除きます。また、印字ヘッド先端付近の用紙が取り除きにくい場合は、リボンカセットを取り外してから用紙を取り除きます（取り除きにくい場合はピンセットなどを使用してください）。

**注意**

高温 印字した直後は、印字ヘッドおよびプリンタ内部が高温になります。温度が下がったことを確かめてから、印字ヘッドを動かしてください。やけどの原因となることがあります。

7 操作パネルを手前に倒した場合は元に戻し、トップカバーを閉じる

■ 単票用紙がつまったとき

用紙づまりを起こしたときは、用紙を無理に引っ張らず、ゆっくり取り除きます。

用紙づまりの状態に合わせて、次の手順で用紙を取り除きます。

◆ 手差しで吸入した単票用紙がつまったとき

1 オフライン状態にする

オンラインスイッチを押して、プリンタをオフライン状態（「オンライン」ランプ消灯）にします。

動作が停止し、印字ヘッドとプラテンのすきまが最大となります。

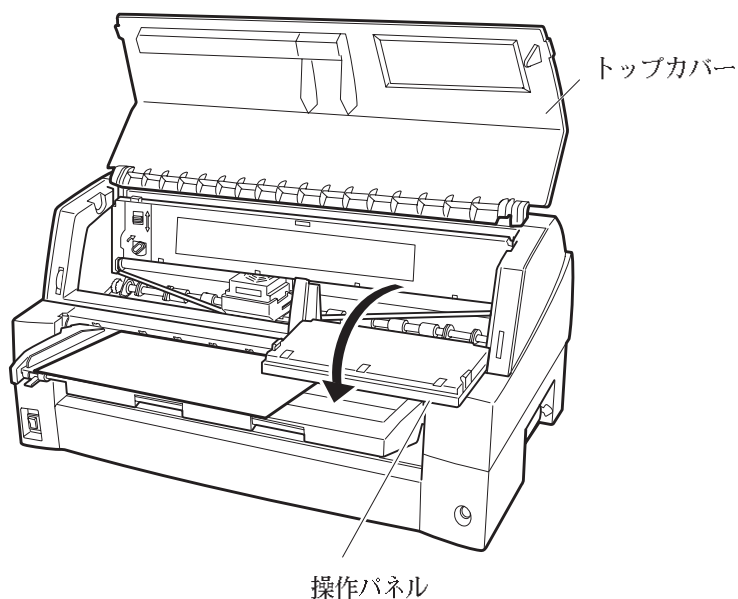
2 プリンタの電源を切る

電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

3 トップカバーを開く

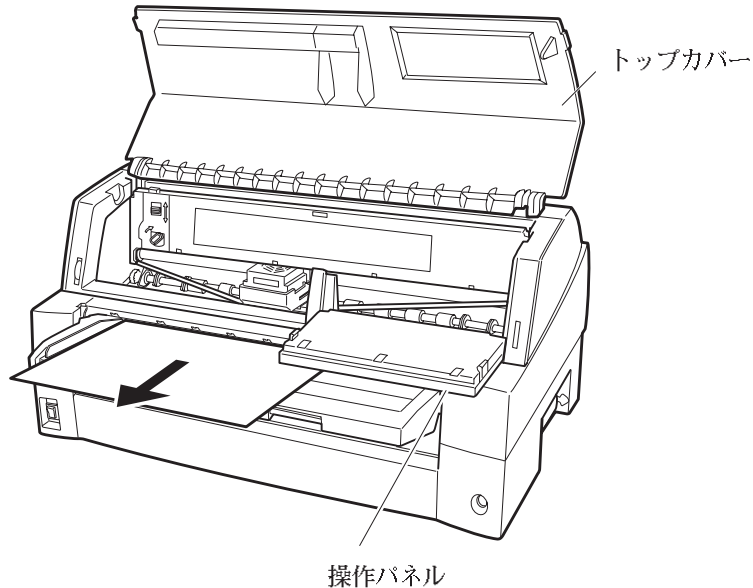
トップカバーを開き、装置内部の用紙づまりの状況を確認します。

4 必要に応じて操作パネルを手前に倒す

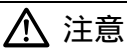


5 用紙を取り除く

プリンタの前もしくは後から出ている用紙の端をゆっくり引いて、取り除きます。



用紙が印字部につまっとううまく取り除けない場合や、小さな紙片が残ってしまった場合は、用紙を取り除きやすいように印字ヘッドを適当な位置に手で動かし、残った用紙を手で取り除きます。また、印字ヘッド先端付近の用紙が取り除きにくい場合は、リボンカセットを取り外してから用紙を取り除きます（取り除きにくい場合はピンセットなどを使用してください）。



高温 印字した直後は、印字ヘッドおよびプリンタ内部が高温になります。温度が下がったことを確かめてから、印字ヘッドを動かしてください。やけどの原因となることがあります。

6 操作パネルを手前に倒した場合は元に戻し、トップカバーを閉じる

■ リアスタッカ部に用紙がつまったとき

1 オフライン状態にする

オンラインスイッチを押して、プリンタをオフライン状態（「オンライン」ランプ消灯）にします。

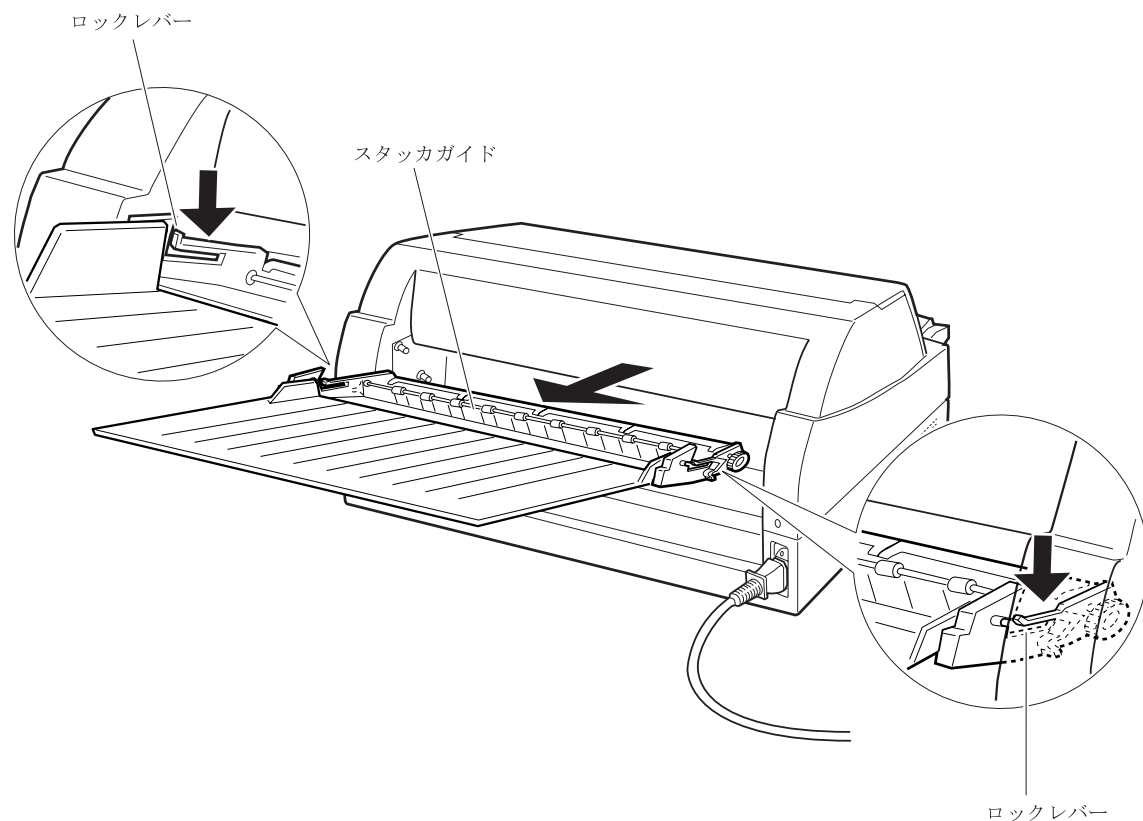
動作が停止し、印字ヘッドとプラテンのすきまが最大となります。

2 プリンタの電源を切る

電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

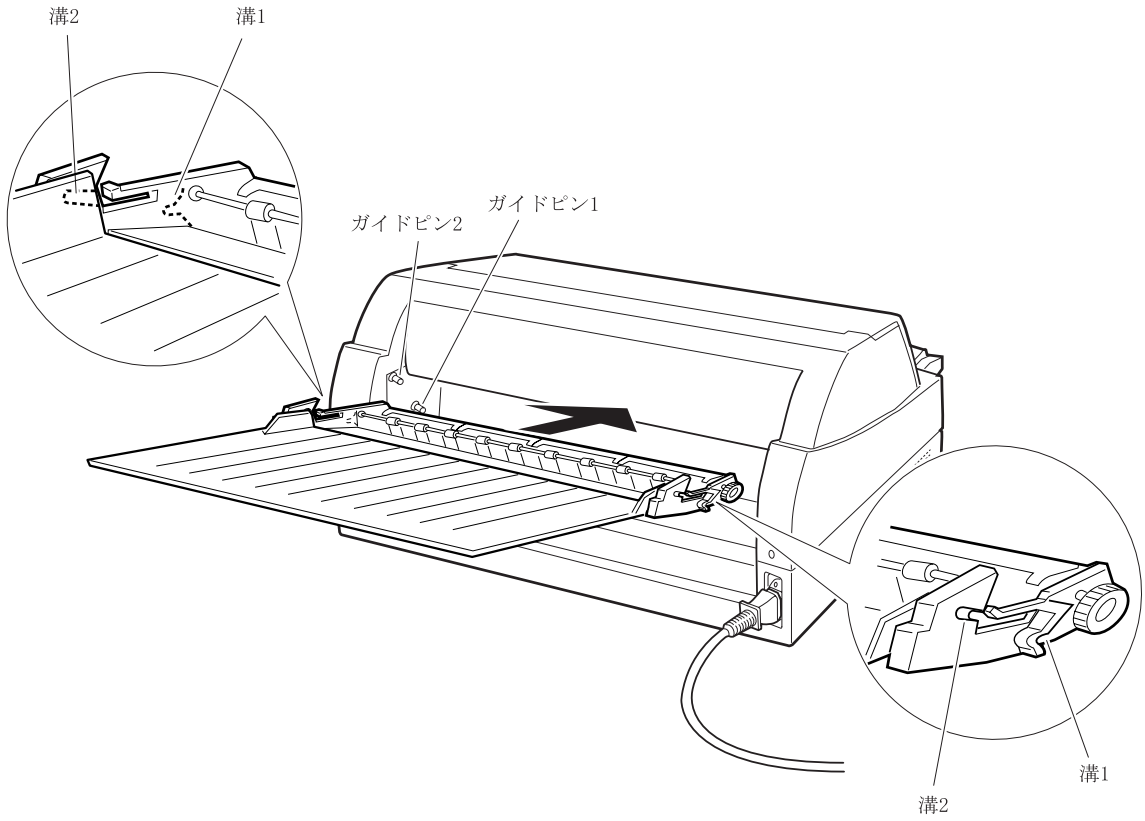
3 スタッカユニットを取り外す

スタッカガイドのロックレバーを押し下げながら、後方に取り外します。装置内部の用紙づまりの状況を確認します。



4 スタッカユニットを取り付ける

スタッカユニット左右の溝1をガイドピン1に合わせ、ガイドピン2が溝2にロックされるまでスタッカユニットを押し込みます。



■ カットシートフィーダから吸入した用紙がつまったとき

1 オフライン状態にする

オンラインスイッチを押して、プリンタをオフライン状態（「オンライン」ランプ消灯）にします。

2 プリンタの電源を切る

電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。

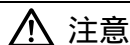
3 トップカバーを開く

トップカバーを開き、装置内部の用紙づまりの状況を確認します。

◆ カットシートフィーダユニット内での用紙づまりの場合

1 カットシートフィーダをプリンタ本体から取り外す

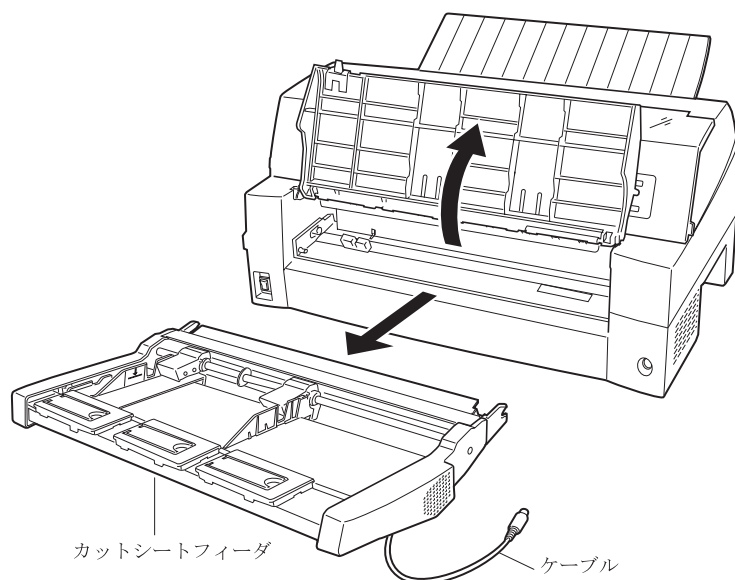
カットシートフィーダのケーブルをプリンタ本体のコネクタから抜いて、カットシートフィーダをプリンタ本体から取り外します。



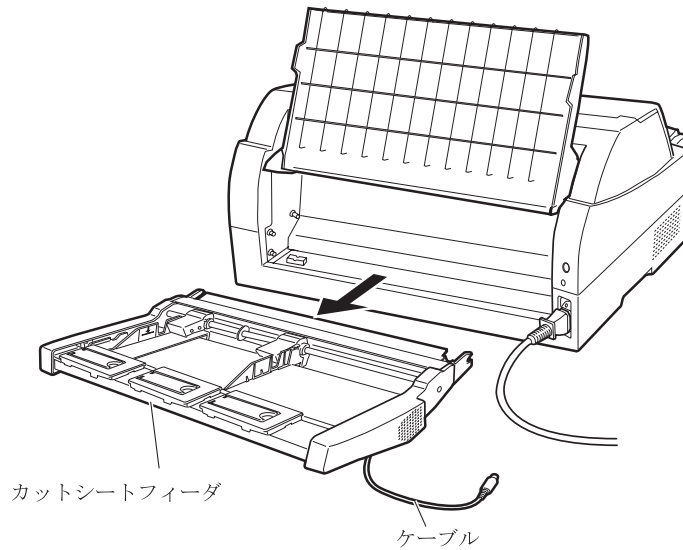
注意

感電 ケーブルを外すときは必ず電源を切ってください。電源を切らずに作業すると感電の原因となることがあります。

プリンタ前部から取り外す場合

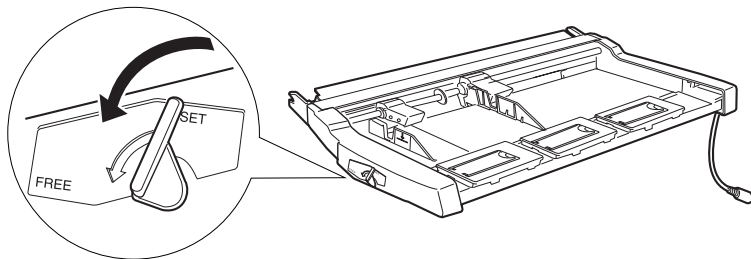


プリンタ後部から取り外す場合



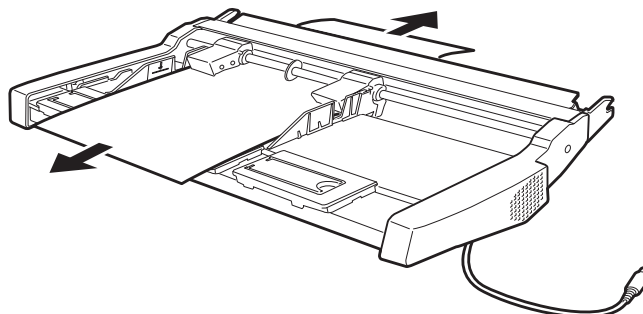
2 セットレバーを「FREE」の位置にする

カットシートフィーダ側面のセットレバーを「FREE」の位置にします。



3 用紙を取り除く

カットシートフィーダの前もしくは後から用紙の端をゆっくり引いて取り除きます。



◆ プリンタ装置内部まで用紙が送られた後の用紙づまりの場合

カットシートフィーダをプリンタ本体から取り外す

カットシートフィーダのケーブルをプリンタ本体のコネクタから抜いて、カットシートフィーダをプリンタ本体から取り外します。（「カットシートフィーダを取り外す」184ページ参照）

【つまった用紙がカットシートフィーダ側に残った場合は…】

1 セットレバーを「FREE」の位置にする

カットシートフィーダの側面のセットレバーを「FREE」の位置にします。（153ページ参照）

2 用紙を取り除く

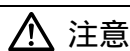
カットシートフィーダの前もしくは後から用紙の端をゆっくり引いて取り除きます。

【つまった用紙がプリンタ装置に残った場合は…】

用紙を取り除く

プリンタの前もしくは後から出ている用紙の端をゆっくり引いて、取り除きます。

用紙が印字部につまっとうまく取り除けない場合や、小さな紙片が残ってしまった場合は、用紙を取り除きやすいように印字ヘッドを適宜な位置に手で動かし、残った用紙を手で取り除きます。また、印字ヘッド先端付近の用紙が取り除きにくい場合は、リボンカセットを取り外してから用紙を取り除きます（取り除きにくい場合はピンセットなどを使用してください）。

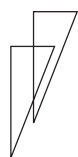


注意

高温 印字した直後は、印字ヘッドおよびプリンタ内部が高温になります。温度が下がったことを確かめてから、印字ヘッドを動かしてください。やけどの原因となることがあります。

お願い

一度紙づまりを起こした用紙の再使用はしないでください。



プリンタがうまく動かないとき

プリンタが動かなくなったり、きれいに印字できなくなったりした場合の処置方法を説明します。
処置を行っても機能が回復しない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

■ エラーメッセージが表示されている

プリンタに異常が発生すると、操作パネルのランプが点灯、点滅し液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

ランプの状態、液晶ディスプレイのメッセージ、プリンタの状態、および対処方法を次の表に示します。

ランプ	エラーメッセージ	原因	対処方法
メッセージ ランプ点灯	カバーオープン カバーフジテクタがサイ	トップカバーが開いている。	トップカバーを閉じてください。
	ヨウシ ナシ テナシ ヨウシヲ セットシテクタがサイ	単票用紙がセットされていない。	単票テーブルに用紙をセットしてください。 （「第3章 用紙のセット」参照）
	ヨウシ ナシ フロントトラクタ ヨウシヲ セットシテクタがサイ	フロントトラクタに連続帳票用紙がセットされていない。	用紙をセットしてください。（「第3章 用紙のセット」参照）
	ヨウシ ナシ リアトラクタ ヨウシヲ セットシテクタがサイ	リアトラクタに連続帳票用紙がセットされていない。	用紙をセットしてください。（「第3章 用紙のセット」参照）
	ヨウシ ナシ FCSF ヨウシヲ ホキウシテクタがサイ	フロントカットシートフィーダに用紙がセットされていない。	用紙をセットしてください。（「第3章 用紙のセット」参照）
	ヨウシ ナシ RCSF ヨウシヲ ホキウシテクタがサイ	リアカットシートフィーダに用紙がセットされていない。	用紙をセットしてください。（「第3章 用紙のセット」参照）
	タンビ° ヨウスキトリマチ ヨウシヲ スキトシテクタがサイ	排出された用紙が単票テーブルに残っている。	単票テーブルにある用紙を取り除いてください。
	ヨウシタイエラー Fトラクタ ヨウシヲ カクニシテクタがサイ	プリンタ内部でフロントトラクタ給紙の連続帳票退避中に紙づまりが発生した。	つまった用紙を取り除いてください。（「連続帳票用紙がつまったとき」(143ページ)参照）。
	ヨウシタイエラー Rトラクタ ヨウシヲ カクニシテクタがサイ	プリンタ内部でリアトラクタ給紙の連続帳票退避中に紙づまりが発生した。	つまった用紙を取り除いてください。（「連続帳票用紙がつまったとき」(143ページ)参照）。

ランプ	エラーメッセージ	原因	対処方法
メッセージ ランプ点灯	ヨシキウニューエー ヨシヲイセツシテクダサイ	プラテン直前直後の用紙ガイド(斜面)上に紙粉がたまり、センサが誤検出している。	紙粉を清掃してください。(「清掃のしかた」(172 ページ) 参照)
		用紙が斜めに給紙された(吸入斜行)を検出した。	用紙を傾かない様に再セットしてください。
		プレプリントによりセンサが誤検出している(プレプリントのない用紙は問題無い)。	プレプリントに関しては、「プレプリント用紙を使用するとき」(133 ページ)を参照してください。
		単票セットフリーオンのとき、用紙幅に問題がある。	幅 100~364mm(はがき~B4)の用紙を使用してください。
	幅 55~100mm 未満、365~420mm の用紙は単票セットフリーオフにして使用してください。		
単票セットフリーオンのとき、セット位置に問題がある。	98 ページを参照し、セット位置を修正してください。		
キョウジヤム テサシ ヨシヲトリゾ イテクダサイ	用紙の形状に問題があり、吸入斜行を誤検出している。	用紙の形状に関しては、「用紙の形状について」(136 ページ)を参照してください。	

ランプ	エラーメッセージ	原因	対処方法
メッセージ ランプ点灯	キューシジャム Fトラクタ ヨウシヨトリゾウ イテクタサイ	フロントトラクタから吸入した用紙がつまっている。	つまった用紙を取り除いてください。（「連続帳票用紙がつまったとき」(143 ページ)参照）。
		フロントトラクタ給紙時、単票テーブルを開いている。	単票テーブルを閉じてください。
		用紙の上端部に損傷、折れ曲がりがある。	損傷したり、折れ、曲がりのある連帳を使用しないでください。
		トラクタへのセットで、左右で穴がズレている。	正しくセットし直してください。（「第3章 用紙のセット」参照）
キューシジャム Rトラクタ ヨウシヨトリゾウ イテクタサイ	キューシジャム Rトラクタ ヨウシヨトリゾウ イテクタサイ	リアトラクタから吸入した用紙がつまっている。	つまった用紙を取り除いてください。（「連続帳票用紙がつまったとき」(143 ページ)参照）。
		用紙の上端部に損傷、折れ曲がりがある。	損傷したり、折れ、曲がりのある連帳を使用しないでください。
		トラクタへのセットで、左右で穴がズレている。	正しくセットし直してください。（「第3章 用紙のセット」参照）
キューシジャム FCSF ヨウシヨトリゾウ イテクタサイ	キューシジャム FCSF ヨウシヨトリゾウ イテクタサイ	フロントカットシートフィーダから吸入した用紙がつまっている。	つまった用紙を取り除いてください。（「カットシートフィーダから吸入した用紙がつまったとき」(152 ページ)参照）。
キューシジャム RCSF ヨウシヨトリゾウ イテクタサイ	キューシジャム RCSF ヨウシヨトリゾウ イテクタサイ	リアカットシートフィーダから吸入した用紙がつまっている。	つまった用紙を取り除いてください。（「カットシートフィーダから吸入した用紙がつまったとき」(152 ページ)参照）。

ランプ	エラーメッセージ	原因	対処方法
メッセージ ランプ点滅	インジケタズレ パワーOFF リーチ カニン	<p>印字ヘッドの左右動作に異常が発生した。</p> <p><要因></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 段差のある用紙を使用している。 2. 紙厚設定が正しくない。 3. 用紙つまりが発生した。 4. リボンが印字ヘッドに引っかかった。 	<p>電源を切って、用紙仕様、紙厚設定を見直してください。</p> <p>(「用紙厚を調整する」(107 ページ) 参照)</p>
	ヨシアツイン ヨウケンシュツ パワーOFF ヨウシ カニン	用紙が厚すぎる。	「第4章 用紙について」を参照し用紙を確認してください。
		段差のある用紙を使用しているため、正常に自動紙厚検出ができない。	<p>手動紙厚調整で印字するか、ドライバのプロパティでレンジを設定してください。</p> <p>(「用紙厚を調整する」(107 ページ) 参照)</p>

ランプ	エラーメッセージ	原因	対処方法
メッセージ ランプ点滅	ハイジヤム テサシ パワー OFF ヨウシ カクニン	プリンタ内部で手差し 単票排出中に紙づまり が発生した。	つまった用紙を取り除 いてください。（「単票 用紙がつまったとき」 （148 ページ）参照）。
	ハイジヤム Fトラクタ パワー OFF ヨウシ カクニン	プリンタ内部でフロン トラクタ給紙の連続 帳票排出中に紙づまり が発生した。	つまった用紙を取り除 いてください。（「連続 帳票用紙がつまったと き」（143 ページ）参照）。
	ハイジヤム Rトラクタ パワー OFF ヨウシ カクニン	プリンタ内部でリアト ラクタ給紙の連続帳票 排出中に紙づまりが発 生した。	つまった用紙を取り除 いてください。（「連続 帳票用紙がつまったと き」（143 ページ）参照）。
	ハイジヤム FCSF パワー OFF ヨウシ カクニン	プリンタ内部でフロン ト CSF 給紙の単票排出 中に紙づまりが発生した。	つまった用紙を取り除 いてください。（「カット シートフィーダから吸入 した用紙がつまったと き」（152 ページ）参照）。
	ハイジヤム RCSF パワー OFF ヨウシ カクニン	プリンタ内部でリア CSF 給紙の単票排出中に紙 づまりが発生した。	つまった用紙を取り除 いてください。（「カット シートフィーダから吸入 した用紙がつまったと き」（152 ページ）参照）。

ランプ	エラーメッセージ	原因	対処方法
メッセージ ランプ点滅	SPアラーム パワー OFF シテクタ ^o サイ	スペースモータのドライバで異常を検出した。	《操作手順》 1. プリンタの電源を切って、パソコン画面の [キャンセル] ボタンをクリックして印刷を中止してください。 注)印刷を中止しない場合、正しく印刷されないことがあります。 2. 電源を入れて、再度印刷し直してください。
	LFアラーム パワー OFF シテクタ ^o サイ	LF モータおよびトラクタモータのドライバで異常を検出した。	
	ヘッドアラーム パワー OFF シテクタ ^o サイ	印字ヘッドのドライバで異常を検出した。	
	HIGH VOL アラーム パワー OFF シテクタ ^o サイ	電源電圧の異常を検出した。	
	LOW VOL アラーム パワー OFF シテクタ ^o サイ	電源電圧の異常を検出した。	
	OVERLOAD アラーム パワー OFF シテクタ ^o サイ	電源電圧の異常を検出した。	
	リボンモータアラーム パワー OFF シテクタ ^o サイ	リボンモータのドライバで異常を検出した。	
	CSF モータアラーム パワー OFF シテクタ ^o サイ	CSF モータのドライバで異常を検出した。	
	ファンアラーム パワー OFF シテクタ ^o サイ	ファンの異常を検出した。	
	APTC アラーム パワー OFF シテクタ ^o サイ	APTC ホームポジション検出に失敗した。	
	HCPP アラーム パワー OFF シテクタ ^o サイ	HCPP ホームポジション検出に失敗した。	
	ROM/RAM アラーム パワー OFF シテクタ ^o サイ	ROM/RAM の異常を検出した。	
	LRES アラーム パワー OFF ソウチ カクニン	印字キャリアホームポジション検出に失敗した。	

ランプ	エラーメッセージ	原因	対処方法
メッセージ ランプ点滅	シヤコウユニットアラーム パワーOFF ソウチ カクエン	斜行ユニットホームポジ ション検出に失敗した。	《操作手順》 1. プリンタの電源を切 って、パソコン画面の 〔キャンセル〕 ボタン をクリックして印刷 を中止してください。 注) 印刷を中止しない 場合、正しく印刷 されないことがあ ります。 2. 単票テーブルの奥に 異物がないか確認し てください。 3. 電源を入れて、再度印 刷し直してください。

■ 単票用紙吸入時の不具合

単票用紙吸入がうまくできない場合の、処置方法を説明します。

現象	原因	処置
吸入しない。	給紙口の選択が、「フロントトラクタ」または「リアトラクタ」になっている。	給紙口 スイッチを押して、「テサシ」を選択してください。
	前回吸入した用紙を、手で引き抜いたため、プリンタの状態が紙有り状態となっている。	オンライン スイッチを押してオフライン状態にした後に、 用紙吸入/排出 スイッチを押し、一度排出動作をさせてから、再吸入してください。

■ 連帳用紙吸入時の不具合

連帳用紙がうまく吸入できない場合の処置方法を説明します。

現象	原因	処置
吸入しない。	プリンタがオンライン状態である。	オンライン スイッチを押してオフライン状態にしてから、 用紙吸入/排出 スイッチを押してください。
	給紙口が正しく選択されていない。	給紙口 スイッチを押して、正しい給紙口（「フロントトラクタ」または「リアトラクタ」）を選択してください。
	前回吸入した用紙を、手で引き抜いたため、プリンタが紙有り状態となっている。	用紙吸入/排出 スイッチを押し、一度排出動作をさせてから、再吸入してください。
	プラテン直前直後の用紙ガイド(斜面)上に紙粉がたまり、センサが誤検出している。	紙粉を清掃してください。（「清掃のしかた」(172ページ)参照）
吸入途中で排出される。	左右のトラクタ間で用紙が弛んでいる。	左右のトラクタ間隔を軽く用紙が張る程度に調整してください。

■ 印字中の問題点

印字中の問題点に対する対処方法を説明します。

現象	原因	処置
印字が始まらない。	「オンライン」ランプが消えている。	オンライン スイッチを押して、「オンライン」ランプを点灯させてください。
オンライン状態であるのに、印字できない。	プリンタケーブルの接続に問題がある。	プリンタケーブルを正しく接続してください。
印字音はするのに印字しない。	リボンカセットを取り付けていない。	リボンカセットを取り付けてください。

■ 印字結果の問題点

印字結果の問題点に対する処置方法を説明します。

現象	原因	処置
リボン汚れが出る。	手動紙厚調整のとき、レンジ設定が適正值に対して狭くなっている。	広めに設定し直してリボン汚れが出なくなるようにしてください。
	段差のある用紙を使用している。	手動紙厚調整にて印字してください。 (「用紙厚を調整する」(107ページ)参照)
	自動紙厚調整機構の故障。	応急処置として、手動紙厚調整に切り替えて使用することができます。
	リボンカセットの交換時期が近づいている。リボン生地の変色や波うちが激しくなっている。	新しいリボンカセットと交換してください。 (「リボンカセットを交換する」(140ページ)参照)

現象	原因	処置
縦線のつながりの左右方向にズレが大きい(行間ズレが大きい)。	手動紙厚調整のとき、レンジ設定が適正值に対して狭いため、印字ヘッドの左右動作の精度が悪くなっている。	広めに設定し直してください。
	段差のある用紙の段差部分で印字ヘッドの左右動作の精度が悪くなっている。	手動紙厚調整にて印字してください。(「用紙厚を調整する」(107 ページ) 参照)
	行間ズレ調整が正しくない。	「行間ズレを直す」(77 ページ)を参照し、行間ズレを直してください。
印字がうすい。	手動紙厚調整のとき、レンジ設定が適正值に対して広い。	レンジを狭めに設定し直してください。(印字が濃くなるまで設定します、狭くし過ぎると故障の原因となるので注意してください。)
	段差のある用紙を使用している。	手動紙厚調整にて印字してください。(「用紙厚を調整する」(107 ページ) 参照)
	自動紙厚調整機構の故障。	応急処置として、手動紙厚調整に切り替えて使用することができます。
	リボンカセットの交換時期が近づいている。リボン生地 of 印字跡部の黒さが薄くなっている。	新しいリボンカセットと交換してください。 (「リボンカセットを交換する」(140 ページ) 参照)

現象	原因	処置
印字がうすい。	印字ヘッドの交換時期が近づいている。	印字ヘッドの交換時期が近づくと電源投入時にLCDに「ヘッドコウカンジユビ」、印字ヘッドの寿命になりますと「ヘッドコウカン」の表示を約5秒間行います。電源を入れ直しても「ヘッドコウカンジユビ」、「ヘッドコウカン」が表示される場合は、印字ヘッドを交換する必要があります。お買い求めの販売店にご連絡ください。機能設定の「リボンセッテイ」の「ヘッドコウカンヒョウジ」が「ムコウ」に設定されている場合は、表示を行いません。(73ページ参照)
印字を構成するドットが横一列に欠ける。	印字ヘッドのピンが折れている。	印字ヘッドを交換する必要があります。お買い求めの販売店にご連絡ください。
前給紙の場合、印字の上側が欠ける。	リボンカセットが正しく取り付けられていない。	印字を中止して、リボンカセットを正しく取り付けてください。(「リボンカセットを取り付ける」(20ページ)参照)
後給紙の場合、印字の下側が欠ける。		
印字が所々でよじれたように欠ける(用紙を変えても発生する)。	リボンがたるんだり、よじれたりしている。	印字を中止して、リボンカセットを点検してください(リボンつまみを回してリボンのよじれが無いか確認します)。
印字行の左端部や右端部で印字の上下が欠ける。(連帳用紙のみ発生する)	連帳改行時に用紙の綴じ部や用紙送り穴の影響でリボンがズレて、印字左右端部が欠ける。	機能設定で連帳改行時のリボン保護制御を有効にして使用してください。

■ 印字位置の問題点

印字位置に問題点がある場合の処置方法を説明します。

現象	原因	処置
印字開始位置が上、または下にズレる。	ソフトウェアによっては上端余白の設定を変更する必要がある。	アプリケーションソフトの説明書で確認してみてください。
	用紙上端のプレプリント禁止領域にプレプリントがある。	プレプリントを修正するか、吸入後用紙の位置合わせを行なって印字してください。
単票セットフリー使用時に印字の左右の位置がズレる。	用紙の左端部に面取、プレプリントがあるために、用紙左端を正しく認識できない。	用紙を修正するか、単票セットフリーをオフにして使用してください。

■ 印字位置がページによってズれる

印字位置がページによってズれる場合の処置方法を説明します。

現象	原因	処置
連続用紙の印字位置がページによってズれる。	仕様外用紙を使用しているため、正しく搬送できない。	「第4章 用紙について」を参照し、仕様にあった用紙を使用してください。
	連続用紙の置きかたが悪く、正しく搬送できない。	連続用紙はプリンタ給紙口の下に置き、斜めになったり、途中に引っかかりのない様にしてください。また、箱からスムーズに引きだされない用紙は、箱から出して設置してください。

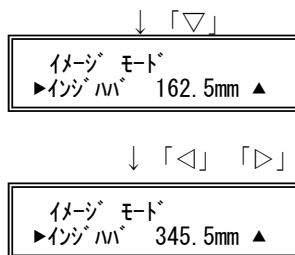
■ カットシートフィーダ使用時の不具合

カットシートフィーダ使用時の不具合点に対する処置方法を説明します。

現象	原因	処置
カットシートフィーダが動作しない。	カットシートフィーダのコネクタがプリンタに接続されていない。	プリンタ本体の電源を切断し、コネクタを接続してください。
用紙が吸入しない。	左右の用紙ガイドで用紙をきつくはさんでいる。	用紙に対して適正なゆとりを持って、用紙ガイドをセットしてください。
	用紙が厚すぎる。	仕様にあった用紙を使用してください。
	セットした用紙が多すぎる（赤線を越えている）。	用紙ガイドの赤線以内にセットしてください。
	セットレバーが「FREE」になっている。	セットレバーを「SET」にしてください。
	給紙口が正しく選択されていない。	操作パネルの給紙口スイッチを操作し「フロント CSF」または、「リア CSF」にセットしてください。

現象	原因	処置
用紙が吸入しない。	カットシートフィーダがプリンタにきちんとセットされていない。	正しくセットし直してください。（「カットシートフィーダを取り付ける」（177 ページ）参照）
複数枚の用紙が同時に送られてしまう。	用紙を十分にさばいていない。	用紙を十分にさばいてからセットしてください。
	用紙が薄すぎる。	仕様にあった用紙を使用してください。
	用紙に折れ曲がりがある。	折れ曲がりの無い用紙を使用してください。
	左右の用紙ガイドの隙間が狭すぎるか、広すぎる。	用紙カイドを用紙幅に合わせて正しくセットしてください。
	紙置台内の用紙が不揃いの状態でセットされている。	用紙を揃えて紙置台内に正しくセットしてください。
	種類の異なった用紙が混在している。	用紙の種類は一種類にして紙置台へセットしてください。
紙づまりが起きる。	左右の用紙ガイドの隙間が狭すぎるか広すぎる。	用紙カイドを用紙幅に合わせて正しくセットしてください。
	仕様以外の用紙を使用している。	仕様にあった用紙を使用してください。
	用紙に折れ曲がりがある。	折れ曲がりの無い用紙を使用してください。
	種類の異なった用紙が混在している。	用紙の種類は一種類にして紙置台へセットしてください。
	セットした用紙が多すぎる（赤線を越えている）。	用紙ガイドの赤線以内にセットしてください。

- 5 ▽スイッチで下のレベルへ移り、◀または▶スイッチを押して印字幅を選択する



- 6 **設定/メニュー**スイッチを押す

テスト印字が開始されます。

- 7 テスト印字中に**登録・終了**スイッチを押すと、テスト印字が終了する

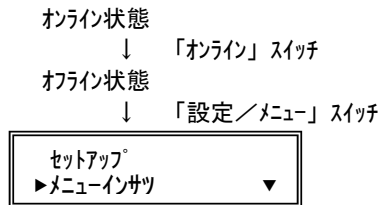


HEX ダンプ印字をする

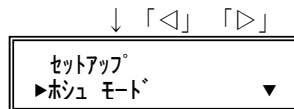
HEX ダンプ印字は、プログラムの診断に利用してください。パソコンからプリンタへ送られてきたデータを16進数のまま印字します。

HEX ダンプ印字は次の手順で行います。

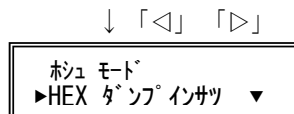
- 1 単票用紙または連続帳票用紙をセットする
- 2 オフライン状態で**設定/メニュー**スイッチを押し、メニューモードにする



- 3 ◀または▶スイッチを押して「ホシュモード」を表示させる



- 4 ▽スイッチで下のレベルに移り、◀または▶スイッチを押して「HEX ダンプ インサツ」を選択する



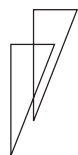
- 5 ▽スイッチで下のレベルに移り、「セテイ」と表示されたら

設定/メニュースイッチを押す

オンライン状態になり、パソコンからのデータは16進数で印刷されます。

HEX ダンプ印刷を解除するには、**オンライン**スイッチを押してオフライン状態にし、**リセット**スイッチを押します。

「ショキ シマカ ?」と表示されたら、再度**リセット**スイッチを押します。通常のオフライン状態に戻ります。



清掃のしかた

プリンタを良好な状態で使用できるように、定期的に清掃してください。

- | | |
|----|--|
| 感電 | プリンタの清掃を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずにプリンタの清掃を行うと、感電の原因となることがあります。 |
| 高温 | 印字した直後は、印字ヘッドが高温になります。温度が下がったことを確かめてから、清掃してください。やけどの原因となることがあります。 |

お願い

- ・シンナーやベンジンなど、揮発性の薬品は使用しないでください。プリンタの表面が変質したり、変形したりする恐れがあります。
- ・プリンタの内部を濡らさないでください。電気回路がショートする恐れがあります。
- ・プリンタに潤滑油を補給しないでください。プリンタの故障の原因となる場合があります。潤滑油の補給が必要な場合は、お買い求めの販売店までご連絡ください。

清掃は、次の手順で行います。

1 プリンタの電源を切り、電源プラグを抜く

2 トップカバーを開ける

3 プリンタを清掃する

印字した用紙が汚れたり、カバー部が汚れたりしているときは、中性洗剤を薄めた水に清潔な軟らかい布を浸し、よく絞ってカバー表面、プラテン、およびゴムローラの表面を拭いてください。プリンタ内の紙粉は除去してください。

お願い

印字ヘッドなどの壊れやすい部品には触らないように注意してください。破損の原因となります。

4 トップカバーを閉じて、電源を入れる



プリンタを輸送するとき

プリンタを衝撃から守るため、以下の手順で梱包してから輸送してください。

1 プリンタの電源を一旦入れた後に切る

(電源スイッチが (○) 側に倒れていることを確認します。)

一旦電源を入れることで、印字ヘッドが移動し、以降の作業ができる状態になります。

2 用紙を取り去り、リアスタッカを取り外す

3 プラグを電源プラグから抜いて、プリンタケーブルをプリンタから外す

4 リボンカセットを取り外す

(「リボンカセットを交換する」 140 ページ参照)

5 リアスタッカを梱包する

6 印字ヘッドを手でゆっくりと右端まで移動する

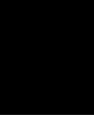
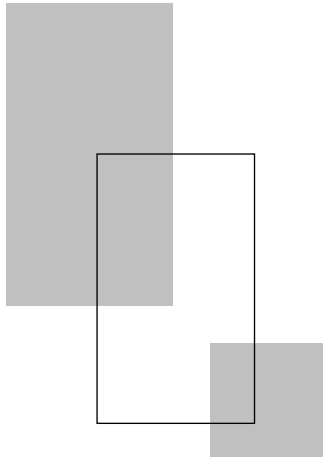
7 印字ヘッドを保護するために、輸送用固定材を取り付ける

8 プリンタを衝撃から守るために梱包材などでくるみ、届いたときと同じ状態にして箱に入れる



アフターサービス

- ・保守部品供給期間は、製造中止後5年です。
- ・分解、改造などを行わないでください。有償にても修理が受けられないことがあります。
- ・プリンタのご使用にあたっては、純正のサプライ用品をお使いください。サプライ品以外の用品をお使いになったことによる、製品の誤動作および故障に関しましては、当社は一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・操作、機能について不明な点や修理については、お買い求めの販売店にご相談ください。



第 6 章

オプション

この章では、オプションの種類および取り付け、取り外しについて説明します。

オプションの概要	176
カットシートフィーダを取り付ける	177
プリンタ前部に取り付ける	177
プリンタ後部に取り付ける	181
カットシートフィーダを取り外す	184



オプションの概要

本プリンタには、次のオプションがあります。

◆ カットシートフィーダ

単票用紙を一枚ずつ連続的に送る自動給紙装置です。プリンタの前部または後部に取り付けて使用します。



警告

感 電 オプション機器を接続する場合には、当社推奨品以外の機器は接続しないでください。感電・火災または故障の原因となります。



カットシートフィーダを取り付ける

カットシートフィーダは、プリンタの前部または後部に取り付けて使用します。前後両方に取り付けることもできます。本プリンタでは、カットシートフィーダを使用できます。



警告

感電 カットシートフィーダを取り付けたり、取り外したりするときは、必ずパソコンと本プリンタの電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いたあとに行なってください。感電の原因となります。



ガイド

- ・プリンタの前側にカットシートフィーダを取り付けた場合は、トラクタユニットは取り付けられません。
- ・カットシートフィーダをプリンタの前後両方に取り付けた場合は、「リタ/セッテイ」の「CSF 1ピンセンタ」（73 ページ）でどちらを優先して使用するかを設定する必要があります。

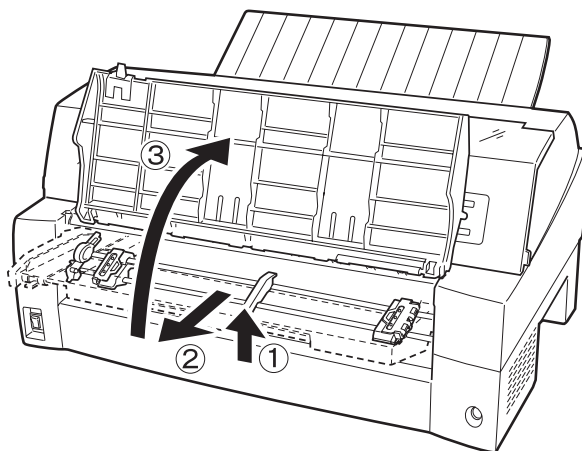
■ プリンタ前部に取り付ける

1 プリンタの電源を切る

プリンタの電源が「○」側に倒れていることを確認します。

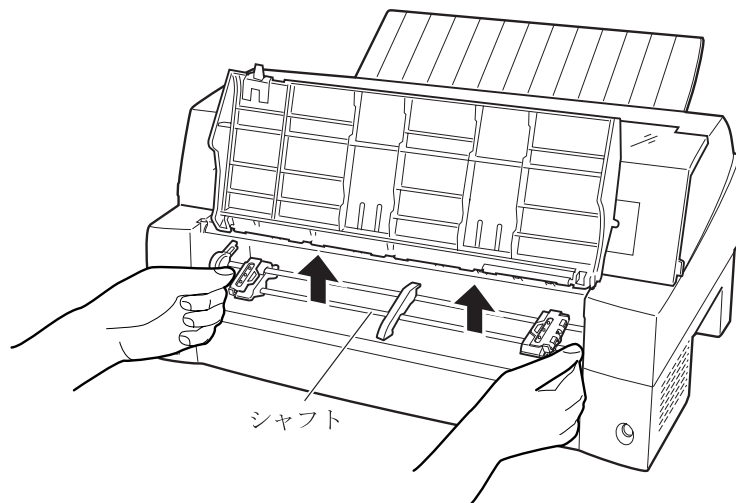
2 単票テーブルを開く

単票テーブルの先端を少し持ち上げ（①）、手前に引いた後（②）、回転させて開きます（③）。



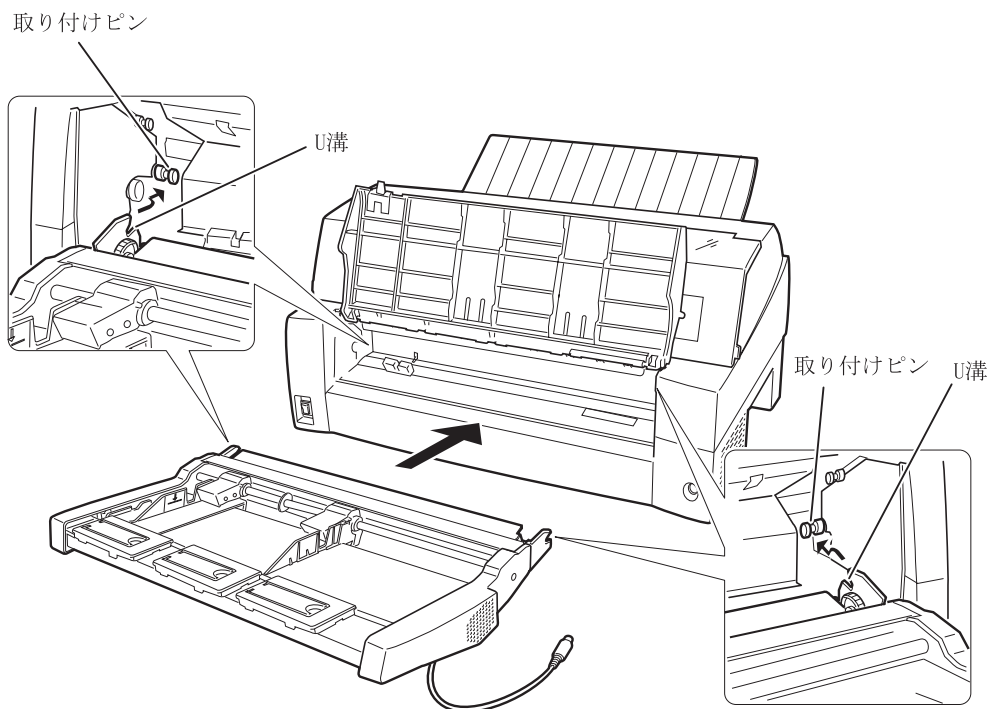
3 トラクタユニットを取り外す

単票テーブルを開きます。トラクタユニット手前側のシャフトの左右を上方に持ち上げてロックを外し、トラクタユニットを取り外します。

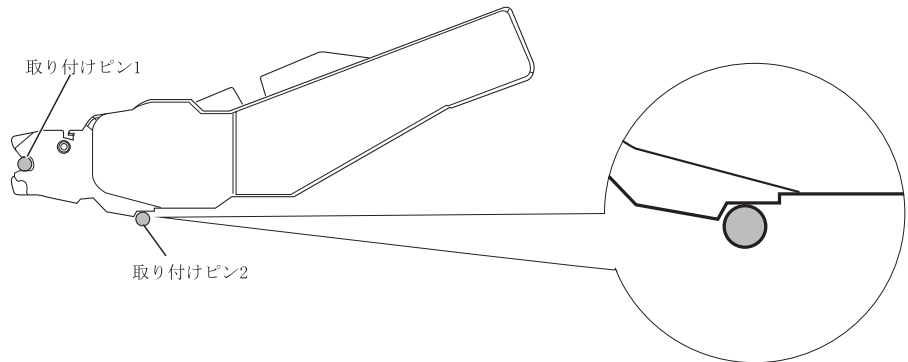


4 カットシートフィーダを取り付ける

カットシートフィーダの両側にあるU溝を、プリンタの奥の取り付けピンに差し込み、ゆっくりと下ろします。



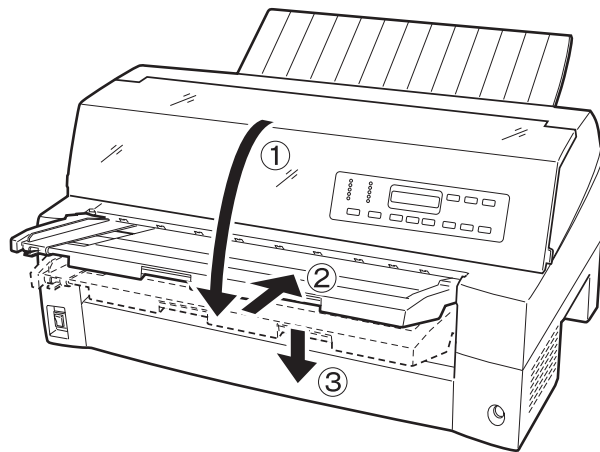
取り付けピン2にカットシートフィーダのフレームが正しく乗っていることを確認してください。



5 単票テーブルを元に戻す

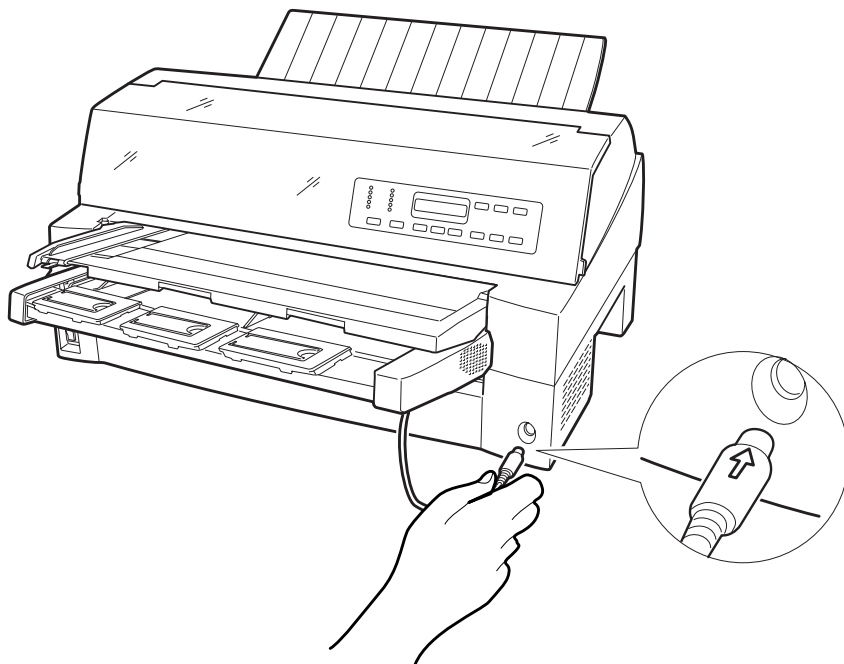
単票テーブルを下図のように回転させた (①) のち、奥に押し込んで (②) 閉じます (③)。

単票テーブルのセットが正しくないと、用紙づまりの原因となります。

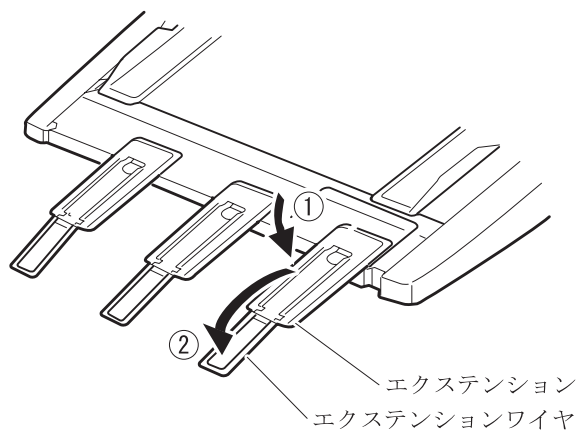


6 ケーブルを接続する

カットシートフィーダのケーブルを、プリンタ前面の右側にあるコネクタに接続します。コネクタの矢印を上にして挿入します。



7 使用する用紙サイズに合わせ、エクステンションおよびエクステンションワイヤを①、②の順に展開する



■ プリンタ後部に取り付ける

プリンタ後部は、カットシートフィーダとトラクタユニットの同時搭載が可能です。

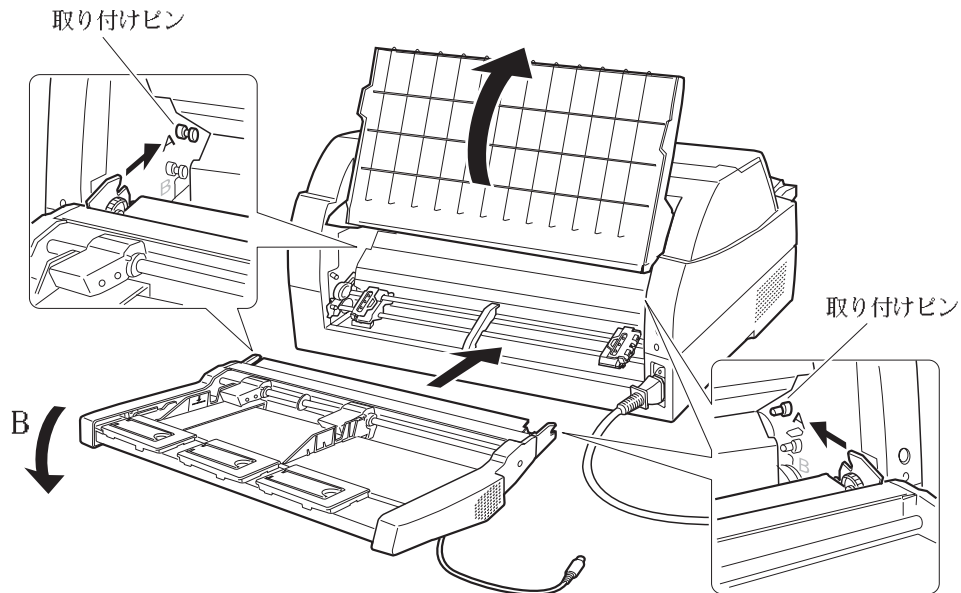
カットシートフィーダの取り付けは、プリンタの電源を切ってから行います。

1 プリンタの電源を切る

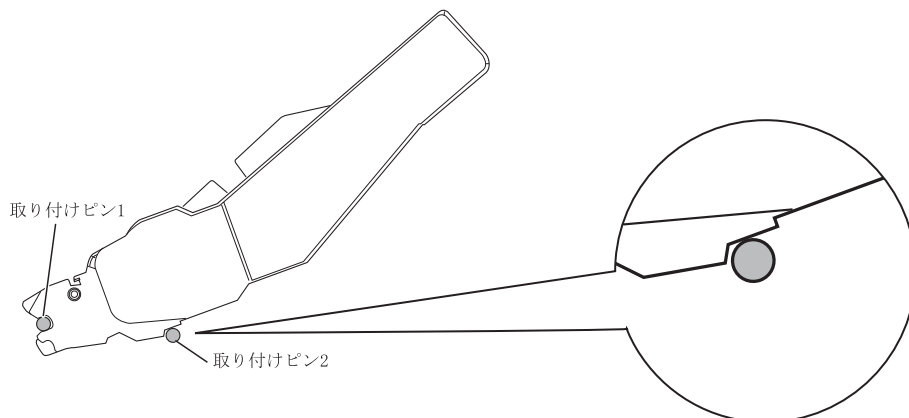
プリンタの電源が「○」側に倒れていることを確認します。

2 カットシートフィーダを取り付ける

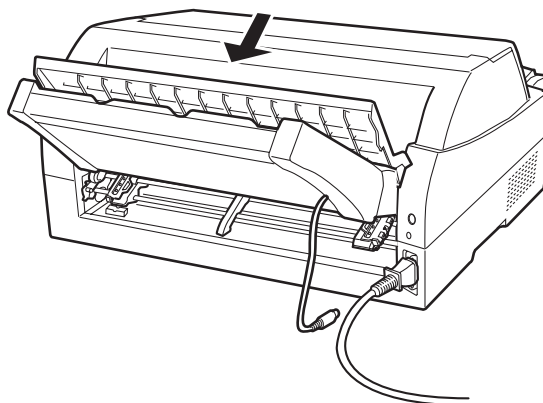
リアスタッカを開きます。カットシートフィーダの両側を持ち、カットシートフィーダの両側にあるU溝を、プリンタの奥にある取付けピンに差し込みます。（カットシートフィーダのラベルAをプリンタ側の刻印Aに合わせて差し込みます。）そのまま取付けピンを支点にして、矢印Bの方向に回転させるように下ろします。



取り付けピン2にカットシートフィーダのフレームが正しく乗っていることを確認してください。

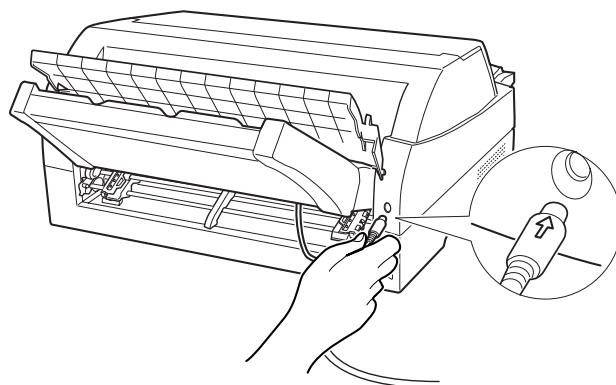


3 リアスタッカを閉じる

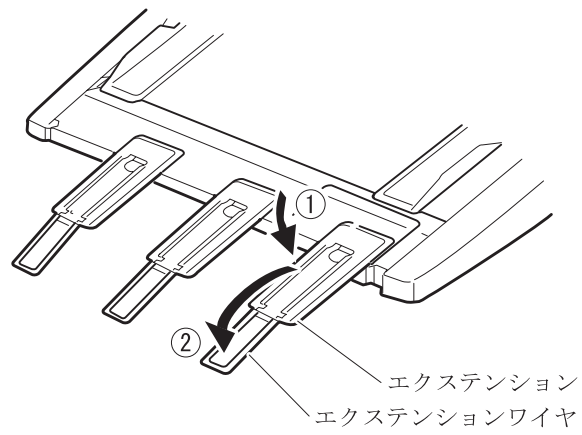


4 ケーブルを接続する

カットシートフィーダのケーブルを、プリンタ後面に向かって右側にあるコネクタに接続します。コネクタの矢印を上にして挿入します。



- 5 使用する用紙サイズに合わせ、エクステンションおよびエクステンションワイヤを①、②の順に矢印の方向に展開する





カットシートフィーダを取り外す

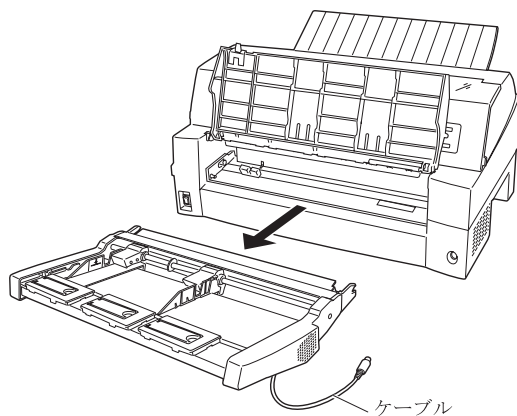
- 1 プリンタの電源を切る
- 2 カットシートフィーダのケーブルを抜く
- 3 カットシートフィーダを取り外す



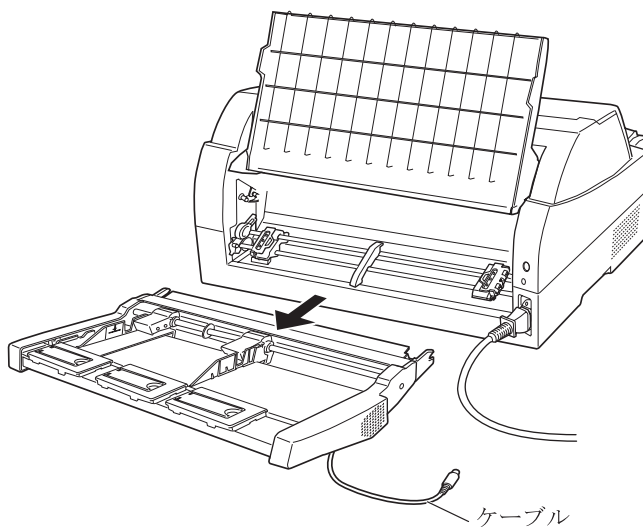
警告

感電 カットシートフィーダを取り付けたり、取り外したりするときは、必ずパソコンと本プリンタの電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いたあとに行なってください。感電の原因となります。

プリンタ前部に取付けた場合



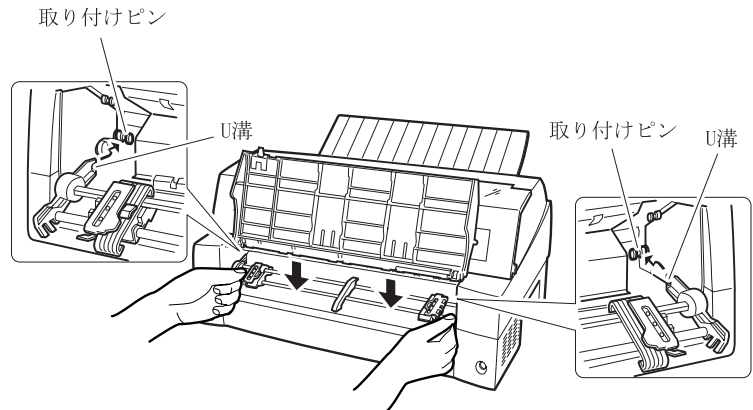
プリンタ後部に取付けた場合



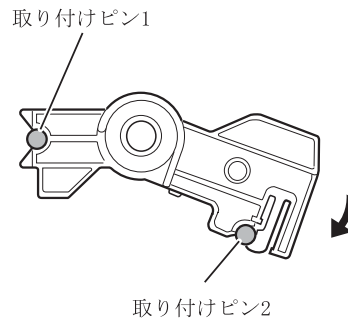
ガイド

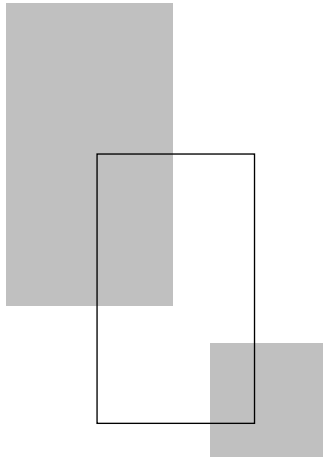
トラクタユニットの取り付けを以下に示します。

- 1) トラクタユニット左右のU溝をプリンタの取り付けピンに合わせます。（左側の取り付けピンの溝に合わせて取り付けます。右側の取り付けピンには、溝はありません。）
- 2) トラクタユニット手前側のシャフトをカチッと音がするまで押し下げてロックします。



- 3) 下図のように取り付けピン2にトラクタユニットの左右のロック部が固定されていることを確認してください。





第 7 章

プリンタ LAN カードの 取り付け

この章では、パラレルインターフェースカードの取り外し、プリンタ LAN カード取り付けについて説明します。

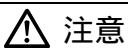
プリンタ LAN カードのご使用方法	188
プリンタ LAN カード搭載方法	189
プリンタ LAN カードの取り外し	190



プリンタ LAN カードのご使用方法

別売のプリンタ LAN カードをプリンタ側面にとりつけて使用することにより、100BASE-TX/10BASE-T の高速ネットワーク環境でのプリンタ共有が可能になります。LAN カード搭載時は、パラレルインタフェースとの同時接続はできません。

品 名	型 名	備 考
プリンタ LAN カード	PR-LN1	プリンタに取り付けると、ネットワーク環境で直接印刷できます。



注意



一般的禁止

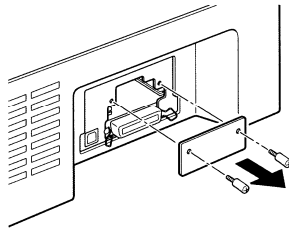
プリンタ LAN カードを取り付けたり、取り外したりするときは、必ず電源を切ってください。



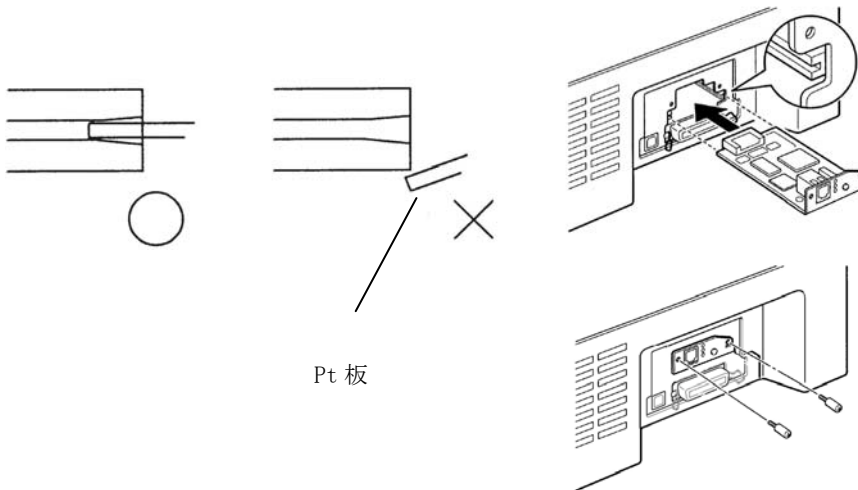
プリンタ LAN カード搭載方法

プリンタ LAN カードの搭載は次の手順で行います。

- 1 プリンタ装置の電源が OFF になっていることを確認する
- 2 プリンタの平行インターフェースカードを外す



- 3 取り付け口のガイドに従って、本製品を差し込み、取り付ける。
注) I/F カードを装着する場合は、レールの溝に沿って挿入して下さい



- 4 プリンタの電源が OFF になっていることを確認し、電源コードを差し込む

注意



高温注意

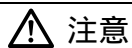
プリンタ本体の基板の一部が高温になっていることがあるので注意してください。

また、故障の原因になるので基板には手を触れないでください。



プリンタ LAN カードの取り外し

プリンタ LAN カードの取り外しは次の手順で行います。



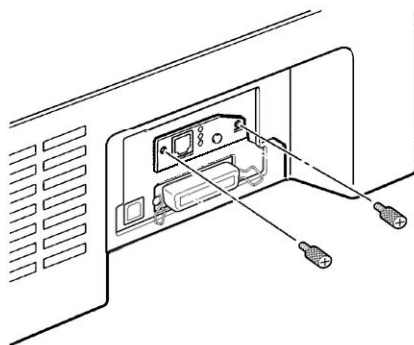
注意



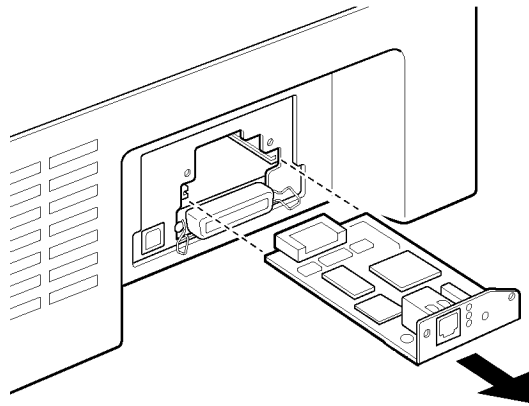
一般的注意

電源が入っている状態でプリンタ LAN カードを取り外すと、故障の原因になることがあります。

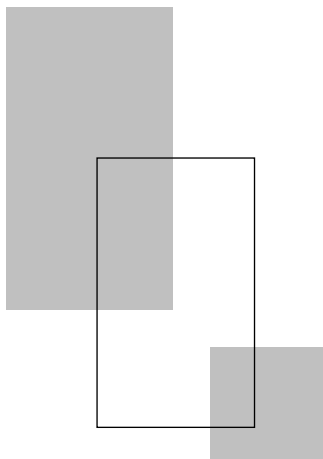
- 1 プリンタ装置の電源を OFF にする
- 2 プリンタ LAN カードの固定ネジを外す
固定ネジの取り外しはプラスドライバーにて行ってください。



3 下図矢印付近を持って本製品を取り外す



4 プリンタの平行インターフェースカードを取り付ける
取り付け口のガイドに沿って、カードを差し込み、取り付ける。



付 録

プリンタの概略仕様	194
外観図	198
標準外観図	198
カットシートフィーダ(オプション)	
取り付け時の外観図	199
ESC/P モードの制限事項	200
弊社への連絡	201



プリンタの概略仕様

- ・ 印字方式 ワイヤドットマトリックス
- ・ 印字速度

CD180FI

(文字/秒)

	標準		高複写モード1		高複写モード2
	レンジ1~3	レンジ4~8	レンジ1~3	レンジ4~9	
漢字 (27/180 インチ)	180	159	159	149	74
漢字高速 (27/180 インチ)	360	318	318	298	148
ANK レギュラ (パイカ)	272	239	239	224	112
ANK レギュラ (エリート)	326	286	286	268	134
ANK レギュラ高速 (パイカ)	540	478	478	448	224
ANK レギュラ高速 (エリート)	648	572	572	536	268
ANK ドラフト (パイカ)	540	540	540	540	330
ANK ドラフト (エリート)	648	648	648	648	396

CD130FI

(文字/秒)

	標準		高複写モード1		高複写モード2
	レンジ1~3	レンジ4~8	レンジ1~3	レンジ4~9	
漢字 (27/180 インチ)	130	120	120	100	50
漢字高速 (27/180 インチ)	260	240	240	200	100
ANK レギュラ (パイカ)	195	180	180	150	75
ANK レギュラ (エリート)	234	216	216	180	90
ANK レギュラ高速 (パイカ)	390	360	360	300	150
ANK レギュラ高速 (エリート)	468	432	432	360	180
ANK ドラフト (パイカ)	540	540	540	450	225
ANK ドラフト (エリート)	648	648	648	540	270

CD110FI

(文字/秒)

	標準	高複写モード
漢字 (27/180 インチ)	110	100
漢字 (高速印字)	220	200
ANK レギュラ (パイカ)	165	150
ANK レギュラ (エリート)	198	180
ANK レギュラ高速 (パイカ)	330	300
ANK レギュラ高速 (エリート)	396	360
ANK ドラフト (パイカ)	495	450
ANK ドラフト (エリート)	594	540

- ・ドット径 0.2mm
- ・ドットピッチ 1/180 インチ（縦、横共）
- ・印字桁数
 - 漢字全角 : 90（文字/行）
 - 半角漢字 : 180（文字/行）
 - ANK（パイカ） : 136（文字/行）
 - ANK（エリート） : 163（文字/行）
- ・印字動作 両方向最短距離印字
- ・複写能力（コピー能力）
 - <CD180FI/CD130FI>
 - 標準モード : オリジナル+7P
 - 高複写モード : オリジナル+8P
(ただし、高複写モード1の場合)
 - <CD110FI>
 - 標準モード : オリジナル+7P
 - 高複写モード : オリジナル+8P
- ・イメージ印字 行ドット数
 - PS55 モード選択時 2448
 - ESC/P モード選択時 4896
- ・用紙送り
 - 用紙送り方式 : 押込みトラクタ方式（連続帳票用紙）
フリクション方式（単票用紙）
 - 改行間隔 : 1/360 インチ×n
(n はプログラム設定による)
 - 改行速度 : 約 50ms（1/6 インチ改行時）
- ・スタッカ容量（単票） 120 枚以下（A4 サイズ、1P 用紙、連量 55kg）
 - ・用紙の種類、サイズ、カールの度合いや、
印字デューティ、使用環境などにより減少しますので、ご注意ください。
- ・使用環境
 - 温度：稼動時 5～35℃
非稼動時 -15～60℃
 - 湿度：稼動時 30～80%RH
(最高湿球温度 29℃以下)
非稼動時 5～95%RH
(ただし、結露しないこと。湿度勾配 30%RH/
日以下)
- ・インタフェース
 - パラレルインターフェース
- ・電源仕様
 - 入力電源種別 : 商用単相
 - 電源電圧 : AC100V±10%
 - 電源周波数 : 50/60±1Hz

・ 消費電力

<CD180FI>

平均 270 W 以下 (最大 700 W 以下)
待機時 15W 以下

<CD130FI/CD110FI>

平均 200 W 以下 (最大 510 W 以下)
待機時 15W 以下

・ 外形寸法 600mm (幅) × 350mm (奥行) × 290mm (高)

・ 重 量 約 22kg (CD80FI:約 17kg)

・ 稼動音

<CD180FI>

60 dB (A)

<CD130FI>

58 dB (A)

<CD110FI>

59 dB (A)

・ リボン

<CD180FI/CD130FI/CD110FI>

種類： 据置き型リボンカセット
(サブカセット詰替え型)

リボン寿命：

1500 万字 (ANK ドラフト文字)

注) 上記の寿命は、製造後 2 年以内のものを下記の環境で保存した場合に保証する値です。

温度 -10～50℃

湿度 20～90%RH

色：黒単色

- ・ **耐用期間** プリンタ装置 :

5 年 (電源の通電条件:8 時間/日以内)
 または 750 万行 (CD80FI : 500 万行) の
 いずれか早い方

耐用期間はプリンタの設置環境、使用頻度により大幅
 に変動します。
 24 時間通電による運用の耐用期間は 1/3 に減少します。
 <CD180FI/CD130FI>

印字ヘッド :

通常モード	5 億打/ピン
高複写モード 1	3 億打/ピン
高複写モード 2	1.5 億打/ピン

<CD110FI>

印字ヘッド :

通常モード	3 億打/ピン
高複写モード	2 億打/ピン

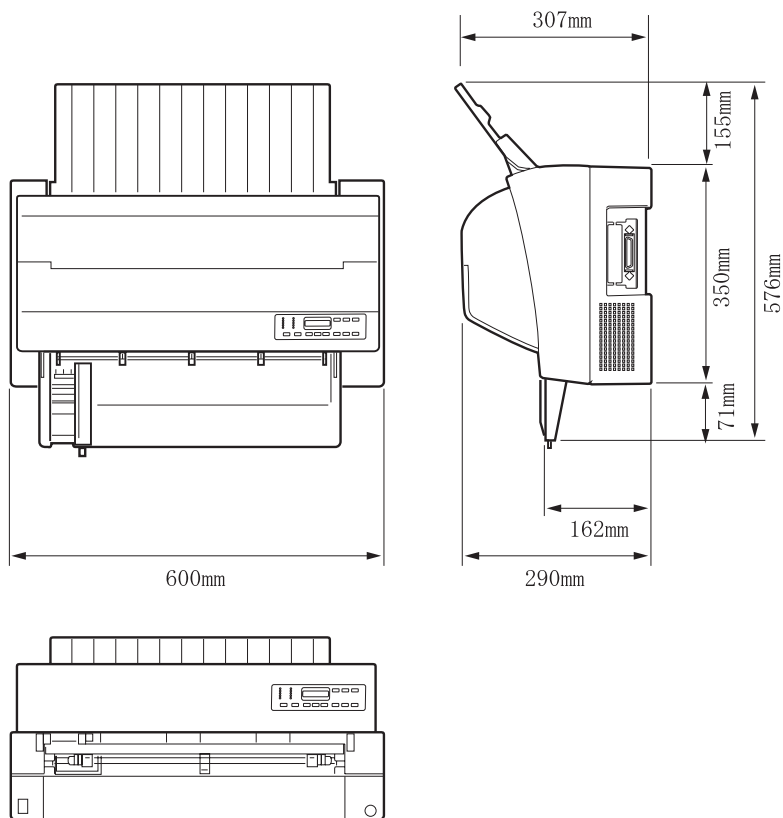
- ・ **制限事項**

連続改行	LF モータ劣化防止のため、連続改行、連続改ページ動作は 3 分間以上行わないでください。
高密度印字	印字ヘッド劣化防止のため、50%デューティ以上のパターンを印刷すると、2 分割印字になることがあります。
逆改行動作	<ul style="list-style-type: none"> ・ 逆改行動作は改行乱れの原因となる場合がありますので、十分確認の上ご使用ください。 ・ カットシートフィーダ使用の場合は 1/3 インチ以上の逆改行はできません。 ・ 連帳用紙使用時に 22 インチを越える逆改行動作は、用紙づまりや用紙ガレの原因となるため行わないでください。
連続印字	印字ヘッドの温度上昇による劣化を防止のため、連続印刷を行うと 2 分割印字になることがあります。



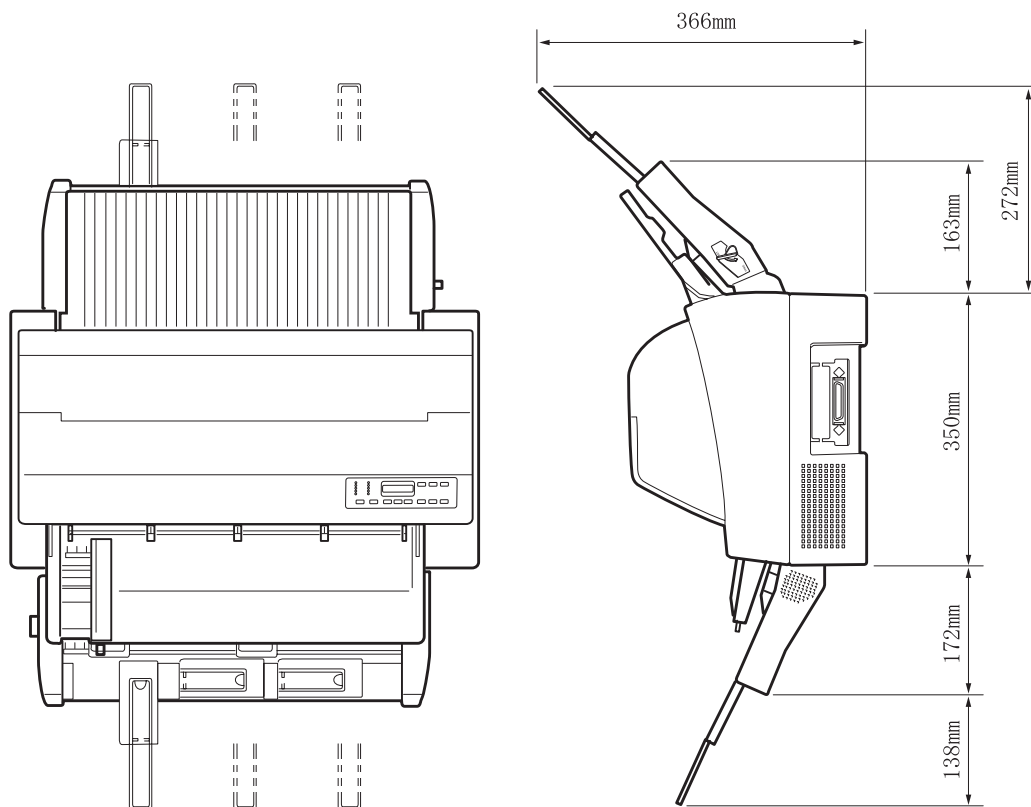
外觀図

■ 標準外觀図



■ カットシートフィーダ(オプション)取り付け時の外観図

◆ カットシートフィーダを前面と後面に取り付けたときの外観図



※カットシートフィーダは前後どちらにでも装着ができますが、同時に稼動はできません。



ESC/P モードの制限事項

このプリンタは、PS/55 モードと ESC/P モードの 2 種類のプリンタの動作モードに対応しています。

ここでは、このプリンタを ESC/P モードで運用するときの制限事項について説明します。

◆ サポートコマンド

このプリンタは、ESC/P 24-J84 に準拠していますが、印字方式、解像度の違いによりサポートしていないコマンドがあるので注意してください。

◆ プリンタの動作モードの切り替え

機能設定で、プリンタの動作モードを PS/55 モードまたは、ESC/P モードに設定することができます。

(60 ページ参照)



弊社への連絡

〈故障・保守サービスなどのお問い合わせ先〉

下記へご連絡下さい。

フリーダイヤル：0120-33-5570

〈消耗品のご注文先〉

下記の部署にて当プリンタ装置に必要な消耗品（プリンター・リボン、応用用紙等）を取り扱っておりますのでご利用下さい。

兼松エレクトロニクス株式会社

（東地区） 03-5250-6292

（西地区） 06-6202-1431

（中部地区） 052-202-5310

CDF Iシリーズ 取扱説明書
(CD180FI CD130FI CD110FI)
2014年 4月 吉日 02版

兼松エレクトロニクス株式会社
(C) KANEMATSU ELECTRONICS LTD.